

式7

「学校」部門

河川基金助成事業

「機関庫の川から学ぶ自分達の生活と 自然環境とのつながり」 報告書

助成番号：2021 - 7212 - 029

北海道帯広市立豊成小学校

校長 氏名 岸梅 哲郎

2021 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり			帯広市立豊成小学校		
校長名	岸梅 哲郎	担当教諭名		宍戸 文絵		
過去の助成実績	なし(あり) [助成番号: 2020-7212-017 助成事業名: 機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり]					
キーワード	命のつながり 6年間を通した学習 ザリガニ堆肥づくり 自然環境の活用					
対象児童生徒	高校生 (年 名) 中学生 (年 名)		小学生 (1年 120名)			
対象河川名	機関庫の川	活動場所の指定状況		なし() 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	機関庫の川の生き物に会いに行こう					
ねらい	全校「自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む。」 学年「機関庫の川に棲む生き物や自然と主体的にかかわる」					
評価の観点	機関庫の川の生き物や自然と主体的にかかわる力・観察して感じたことを絵や文で表現する力					
活動時期	4月～1月					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 (生活科)	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の活動時間数	時間	12時間	時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要	例年、近隣の帯広北高等学校の高校生にボランティアとして活動協力をいただいているが、感染症拡大防止のため今年度は要請できなかった。					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位 対外発表 ()	学年単位	学校全体	観察記録カード (教室掲示)		
安全対策に関する課題						
<ul style="list-style-type: none"> 例年、ボランティアの高校生に、活動時の見守り、安全指導の補助をしてもらっているが、今年度は要請できなかったため、クラスごと (児童 30 名) の活動とし、教職員 (5~6 名) による見守りとなった。教職員間の十分な打ち合わせが必要となる。 						
活動の成果と今後の課題・展開						
<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は実施できなかった水辺体験活動を、今年度はクラスごとに実施することができた。川の流れを体感し、冷たさや水圧、周囲の草花や川底の石、土の様子などを全身で感じる事ができた。ライフジャケットの着け方を学び、川に足を入れることもためらっていた児童が、友達と励まし合いながら、水と触れ合う活動の楽しさに気付いていく場面がたくさん見られた。また、見つけたものや楽しかったことを観察記録カードに記し、発表会を開いた。 夏以外の機関庫の川の様子も予想し観察することができた。特に、雪や氷で覆われる冬の機関庫の川や生き物の様子について予想しながら探検し、創造力を更に膨らませる場面が見られた。 川の学習をする前とした後の児童の変容を捉えることができるよう、評価について考える必要がある。 次年度は、これまで続けてきた高校生ボランティアとの活動を、感染症対策を万全にとりながら実施したい。機関庫の川を媒体として、お兄さんお姉さんに憧れと尊敬の気持ちを持ちながら、人間関係を形成する大切な学びでもあるので、継続していきたいと考えている。 						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	体験活動系	川遊び	8月	
			系		月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号		助成事業名			学校名		
2021-7212-029		機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり			帯広市立豊成小学校		
校長名		担当教諭名		校名			
岸梅 哲郎		担当教諭名		帯広市立豊成小学校			
過去の助成実績		なし (あり) [助成番号：2020-7212-017 助成事業名：機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり]					
キーワード		命のつながり 6年間を通した学習 ザリガニ堆肥づくり 自然環境の活用					
対象児童生徒		高校生 (年 名) 中学生 (年 名)		小学生 (2年 86名)			
対象河川名		機関庫の川		活動場所の指定状況		(なし) 子どもの水辺 水辺の楽校	
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ							
<p>テーマ : 生き物たんけんに出かけよう</p> <p>ねらい : 全校「自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む」 学年「機関庫の川に棲む生き物や自然と主体的にかかわり、飼育・観察を行う」</p> <p>評価の観点 : ルールや安全に気を付けて、周囲と協力しながら機関庫の川の生き物や自然と主体的にかかわる力・観察して感じたことを絵や文で表現する力</p> <p>活動時期 : 5月～10月</p>							
活動形態		総合的な学習の時間	各教科学習 (生活科)	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の活動時間数		時間	17時間	時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)							
保護者		外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者		行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要		例年、近隣の帯広北高等学校の高校生にボランティアとして活動協力をいただいているが、感染症拡大防止のため今年度は要請できなかった。					
活動成果		発表形態			成果作品		
(学級単位) 対外発表 ()		学年単位	学校全体		観察記録カード (教室掲示)		
安全対策に関する課題							
<p>・例年、ボランティアの高校生に、活動時の見守り、安全指導の補助をしてもらっているが、今年度は要請できなかったため、クラスごと (児童28名) の活動とし、教職員 (5～6名) による見守りとなった。教職員間の十分な打ち合わせが必要となる。</p>							
活動の成果と今後の課題・展開							
<p>・この学年の児童は、昨年度実施できなかったため、実質的に初めての水辺の体験活動となった。川での活動のルールやライフジャケットの大切さなどについてしっかりと指導し、活動に入ることができた。生き物との主体的なかわり合いがメインとなるので、生き物のいそうな場所を予想したり、捕まえ方を工夫したり、友達と協力しながら活動する場面がたくさん見られた。川から上がってからも、生き物を観察する時間をたっぷりと確保した。また、児童が捕まえた生き物を、校舎内の水槽で飼育し、児童の興味関心を更に高めることにつなげた。活動後は、観察記録カードに記し、発表会を開いた。</p> <p>・昨年度の自分の活動との変容を捉えることのできるような評価について考える必要がある。</p> <p>・次年度は、これまで続けてきた高校生ボランティアとの活動を、感染症対策を万全にとりながら実施したい。機関庫の川を媒体として、お兄さんお姉さんに憧れと尊敬の気持ちをもちながら、人間関係を形成する大切な学びでもあるので、継続していきたいと考えている。</p>							
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)							
		部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野		学校部門	教育活動	体験活動系	川遊び	8～9月	
				系		月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P.46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号	助成事業名			学校名		
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり			帯広市立豊成小学校		
校長名	岸梅 哲郎		担当教諭名	宍戸 文絵		
過去の助成実績	なし(あり) [助成番号: 2020-7212-017 助成事業名: 機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり]					
キーワード	命のつながり 6年間を通した学習 ザリガニ堆肥づくり 自然環境の活用					
対象児童生徒	高校生 (年 名) 中学生 (年 名)		小学生 (3年 121名)			
対象河川名	機関庫の川		活動場所の指定状況	なし() 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	機関庫の川と友だちになろう					
ねらい	全校「自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む」 学年「調査活動から見えた課題について主体的に解決に向けて取り組み、発信することで、自然環境とのかかわり方について考える。」					
評価の観点	調査活動から機関庫の川の現状を把握し、課題を設定する力・課題解決に向けて主体的に活動する力・効果的に発信する力					
活動時期	4月～1月					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 (生活科)	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の活動時間数	52時間	時間	時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 (十勝多自然ネット) ・生き物の飼育指導、水槽のメンテナンス等 (地域の専門家) ・体験活動のガイドや補助、たも網等の貸与 (十勝多自然ネット) ・川岸の草刈 (河川管理者) ・教員向け生き物観察会 (札内川懇談会) ・サケの稚魚放流協力 (帯広サケの会) 					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	開発ボードによるグループごとの発表 (オンライン) ・全校児童に向けた啓発活動		
安全対策に関する課題						
・特になし。						
活動の成果と今後の課題・展開						
<p>・コロナ禍における学びの継続を模索しながら実施してきた。例年、学年で行っている4回の調査活動はクラスごとに実施した。課題解決の活動と発表についてはクラスの枠を外し、学年で15のグループに分かれて活動をした。外部講師とは遠隔会議システムによりつながり、講話や質疑をした。また、外部からのガイドが呼べない時期には、教職員で生き物の解説ができるようにレクチャーを受け、授業を行うことができるようになった。</p> <p>・「機関庫の川が清流か」という課題からスタートしたが、児童の興味関心や課題に多様性を見ることができた。時期がずれ込んだものの「機関庫の川がどのようにあってほしいのか」をグループごとに考え、発信する活動まで行うことができた。また、3年生の取組を、過去に経験してきた高学年が温かく見守り、インタビューに答えるなど学習に協力する場面も見られた。コロナ禍での数少ない異学年交流となった。</p> <p>・ザリガニをはじめとした水生生物だけではなく、川周辺の環境や、川の始まりや終わりなど、児童が様々な視点で課題設定ができるように、キャパシティを広げる必要がある。児童の興味関心や探究心を刺激する言葉掛け、支援してくれる人材の発掘、ICTの活用など、継続してきたからこそ更に積み上げていきたい。</p>						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	水質調査系	パケットテスト	7月	
			生物調査系	生き物と環境	8～9月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号	助成事業名			学校名		
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり			帯広市立豊成小学校		
校長名	岸梅 哲郎	担当教諭名		宍戸 文絵		
過去の助成実績	なし(あり) [助成番号: 2020-7212-017 助成事業名: 機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり]					
キーワード	命のつながり 6年間を通した学習 ザリガニ堆肥づくり 自然環境の活用					
対象児童生徒	高校生 (年 名) 中学生 (年 名)		小学生 (4年 120名)			
対象河川名	機関庫の川	活動場所の指定状況		なし() 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	自分達の生活と水とのかかわりについて考えよう					
ねらい	全校「自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む」 学年「水質の維持管理について、自分達の生活と関連付けて考える力を育む」					
評価の観点	調べたことやから課題を見だし、自分達の生活と関連付けて考える力					
活動時期	6月～9月					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 (理科)	各教科学習 (社会科)	学校行事	その他 ()	合計
上記の活動時間数	時間	6時間	20時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要	・市の水道課による水道出前授業 (水と生活とのかかわりのについての講話、飲料水の飲み比べ、微生物を顕微鏡で見る等) ・浄水場、下水処理場の見学 ・帯広市危機管理対策課による親子防災教室					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位 () 対外発表 ()	学年単位	学校全体	・振り返りシート		
安全対策に関する課題						
・特になし。						
活動の成果と今後の課題・展開						
<p>・社会科「水はどこから」と連動させて、水道出前授業及び、下水処理場の見学を実施した。コロナ禍により浄水場の見学がかなわなかった。</p> <p>・4年生は例年、社会科「水はどこから」の単元で、水質の維持管理について生活と関連付けて考える学習を中心にしてきた。今後は、理科「地面を流れる水のゆくえ」や社会科「自然災害からくらしを守る」の単元をつかって、防災の考え方についても学習を深めることができると考え、計画にはなかったものの、市の危機管理対策課による防災教室を取り入れている。ハザードマップの見方を知り、自分の家が危険であるかどうか、危険が及んだ際にどうしたらよいかについて考える児童の姿が見られた。次年度も、機関庫の川から視野を広げ、流域防災について考える授業を展開したい。</p> <p>・また、理科「水のゆくえ」の単元では、ProjectWETのアクティビティ「驚異の旅」を取り入れ、すごろくをしながら、地球規模で水の循環について考える姿が見られ、効果的であった。これも次年度継続したい。</p>						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	地理・現代社会系	飲料水の供給 (上水道)	7月	
			地理・現代社会系	水害の防止	9月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号	助成事業名			学校名		
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり			帯広市立豊成小学校		
校長名	岸梅 哲郎	担当教諭名		宍戸 文絵		
過去の助成実績	なし(あり) [助成番号: 2020-7212-017 助成事業名: 機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり]					
キーワード	命のつながり 6年間を通じた学習 ザリガニ堆肥づくり 自然環境の活用					
対象児童生徒	高校生 (年 名) 中学生 (年 名)		小学生 (5年 143名)			
対象河川名	機関庫の川	活動場所の指定状況		なし() 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	: 流れる水のはたらきを知ろう					
ねらい	: 全校「自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む」 学年「機関庫の川の様子から、浸食・堆積・運搬などの作用をとらえ、防災や自分達の生活とのかかわりに広げて考える力を育む」					
評価の観点	: 疑問から課題を見だし検証方法を考える力・主体的に課題解決しようとする力・自分達の生活と関連付けて考える力					
活動時期	: 4月～11月					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 (理科)	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の活動時間数	12時間	16時間	時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要	・北海道教育大学釧路校 境千尋教授によるアウトリーチ					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位 対外発表 ()	学年単位	学校全体	・振り返りシート ・グループによる発表		
安全対策に関する課題						
・特になし。						
活動の成果と今後の課題・展開						
<p>・北海道教育大学釧路校の境千尋教授のアウトリーチを受け、理科「流れる水のはたらき」の学習を行った。例年はグラウンドに流水実験模型をつくる程度であったが、実際に機関庫の川に入り、土地の様子を見て、なぜここが低くなっているのか、なぜ川岸が消れているのか、疑問を見だし、その一つ一つを解決するためにグループ活動を行うことで、児童の主体的な学びにつながった。実験結果や考察の発表には効果的にタブレットを活用していた。</p> <p>・上に記述はないが、例年同様、理科「植物の発芽と成長」・総合的な学習「十勝の農業を体験しよう」において、昨年度の6年生が作成したザリガニ堆肥をつかって作物を栽培し、堆肥の効果を検証している。実験結果をもとに命のつながりを感じ、次年度の堆肥づくりへの意欲の向上を図ることができた。</p> <p>・理科「流れる水のはたらき」は、社会科「自然災害を防ぐ」にもつながっており、次年度は防災を考える学習にも機関庫の川を活用していきたい。</p>						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	地学調査系	雨水・流水	10月	
			生物調査系	生き物と環境	5～9月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。







助成番号	助成事業名			学校名		
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり			帯広市立豊成小学校		
校長名	岸梅 哲郎	担当教諭名		宍戸 文絵		
過去の助成実績	なし(あり) [助成番号: 2020-7212-017 助成事業名: 機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり]					
キーワード	命のつながり 6年間を通じた学習 ザリガニ堆肥づくり 自然環境の活用					
対象児童生徒	高校生 (年 名) 中学生 (年 名)		小学生 (6年 120名)			
対象河川名	機関庫の川	活動場所の指定状況		なし() 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	機関庫の川の生態系について考えよう					
ねらい	全校「自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む」 学年「機関庫の川の生態系について考え、外来種であるウチダザリガニの有効活用を通して、環境保全と命の循環という視点をもつ」					
評価の観点	自然環境について自分の考えをもち主体的に行動する力、命の尊さについて考える力					
活動時期	9月～3月					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 (理科)	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の活動時間数	6時間	6時間	時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要	・美幌高等学校教諭より、ザリガニ堆肥づくりの方法や管理の仕方について指導を受けている。					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	・振り返りシート ・全校児童に向け、スライドを作成しテレビ放送。掲示物を作成し、堆肥とともに展示。		
安全対策に関する課題						
・特になし。						
活動の成果と今後の課題・展開						
<p>・理科「生物どうしのつながり」の中で、機関庫の川の生態系について考え、全校児童で駆除しているウチダザリガニの有効活用につなげる学習を数年来続けている。この学習を6年生に位置付けることは、大きな意味がある。環境保全と、命の尊さについて深く考え、責任と目的、誇りをもって活動をすることができているものとする。</p> <p>・卒業時に児童は、全校で駆除したザリガニを堆肥化する思いなどをスライドにして、オンラインで発表した。その中で、改めて6年間の学習がつながっていることを実感したようであった。機関庫の川を通して身に付けたことを、自分の言葉で表現し、広げていくことができるように、取組を継続、深化させていきたい。</p>						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	生物調査系	生き物と環境	9月	
			体験活動系	その他	10月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

1.助成事業名		機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり				学校名		帯広市立豊成小学校			2022-7212-029			
2.単元名		いくぞ！がっこうたんけんたい げんきにそだてわたしのはな① 生きもの大すき げんきにそだてわたしのはな②												
3.目標		自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む。												
4.実施学年 人数		第1学年 120人												
5.活動場所		機関庫の川												
6.単元構想(総時間数)														
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1 学年 ・ 単 元 目 標	いくぞ！がっこうたんけんたい(2) ・こうていをたんけんしよう ・がっこうのまわりをあるいてみよう		げんきにそだて わたしのはな①(4) ・たねをまこう ・せわをしよう		生きもの大すき (4) ・生きものにあいこ ・生きものどふれあおう		げんきにそだて わたしのはな② (2) ・たねをとろう (しゅうかくしよう)							
	機関庫の川のまわりを 観察し、季節によって変 化する川や生き物の様 子に気付くことができる。 これから始まる川の学 習への意欲付けとなる ようにする。		ゼリガニ堆肥を混ぜた 土を活用し、命が次に つながることを実感させ る。この後の川の学習 で捕るゼリガニを堆肥 化することとつながるよ うにする。		機関庫の川に棲む生 き物とふれあい、そ の特徴や生態などに 興味・関心をもつ。		ゼリガニ堆肥が混ぜた 土で栽培した枝豆を 食べることで、命のつ ながりと感謝の気持ち をもって食べることの 大切さを学ぶ。							
主 な 学 習 活 動	【課題設定】 ○学校のそばを流れる川に興味を もつ ○機関庫の川周辺を観察し、草花 や生き物の様子を知る。 ○どんなことを知りたいか、事前に 話し合い、活動の見通しをもつ。 【調査活動】 ◎冬から目覚めた植物や生物を観 察することで、季節によってかわる 自然の様子に関心をもつ。 ◎捕まえた生き物や採った植物を 記録する。 【まとめる】 ●捕まえた生き物や採った植物を 観察カードにまとめ、お互いの発見 のよいところを伝え合う。		【課題設定】 ○なぜ堆肥を入れるのか、どの ように枝豆ができていくのかを 考える。6年生が作ったゼリガニ 堆肥が入った土で枝豆を栽培 する。 ○今後、自分達もウチダゼリガ ニの駆除活動を行うことを知る。 【栽培活動】 ◎ウチダゼリガニの命が枝豆 の成長に役立つこと知るととも に、その命をしっかりとつなげら れるように世話をする。		【課題設定】 ○川にはどんな生き物がい るのか、どんなところに棲ん でいるのかを予想する。 ○安全に川にかかわるには どうすべきかをみんなで考 える。 【体験活動】 ◎帯広北高等学校の生徒と ともに、生き物を見つけたり、 捕まえたりして、生き物を観 察し、記録する。 【まとめる】 ●川の学習で発見したり、気 付いたりしたことを、帯広北 高校の生徒へお礼の手紙と して絵や文で表現する。		【課題設定】 ○ゼリガニ堆肥が枝豆の成長 を助け、自分達が食べることで 栄養となり、命がつながってい ることを知る。 【試食】 ◎枝豆をゆで、実際に食べるこ とで、命のつながりやありがた さを感じ、日常の食につなげて 考える。							
	○季節によって変化する川や生き 物に興味・関心をもって学習計画 を立てることができる。 ◎周囲と協力しながら、主体的に 川や生きものとかかわろうとする。 ●生き物や自然の様子を絵や文で 表現することができる。 ●友達のよい視点を次に生かそう としている。		○ゼリガニ堆肥をつかって栽培する という目的意識をもつことができ ている。 ◎目的を理解し、責任をもって世話 をすることができる。 ◎成長の過程を観察し、変化に気 付くことができる。		○機関庫の川に興味関心をも ち、どんな生き物を捕まえた か、進んで学習計画を立てるこ とができる。 ◎周囲と協力しながら、主体的 に川や生き物とかかわることが できる。 ◎安全に気を付けて、ルールを 守って活動することができる。 ●川の学習で発見したことや気 付いたことをお礼の手紙に絵や 文で表現することができる。		○水やりやゼリガニ堆肥など、枝 豆の成長に必要なことについて振 り返し、考えることができる。 ◎ゼリガニ堆肥で育てた枝豆を食 することで命のつながりを感じ、感 謝の気持ちをもつことができる。							
評 価 項 目	○水やりやゼリガニ堆肥など、枝豆の成長に必要なことについて振り返り、考えることができる。 ◎ゼリガニ堆肥で育てた枝豆を食することで命のつながりを感じ、感謝の気持ちをもつことができる。													

1.助成事業名	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	学校名	帯広市立豊成小学校	助成番号	2022-7212-029
---------	----------------------------	-----	-----------	------	---------------

7. 実際に行った単元構成 (注)活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 学 年	<p>いくぞ！がっこうたんけんたい(2) ・こうていをたんけんしよう ・がっこうのまわりをあるいてみよう</p> <p>校舎のそばを流れる機関庫の川で、川周辺の植物や生き物の様子を観察し、興味関心を高めることができた。</p> <p>【課題設定】 ○春が来て、川のまわりの様子や生き物がどのように変わったのかという目的をもち観察した。</p> <p>【調査活動】 ○川のまわりの植物や生き物を観察した。生き物が冬の間どこにいたのか想像したり、植物の芽や花の色に着目し、季節の辺をに気づきながら積極的に活動していた。</p> <p>【まとめる】 ○観察した様子を絵と文で表現した。形や色、におい、大きさなど、丁寧に観察したことをまとめることができた。</p> 	<p>げんきにそだて わたしのはな①(4) ・たねをまこう ・せわをしよう</p> <p>ザリガニの駆除活動と栽培活動のつながりを意識させながら、ザリガニ堆肥が混ぜ込まれた土を活用して作物(枝豆)を栽培した。</p> <p>【課題設定】 ○ザリガニ堆肥が混ぜ込まれた土で作物を栽培することを知ること、川と栽培活動とのつながりを意識することができた。</p> <p>【栽培活動】 ○アサガオと枝豆の観察記録をとりながら、栽培活動を行った。</p>	<p>生きもの大すき(4) ・生きものにあいこよう ・生きものふれあおう</p> <p>初めての機関庫の川で、水の感触を感じ、川に棲む生き物とふれあい、川での活動を楽しんだ。</p> <p>【課題設定】 ○高校生とともに活動するという計画はかなわなかったが、川での学習のルールや約束事などをしっかりと確認し、ライフジャケットの着け方等も学び、川に入って何をしたいか、どんな生き物を捕まえたいか、課題をもつことができた。</p> <p>【体験活動】 ○友達とペアになって活動した。初めての川に抵抗のある子供達も、友達に励まされたり、手を引かれたりしながら、少しずつ水と触れ合うことができるようになり、後半は衛生生き生と活動することができた。川底の感触や、水圧、深さ、温度などと全身で感じたり、生き物のいそうな場所を予想したりしながら活動を楽しんだ。</p> <p>【まとめる】 ○機関庫の川で見つけたものや楽しかったことを観察日記にまとめ、発表会を開いた。</p>	<p>げんきにそだて わたしのはな②(2) ・たねをとろう ・(しゅうかくしよう)</p> <p>ザリガニ堆肥を活用して栽培した枝豆を食べながら、命のつながりを実感し、川(自然)や生き物への感謝の気持ちをもつことができた。</p> <p>【課題設定】 ○川での学習で捕獲したウチダザリガニが堆肥として枝豆の成長に活用されていることを確認することで、命のつながりがりや川とのかわり認識した。</p> <p>【収穫】 ○枝豆を収穫して持ち帰った(新型コロナウイルス感染症対策のため、調理及び試食ができなかった)。大きく実った粒一つ一つを見ながら、命のつながりを実感することができた。</p> 	<p>ふゆとなかよし(2) ・ふゆのようすをたんけんしよう</p> <p>冬の川を予想しながら、雪と水で覆われた機関庫の川を探検し、生き物たちのくらしや住みかを想像したり、季節による様子の移り変わりを知ることができた。</p> <p>【課題設定】 ○計画にはなかったが、季節による川の移り変わりを実感させようと考え、冬の川を探検を行った。 ○川の中がどうなっているか、生き物はどのように想像しながら、調べて未来課題を設定した。</p> <p>【探検活動】 ○機関庫の川のそばまで行き、川の水が凍っておらず、流れていることを知った。凍っていないなら、生き物が見られるかもしれないという好奇心が湧き、川の中をじっと見つめる姿が見られた。 ○水や雪といった北海道ならではの厳しい冬の様子を感じながら、生き物のくらしを想像し、自分達と比べる様子が見られた。</p> <p>【まとめる】 ○川を探検で見つけたものを観察日記にまとめ、季節の移り変わりについて感じたことを文で表すことができた。</p> 							

8.成果と課題

- ライフジャケットの必要性をみんなで考えて、正しい着け方を学ぶことができた。
- 感染症対策を整えクラスごとに実施することができた。川の流れを体感し、冷たさや水圧、周囲の草花や川底の石、土の様子などを全身で感じる事ができた。ライフジャケットの着け方を学び、川に足を入れることもためらっていた児童が、友達と励まし合いながら、水と触れ合う活動の楽しさに気付いていく場面がたくさん見られた。また、見つけたものや楽しかったことを観察記録カードに記し、発表会を開いた。
- 夏以外の機関庫の川の様子も予想し観察することができた。特に、雪や氷で覆われる冬の機関庫の川や生き物の様子について予想しながら探検し、創造力を更に膨らませる場面が見られた。次年度は春夏秋冬4つの季節を体験させたい。(色付きの箇所は計画になかったもの)

1.助成事業名		機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり				学校名		帯広市立豊成小学校			2022-7212-029			
2.単元名		おいしい野さいをそだてよう① みんな生きている おいしい野さいをそだてよう②												
3.目標		自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む。												
4.実施学年 人数		第2学年 86人												
5.活動場所		機関庫の川												
6.単元構想(総時間数)														
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
2 学 年 ・ 単 元 目 標	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> おいしい野さいをそだてよう① (3) ・せわをしよう </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> みんな生きている (10) ・生きもののたんけんにてかけよう </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> おいしい野さいをそだてよう(4) ・しゅうかくをしよう </div>						
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> ザリガニ堆肥を混ぜた土を 活用し、一人一人が自分 の好きな野菜を育てる。こ れから駆除するザリガニの 命を活用しているというこ とを知る。 </div>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> ルールや安全を守りながら、生き物 の採捕、観察を行う。捕った魚やド ジョウは、水槽で飼育し、観察する。 外来種の駆除の目的について知るこ とを大切にする。 </div>					<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> ザリガニ堆肥を活用して栽 培した野菜を食べることで、 命のつながりと感謝の気持 ちをもって食べることの大切 さを学ぶ。 </div>						
主 な 学 習 活 動	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 【課題設定】 ○6年生が作ったザリガニ堆 肥を混ぜた土で野菜作りをす る。どんな野菜を育てたいか 考える。 【栽培活動】 ◎ザリガニの命が野菜の成長 に役立つことを実感するとと もに、その命をしっかりとなげ ることを意識しながら野菜を 育てる。 </div>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 【課題設定】 ○機関庫の川にはどんな生き物があるのか。 どんなところに棲んでいるのかを予想する。 ○安全に川での活動を行うために必要な ルールや約束を考える。 【体験活動】 ◎帯広北高校の生徒と力を合わせて、川の 生き物を捕まえたり、生き物の様子を観察し たりする。 【まとめる】 ●川の学習で発見したり、気付いたりしたこ とを、帯広北高校の生徒へお礼の手紙として 絵や文で表現する。 ●捕った生き物を水槽で飼育し、観察記録つ ける。 </div>					<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 【課題設定】 ○ザリガニ堆肥が、野菜の成長 を助け、自分達が食べることで 栄養になり、ザリガニの命が なっていくことを知る。 【試食】 ◎野菜を実際に食べることで、 命のありがたさを感じ、日常の 食についてもつなげて考える。 </div>						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○6年生が作ったザリガニ堆肥 を使った野菜作りに向けて、目 的意識をもつことができる。 ◎目的を理解し、責任をもって 野菜を育てることができる。 ◎成長の過程を観察し、変化 に気づき、前と比較しながら記 録することができる。 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○機関庫の川の生き物に興味関心をもって学習 の計画を立てることができる。 ◎北高校の生徒に補助してもらいながら、生き 物のいる場所を予想して捕り方を工夫するなど、 主体的に活動することができる。 ○安全に気を付け、ルールを守りながら活動す ることができる。 ●自分の気づきを絵や文で表現し、発表するこ とができる。 ●捕った生きものに興味関心もち、継続して飼 育観察をすることができる。 </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ○水やりや、ザリガニ堆肥など、野 菜の成長に必要なことについて振 り返り、考えることができる。 ○命のつながりについて考えよう としている。 ◎ザリガニ堆肥を使った土で栽培 した野菜を食べることで、命のつな がりを感じ、感謝の気持ちをもつこ とができる。 </div>						
評 価 項 目														

1.助成事業名	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	学校名	帯広市立豊成小学校	助成番号	2022-7212-029
---------	----------------------------	-----	-----------	------	---------------

7. 実際に行った単元構成 注)活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

2
学
年

おいしい野菜をそだてよう① (3)
・せわをしよう

ザリガニ堆肥を混ぜ込んだ土を活用し、一人一人が自分の好きな野菜を育てた。(ミニトマト・ナス・ピーマン・シシトウ)

【課題設定】
○6年生が作ったザリガニ堆肥が混ぜ込まれた土で野菜を栽培することを意識させることで、川と栽培活動とのつながりを感じることができた。
【栽培活動】
○野菜の成長の様子を観察・記録しながら、ザリガニ堆肥の栄養を吸収しながら成長している様子を実感することができた。

みんな生きている (10)
・生きものたんけんのでかけよう

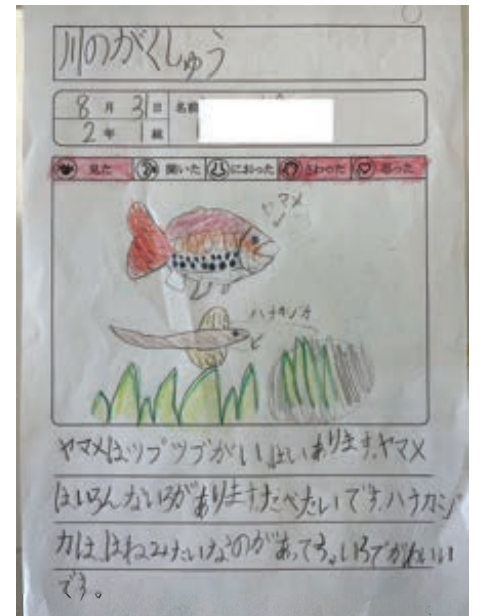
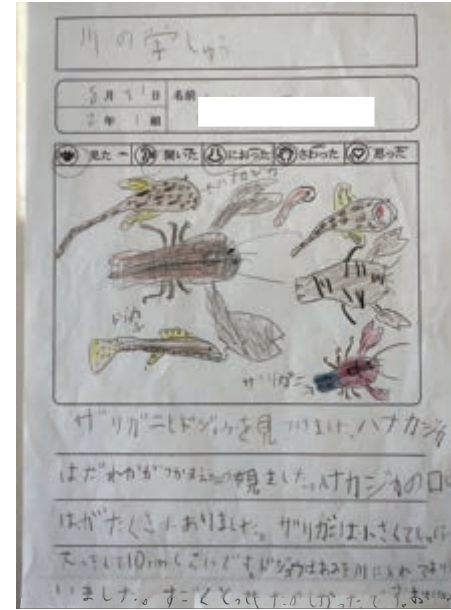
友達とペアになり、機関庫の川の生き物の採捕と観察を行った。捕まえた魚などは、たっぷり観察の時間をとった後、水槽に入れ飼育をした。(ヤマメ・フクドジョウ・ヤツメウナギ・イトヨ)

【課題設定】
○帯広北高校の生徒との学習はかなわなかったため、友達と協力して、生き物を捕まえて観察することを目的とし、どんな生き物を捕まえたいか、生き物はどこにどこに生きているか、捕まえるために二人でどんな協力をしたらよいかについて考えた。
【体験活動】
○友達と協力しながら、生き物を捕まえる活動をした。どのような捕まえ方をするのか相談したり試したりしながら活動した。
○採捕後は、助成金で購入した観察用具を有効に活用しながら、時間をかけて観察をした。「人間の体温が高いため、ずっと握っていると弱ってしまうこと」「水の中にいないと息ができないなんて、人間と反対であること」など、他の生き物や自分自身と比較しながら生き物の様子を捉える姿が見られた。
【まとめ】
●捕まえた生き物について、目・耳・鼻・触れて感じたことを観察カードにまとめ、クラスごとに発表会を開いた。
●捕まえた生き物をしばらく水槽で飼育した。毎日、生き物の様子を観察しようと水槽のまわりに児童が集まっていた。

おいしい野菜をそだてよう(4)
・しゅうかくをしよう

ザリガニ堆肥を活用して、野菜を育てながら観察記録を書いた。育てたい野菜は、各自持ち帰り、調理をし食べることで、命のつながりを実感した。

【課題設定】
○ザリガニ堆肥を混ぜ込んだ土で栽培した野菜だということを収穫を行うことができた。
【試食】
○各家庭に持ち帰り、調理をして食べることで、大きく育った野菜の栄養にザリガニ堆肥が使われていること、そして命のつながりを実感することができた。



8.成果と課題

・1年生の時に実施できていないため、この学年にとって実質的に初めての水辺の体験活動となった。川での活動のルールやライフジャケットの大切さなどについてしっかりと指導し、活動に入ることができた。生き物との主体的なかかわりがメインとなるので、生き物のいそうな場所を予想したり、捕まえ方を工夫したり、友達と協力しながら活動する場面がたくさん見られた。川から上がったからも、生き物を観察する時間をたっぷり確保した。また、児童が捕まえた生き物を、校舎内の水槽で飼育し、児童の興味関心を更に高めることにつなげた。活動後は、観察記録カードに記し、発表会を開いた。
・1年生と2年生の川や生き物に対するかかわり方は全然違うので、自分自身でも昨年度の自分との変容を捉えることのできるような評価について考える必要がある。
・感染症対策を万全に、帯広北高校との異校種交流を実施したい。

1.助成事業名	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり			学校名	帯広市立豊成小学校			助成番号	2022-7212-029			
2.単元名	機関庫の川と友だち①②③											
3.目標	自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む。											
4.実施学年 人数	第3学年 121人											
5.活動場所	機関庫の川											
6.単元構想(総時間数)												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
3 学 年 ・ 単 元 目 標	機関庫の川と友だち① (16) 環境調査・課題設定			機関庫の川と友だち② (18) 課題解決・啓発活動			機関庫の川と友だち③ (16) 学習のまとめ・報告会					
	環境調査の結果をもとに、個人の課題をもとう。			自分の立てた課題を解決するために、仲間とともに実行しよう			機関庫の川の環境を守るために、考えたことや実行したことを、いろいろな人に知ってもらい、機関庫の川の未来について一緒に考えてもらおう。					
主 な 学 習 活 動	オリエンテーション(1) 学習計画を立てよう											
	【課題設定】 機関庫の川に興味をもち、これからの活動に意欲をもつ。 【調査活動】 ◎機関庫の川と札内川の調査を行う。(周辺環境の調査・水質調査・流速調査・水生生物調査・生物調査などを4度に分けて行う) 【まとめる】 ●丸◎調査結果をもとに現状を分析し、課題設定を行うとともに、個人(グループ)の学習計画(活動計画を立てる)			【個人で立てた活動計画・啓発活動の実施】 ◎個人で立てた活動計画を実施し、新たな気付きや課題を見付ける。 (外来種の駆除・清掃活動・環境保全の啓発活動・機関庫の川について知らせる活動等。)			【学習のまとめと報告会の実施】 ◎機関庫の川の学習をまとめ、全校児童や保護者・地域や行政等を対象にして報告会を開く。 (自分達の活動報告と、機関庫の川の問題について課題の提言を行い、意見やアドバイスをもらって次年度へ引き継ぐ。)					
評 価 項 目	サケ・ニホンザリガニの繁殖・飼育(通年) ・機関庫の川を再現した水槽で、専門家のサポートを受けながら、サケとニホンザリガニの繁殖・飼育を行う ・観察の記録をとる。											
	・愛着のある川について客観的に調査する方法を知ることを知る。 ・調査活動を通して、現状や課題を正確に捉えている。 ・活動を通して気付いたことをもとに、学習の課題を設定することができる。			・観察を通して、生き物の生態や変化をとらえ、絵や文章、写真を用いてまとめることができる。			・課題の解決策を自分なりの視点や方法で考えることができる。 ・仲間と協力しながら、解決策を導き出すことができる。			・学習の成果と課題を的確にまとめ、環境保全と啓発を目的として、効果的に発信することができる。		

1.助成事業名	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	学校名	帯広市立豊成小学校	助成番号	2022-7212-029
---------	----------------------------	-----	-----------	------	---------------

7. 実際に行った単元構成 注)活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---



機関庫の川と友だち① (16)
環境調査・課題設定

機関庫の川を調査して課題を見付け、解決に向けての計画を立てた。

【課題設定】
○機関庫の川に興味をもち、これからの活動を見通して、意欲をもつことができた。

【調査活動】
◎札幌川では実施できなかったが、機関庫の川が、この地域の住所にあるように「清流」なのかどうか、という視点ももちながら活動をした。機関庫の川においては、生き物調査、バックテスト、水生生物指標による調査、外来種を含めた生き物の調査の4回の調査活動クラスごとにを行いながら、「清流」であることを確認した。
◎調査結果から「清流」であると確認するも、水が泥で濁ることや、ゴミが落ちていること、外来種のウチダザリガニが多いことなど、児童が疑問をもったり、問題だと感じたりする場面が見られた。

【まとめ】
●機関庫の川の調査結果をもとに、機関庫の川について考え、自分で追究したいことや、どのように調べてみたいかなど、次の学習計画を立てた。

機関庫の川と友だち② (18)
課題解決・啓発活動

①で立てた「機関庫の川の未来につなげる」ための計画を実現させるためのグループ活動を行った。

【個人で立てた活動計画・啓発活動の実施】
※感染症対策のレベルがあがり、一時グループ活動を取りやめた。

◎個々の課題設定から、似通った課題ごとにグループを作り、改めて課題を整理した。アプローチの仕方や実際の活動内容について整理し、順序だてて、活動の意欲向上につなげた。
◎活動を通して、分担してできること、仲間との協力でできること、専門家の知恵や協力が必要なことなど、課題解決の方法を考えながら活動することができた。
◎未来の機関庫の川がどうあってほしいのかという視点からぶれなように、自分で考えた活動を行った。
◎誰に伝えたいかという相手意識をもちながら活動することは有意義であった。

機関庫の川と友だち③ (16)
学習のまとめ・報告会

機関庫の川の調査結果と自分達の取組についてまとめ、全校児童に伝えたいこと、下級生に伝えたいこと、地域の人に知らせたいことなど、相手意識をもちながら、自分達の考えを発表した。

【学習のまとめと報告会の実施】
※ 感染症対策のレベルがあがり、学年内でのグループ活動が一時停滞したため、3月の発表となった。
※ 発表会についても、ビデオ会議システムを使い、発表グループが別室からカメラの前で発表をし、各教室へ配信する形となった。

◎環境保全のための活動を通して感じたことや伝えたいことをまとめ、相手意識をもって発信することができた。
◎仲間と協力分担しながら効果的な発表の工夫をした。
◎自分達が取り組んだことに自信をもち、メッセージを効果的に伝えるための工夫をする様子が見られた。
◎機関庫の川の未来について考え、次の学年に活動を繋げるような、問題提起を発表のまとめとしていた。

【通年活動】・機関庫の川を再現したジオラマ水槽でサケの稚魚とニホンザリガニの飼育を行った。・サケを放流した後は、機関庫の川に棲むヤマメやフクドジョウ、ヤツメウナギなど、児童が採捕した生き物を水槽に入れ、観察飼育を繰り返した。児童は、休み時間や登下校時に水槽を眺め、常に生き物に対し興味関心をもちながら活動することができた。


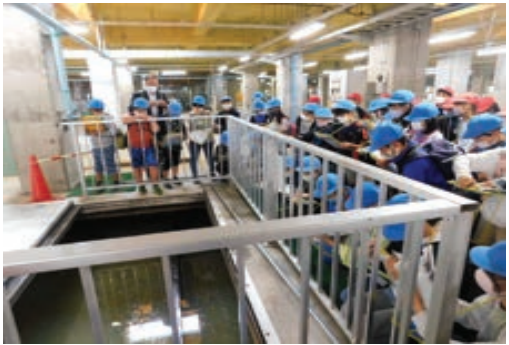





8.成果と課題
 ・学びの継続を模索しながら実施してきた。例年、学年で行っている4回の調査活動はクラスごとに実施した。課題解決の活動と発表についてはクラスの枠を外し、学年で15のグループに分かれて活動をしたが、感染症対策のレベルが上がった時期には、一時活動が停滞した。
 ・外部講師とはビデオ会議システムによりつながり、講話や質疑をした。また、外部からのガイドが呼べない時期には、教職員で生き物の解説ができるようにレクチャーを受け、授業を行うことができた。
 ・「機関庫の川が清流か」という課題からスタートしたが、児童の興味関心や課題に多様性を見ることができた。時期がずれ込んだものの「機関庫の川がどのようにあってほしいのか」をグループごとに考え、発信する活動まで行うことができた。また、3年生の取組を、過去に経験してきた高学年が温かく見守り、インタビューに答えるなど学習に協力する場面も見られた。コロナ禍での数少ない異学年交流となった。
 ・継続した取組が続いているからこそ、マンネリ化しないように子どもたちのみずみずしい感性から生まれる課題をきちんと拾い、教師側のキャパシティを広げていく必要がある。

1.助成事業名		機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり				学校名		帯広市立豊成小学校		助成番号		2022-7212-029				
2.単元名		地面を流れる水のゆくえ 水はどこから① 水はどこから②														
3.目標		自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む。														
4.実施学年 人数		第4学年 120人														
5.活動場所		機関庫の川														
6.単元構想(総時間数)																
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
4 学 年 ・ 単 元 目 標	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 地面を流れる水のゆくえ (6) </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 水はどこから(6) </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 水はどこから①(8) 郷土体験学習 </div>											
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 雨水の流れ方や、水の浸みこみ方は、土の粒の大きさによって違いがあることを調べよう。 </div>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 私たちの飲み水がどこからきているのかを知ろう。 機関庫の川が流れ込む札内川の水域について調べよう。 </div>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 稲田浄水場、十勝川流域下水浄化センターの役割について調べたことをまとめよう。 </div>											
主 な 学 習 活 動	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 【課題設定】 ○水の流れと地面の傾きにはどのような関係があるのか根拠のある予想を立て、観察や実験の方法を考える。 【実験・検証】 ◎土の種類と水の浸みこみ方にはどのような関係があるのか観察や実験を通して調べる。 【まとめる】 ●水の流れ方や浸みこみ方の仕組と自然災害や土地利用の関係について考えをもつ。 </div>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 【課題設定】 ○帯広の水がなぜおいしいのか、これまでの経験や学習から予想する。 【調べる・まとめる】 ◎機関庫の川が流れ込む札内川の水域全体の様子や地形から、その良質な水を作り出す要因を考えるとともに、それらの維持管理などについて、自分達の生活と結び付けながら考える。 </div>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 【調べる・まとめる】 ◎稲田浄水場(札内川)と、十勝川流域下水浄化センターの施設を見学して、気付いたことや分かったこと、考えたことなどをまとめ、発表する。 ◎取水口や機関庫の川との合流地点を確認することで、これまでの学習と結び付け、自らの生活とつなげて考える。 </div>											
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・他者とかかわり合いながら、調べたり実験をしたりして、主体的に活動をしている。 ・根拠のある予想をして、結果を分かりやすく記録している。 ・防災や減災への意識を高める。 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・自分で得た情報から、その要因や根拠を探究している。 ・恵まれた自然環境を理解し、地元に対する誇りをもち、その環境を保全・維持していこうと考えている。c </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・施設見学やそこで働く人の話から、課題解決のための情報を収集し、興味のあること、考えたことについてまとめ、表現している。 ・調べることから課題を見だし、自らの生活と関連付けて考えている。 </div>											
評 価 項 目																

1.助成事業名	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	学校名	帯広市立豊成小学校	助成番号	2022-7212-029
---------	----------------------------	-----	-----------	------	---------------

7. 実際に行った単元構成 注)活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
4 学 年		<p>地面を流れる水のゆくえ(6)</p> <p>雨水の流れ方と傾き、水の浸みこみ方と土の粒の大きさの関係について、予想し、実験をする活動を通して、身近な生活と関連付けて考えることができた。</p> <p>【課題設定】 ○今までの生活経験から、根拠のある予想を立て、観察や実験の方法を考えることができた。 【実験・検証】 ◎他者とかわり合いながら、主体的に調べたり実験をしたりして、結果を分かりやすく記録することができた。 【まとめる】 ●水の流れ方や浸みこみ方を、生活経験や機関庫の川での学習と結び付け、また、自然災害や土地利用に広げて考えることができた。</p>	<p>水はどこから(6)</p> <p>機関庫の川が流れ込む札内川や十勝川の様子や地形について学んだり、水のゆくえを考えたりすることで、身近な河川を大切にしたいという思いをもつことができた。</p> <p>【課題設定】 ○帯広の良質でおいしい水が作られる要因について、生活経験やこれまでの学習から予想し、この後の学習に意欲をもつことができた。 【調べる・まとめる】 ◎良質な水のおかげで、飲料水だけでなく、帯広の農業や加工業が発展していることにも気づき、地元を誇りを持ち、身近な川だけでなく、広く環境を守っていくことの大切さを理解することができた。</p>	<p>水はどこから①(8) 郷土体験学習</p> <p>十勝川流域下水浄化センターを見学し、自分達の生活と、生活用水とのつながりを学んだ。</p> <p>【調べる・まとめる】 ◎稲田浄水場の見学はかなわなかった。十勝川流域下水浄化センターでは、自分達が排出している生活排水について考えることができた。わかったことや、自分の生活とつなげて考えたことを、まとめ発表することができた。</p>	<p>自然災害からくらしを守る(2) 防災教室</p> <p>自分達の地域の自然災害(水害)からくらしを守る取組や自分にできることを知ることができた。</p> <p>【調べる・まとめる】 ◎帯広市危機対策管理部の出席授業「防災教室」を体験し、防災・減殺についての意識を高めることができた。 ◎自分の住む環境(自宅と川が近い、ハザードマップの色など)と関係づけて、災害を想定することができた。</p>							<p>水のゆくえ(6)</p> <p>自然をめぐる水の様子をまとめよう。</p> <p>【アクティビティ】 ◎projectWETのアクティビティ「驚異の旅」を活用した。水の三態を理解し、自然界をめぐる水の様子について興味をもってイメージを膨らませることができた。 ◎地球の水を守っていくために、自分にできることについて考えることができた。</p>
												

8.成果と課題

・3年生の時の「機関庫の川と友だち」を想起しながら、社会科「水はどこから」の学習を進めることができた。子どもたちは、「川」を「生活の中の水」に視点を変え考えることができた。

・4年生はこれまで、社会科「水はどこから」の単元で、水質の維持管理について生活と関連付けて考える学習を中心にしてきた。今後は、理科「地面を流れる水のゆくえ」や社会科「自然災害からくらしを守る」の単元をつかって、防災の考え方についても学習を深めることができると考え、計画にはなかったものの、市の危機管理対策課による防災教室を取り入れている。ハザードマップの見方を知り、自分の家が危険であるかどうか、危険が及んだ際にどうしたらよいのかについて考える児童の姿が見られた。次年度も、機関庫の川から視野を広げ、流域防災について考える授業を展開したい。

・また、理科「水のゆくえ」の単元では、ProjectWETのアクティビティ「驚異の旅」を取り入れ、すごろくをしながら、地球規模で水の循環について考える姿が見られ、効果的であった。これも次年度継続したい。(色付きの箇所は計画になかったもの)

1.助成事業名		機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり				学校名		帯広市立豊成小学校		助成番号		2022-7212-029	
2.単元名		受けつがれる生命 十勝の農業を体験しよう 流れる水のはたらき											
3.目標		自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む。											
4.実施学年 人数		第5学年 143人											
5.活動場所		機関庫の川											
6.単元構想(総時間数)													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
5 学 年 ・ 単 元 目 標	植物の発芽と成長(4)		十勝の農業を体験しよう(12)										
	ザリガニ隊のの効果を検証しよう		プロから十勝の農業について学ぼう										
主 な 学 習 活 動	<p>【課題設定】 ○植物の成長に必要な条件を予想し、どのような実験検証を行うのかを考える。</p> <p>【検証実験】 ◎機関庫の川で駆除したウチダザリガニで作った堆肥の効果を検証し、記録する。</p> <p>【まとめ】 観察記録から考察し、ザリガニ堆肥の効果についてまとめる。</p>		<p>【課題設定】 「植物の発芽と成長」の学びから、ザリガニ堆肥を効果的に活用した野菜の栽培方法について考える。</p> <p>【栽培活動】 ◎野菜の栽培方法を学ぶ中で、ザリガニ堆肥の効果的な活用方法を知る。</p> <p>【まとめ】 ●農業と、水や土、そのほかの環境とのかかわりについて学び、その重要性や魅力についてまとめ、発信する。</p>										
	評 価 項 目	<p>・予想や仮説、実験の結果や観察記録から、命の連続性を感じるとともに、学習の成果を統計的にまとめることができる。</p>		<p>・調べたことを活かし、自らの生活と関連付けて考えている。</p> <p>・地元の環境や産業に対する誇りと愛情をもち、そのよさや課題と目的をもって発信することができる。</p>									

1.助成事業名	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	学校名	帯広市立豊成小学校	助成番号	2022-7212-029
---------	----------------------------	-----	-----------	------	---------------

7. 実際に行った単元構成 注)活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
5 学 年	<p style="text-align: center;">植物の発芽と成長(4)</p> <p>インゲン豆の発芽実験を活用して、ザリガニ堆肥の効果検証実験を行った。明らかに、ザリガニ堆肥を使ったインゲン豆の方がよく成長したことで、堆肥の効果が立証された。</p> <p>【課題設定】 ○これまでの生活経験などから、植物の成長に必要な条件を予想し、ザリガニ堆肥の効果について考えることができた。 【検証実験】 ◎「堆肥あり」「堆肥なし」の成長の様子を比較しながら記録をし、ザリガニ堆肥の効果について実感することができた。葉の数や色、茎の太さや実の付き方など、いずれも大きな違いが見られ、インゲン豆の成長に効果があることが立証された。 【まとめ】 ◎これまでに駆除してきたザリガニの命がどのようにつながっていくのかを意識しながらまとめることができた。</p>		<p style="text-align: center;">十勝の農業を体験しよう(12)</p> <p>JA川西青年部や近隣の農家の方々を講師に、野菜の栽培方法を学んだ。その中でザリガニ堆肥を土に混ぜる効果についてお墨付きをいただき、さらに意欲的に栽培活動を行うことができた。また、十勝の基幹産業である農業と水、土のかかわりについて、自分なりの考えをもつことができた。</p> <p>【課題設定】 ○JAかわにしに青年部の方々や、近隣の農家の方々に、ザリガニ堆肥の効果的な活用方法を教わり、栽培活動への意欲につなげた。 【栽培活動】 ◎効果が確認されたザリガニ堆肥をつかって、野菜の栽培活動を行った。(ピーマン・ミニトマト・バジル・ジャガイモ・トウモロコシ等) 【まとめ】 ●学習のまとめとして、農園の野菜を具材にして、すべて十勝産の材料でピザを作り試食をした。ザリガニ堆肥を活用する命のつながりと、地産地消のよさを体感し、農業と水、土のかかわりや、十勝の農業の魅力について自分の考えを新聞にまとめ発信した。</p>				<p style="text-align: center;">流れる水のはたらき(12)</p> <p>北海道教育大学釧路校境教授のアウトリーチを受けながら、授業をすすめた。機関庫の川を活用し、水の流れと浸食、堆積の様子などを実際に見ることで課題をもち、その課題を解決しながら、流れる水の作用について知ることができた。</p> <p>北海道教育大学釧路校の境教授の協力により、機関庫の川の観察→課題設定→課題解決場面まで、子どもたちの思考を切らないように授業を行うことができた。 【課題設定】 ○機関庫の川に実際に入り、川岸や川底の様子などを観察し、流れる水のはたらきについての疑問をたくさん洗い出すことができた。 【検証実験】 ◎自分達が見つけた課題を解決するためにどのような実験を行うかを考え、グループごとに活動することができた。自分で立てた課題を解決するために主体で機に活動する様子が見られた。 【まとめる】 ●流れる水の作用について、実際に川を見て疑問に思ったことを検証することができ、これまでと違う新たな視点で機関庫の川を見ることができるようになった。</p>							
														
	<p>8.成果と課題</p> <p>・理科「植物の発芽と成長」・総合的な学習「十勝の農業を体験しよう」において、昨年度の6年生が作成したザリガニ堆肥をつかって作物を栽培し、堆肥の効果を検証した。実験結果から命のつながりを感じ、その命をつなぐ活動の意義を理解することができた。次年度の堆肥づくりへの意欲の向上を図ることができた。</p> <p>・計画にはなかったが、北海道教育大学釧路校の境教授のアウトリーチを受け、理科「流れる水のはたらき」の学習を行った。例年はグラウンドに流水実験模型をつくる程度であったが、実際に機関庫の川に入り、土地の様子を見て、なぜここが低くなっているのか、なぜ川岸が削れているのか、疑問を見だし、その一つ一つを解決するためにグループ活動を行うことで、児童の主体的な学びにつながった。実験結果や考察の発表には効果的にタブレットを活用していた。またこの学習は、社会科「自然災害を防ぐ」にもつながっており、次年度は防災を考える学習にも機関庫の川を活用していきたい。(色付きの箇所は、計画になかったもの)</p>													

8.成果と課題

・理科「植物の発芽と成長」・総合的な学習「十勝の農業を体験しよう」において、昨年度の6年生が作成したザリガニ堆肥をつかって作物を栽培し、堆肥の効果を検証した。実験結果から命のつながりを感じ、その命をつなぐ活動の意義を理解することができた。次年度の堆肥づくりへの意欲の向上を図ることができた。

・計画にはなかったが、北海道教育大学釧路校の境教授のアウトリーチを受け、理科「流れる水のはたらき」の学習を行った。例年はグラウンドに流水実験模型をつくる程度であったが、実際に機関庫の川に入り、土地の様子を見て、なぜここが低くなっているのか、なぜ川岸が削れているのか、疑問を見だし、その一つ一つを解決するためにグループ活動を行うことで、児童の主体的な学びにつながった。実験結果や考察の発表には効果的にタブレットを活用していた。またこの学習は、社会科「自然災害を防ぐ」にもつながっており、次年度は防災を考える学習にも機関庫の川を活用していきたい。(色付きの箇所は、計画になかったもの)

1.助成事業名		機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり				学校名		帯広市立豊成小学校			2022-7212-029			
2.単元名		生物どうしのつながり はたらくことについて												
3.目標		自分達の生活とのつながりを実感し、恵まれた環境を守ろうとする見方や考え方を育む。												
4.実施学年 人数		第6学年 120人												
5.活動場所		機関庫の川												
6.単元構想(総時間数)														
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
6 学 年 ・ 単 元 目 標						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">生物どうしのつながり(4)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 機関庫の川の生態系を脅かす、ウチダザリガニの駆除し、ザリガニ堆肥を作ろう。 </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">こだわりの土作り(1)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> こだわりの土作りを行う近隣の農家の方の講話を聴き、堆肥の有効性と命のつながりについて考える。 </div>				
	主 な 学 習 活 動						<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 【課題設定】 ○「生物どうしのつながり」の学びから、生態系を脅かす外来種の存在について考える。 【体験活動】 ◎機関庫の川で駆除したウチダザリガニを活用した堆肥づくりをする。この堆肥を、次年度の農園栽培活動に活用することをイメージし、ウチダザリガニの命がつながることをイメージしながら活動する。 【まとめる】 ●自分達の行った活動について振り返りをする。 </div>					<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> 【講話】 ◎こだわりの土づくりの話から、ザリガニ堆肥の有効性について再確認する。また、命のつながりについて考え、卒業時に、自分達の思いをどのように下級生へ伝え残しておくかを考えるきっかけとする。 </div>		
評 価 項 目							<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> ・目的や課題を明らかにしながら、協働的かつ主体的に活動することができる。 </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> ・講話と、これまでの活動や自らの考えを結び付けて、これからどうしたのかを考えることができる。 </div>		

1.助成事業名	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	学校名	帯広市立豊成小学校	助成番号	2022-7212-029
---------	----------------------------	-----	-----------	------	---------------

7. 実際に行った単元構成 注)活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
6 学 年						<p>生物どうしのつながり(4)</p> <p>下学年が機関庫の川で駆除したウチダザリガニを、6年生が堆肥にすることの意味や、これまでの河川学習とのつながりを考えながら活動することができた。</p> <p>【課題設定】 ○「生物どうしのつながり」で学んだ、生態系を脅かす外来種の存在について考え、自分達にできることについて、取組に意欲をもつことができた。</p> <p>【体験活動】 ◎ただの体験に終わらないように、活動の目的や、6年生に任せられた取組であること、命のつながりについて考えながら活動することができた。 ◎作成後、3週間の繰り返し作業についても、分担をしながら活動を継続することができた。</p> <p>【まとめる】 ●自分達の行った活動に誇りをもっている様子が振り返りに見られた。</p>			<p>こだわりの土作り(1)</p> <p>こだわりの土作りの話を聴きながら、堆肥の有効性と命のつながりについて考えることができた。</p> <p>【講話】 ◎こだわりの土づくりの話から、ザリガニ堆肥の有効性について再確認し、自分達の活動を振り返ることができた。講話の後、この自分達の活動を、卒業時にどうやって在校生に伝えていくのかについて話し合う姿が見られた。</p>			



8. 成果と課題

・理科「生物どうしのつながり」の中で、機関庫の川の生態系について考え、全校児童で駆除しているウチダザリガニの有効活用につなげる学習を今年度も行った。この学習を6年生に位置付けることは、大きな意味がある。環境保全と、命の尊さについて深く考え、責任と目的、誇りをもって活動することができているものとする。
・卒業時に児童は、全校で駆除したザリガニを堆肥化する思いなどをスライドにして、オンラインで発表した。その中で、改めて6年間の学習がつながっていることを実感したようであった。機関庫の川を通して身に付けたことを、自分の生き方の一部となっていることを感じてほしいと願い、子どもたちへどのような言葉掛けが重要かを考えていきたい。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と 自然環境とのつながり	帯広市立豊成小学校 岸梅 哲郎

1年生 いきものにあいにいこう

フィールド：機関庫の川

日付：8月27日（1年1組）
8月28日（1年2組）
8月29日（1年3組）
8月30日（1年4組）



ライフジャケットを着るのも初めて！
みんなの命を守るライフジャケットの
大切さを知って、一人で着られるよう
に練習をします。



2人で一組のペアを作り、出発です！



すぐに水に入ることができる子もいれば、どうやって足を入れようか、足を入れるのも緊張している子もたくさん！冷たいかな？深いかな？友達の手を握って、勇気を出す瞬間です。

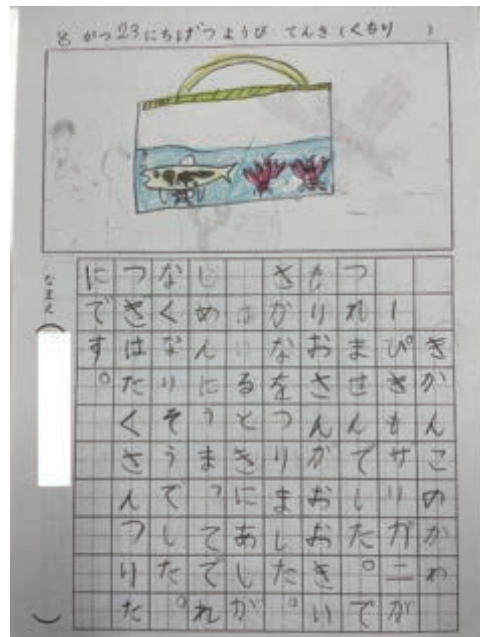
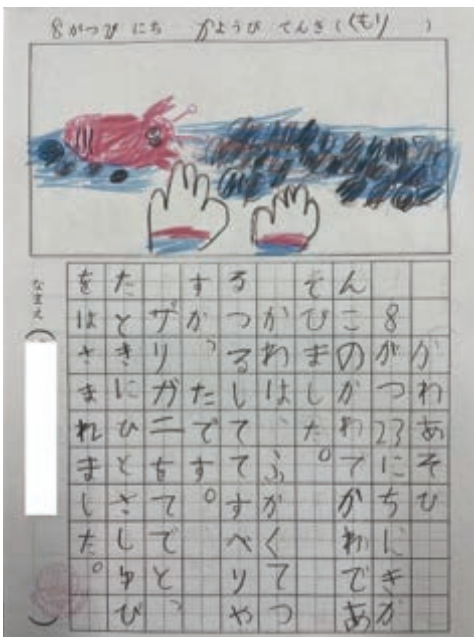




「あっ！つかまえた！」「魚が捕れたよ！」「ザリガニだ！」あちこちで声が上がりはじめて、「どうやったら捕まえられる？」「いい方法見つけたよ。」水の中で様々な会話が聞かれるようになります。生きものだけでなく「ぬるぬるしてすべりやすい！」「反対向きだと歩きにくい！」水に対する驚きの声も上がります。



川から上がった後は、生き物を観察し触れ合う時間をとりました。生き物にそっと優しく触れる姿、ザリガニを捕まえることができ自慢げな顔。様々な表情が見られました。



活動後には、観察絵日記を書いて、発表会を開きました。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	帯広市立豊成小学校 岸梅 哲郎

2年生 生きもの 大すき

フィールド：機関庫の川

日付：8月31日（2年1組）29名
9月 1日（2年2組）29名
9月 2日（2年3組）29名



2年生も、実は昨年度学習ができていないため、初めての川との出会いとなります。安全やルールについての話をしっかりして、出発します。



どんな生き物を捕まえたいか、ワクワク話しながら向かいます。



初めて足を入れる瞬間は誰でもドキドキ。水の冷たさに足が慣れるまで、キャッキヤと声がか響いています。





2年生は、捕まえた生き物と触れ合う時間をたっぷりと捕りました。水槽の生き物をバットにうつし、観察をします。川の生き物に触る経験のなかった子ども達が、ぬるぬるした感触に驚いたり、経験のある子が「人間の手はとてもあったかいから、ずっと魚を握っているとやけどするくらい暑いんだよ。」と教える姿が見られたりします。ザリガニのどこをもつと挟まれないのかを教え合ったり、カジカの口の中をのぞいたりするのも初めての体験だったかもしません。

この日印象的だったのは、「水の中じゃないと息ができないなんて、ぼくたち人間と反対だ。」というつぶやきです。他の生き物と比較する…、実際に触れ合ったからこそ、出てきた言葉だったと感じました。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	帯広市立豊成小学校 岸梅 哲郎

3年生 きかんこの川と友だち

フィールド： 機関庫の川・教室

日付： 4月～3月



4月27日 サケの稚魚放流

3年生は、ほぼ1年間を通して機関庫の川とかかわって学習しています。1学期は、パックテストなどの川の調査を行い、わたしたちの機関庫の川について詳しく知り、そして自分なりの課題を見つけることを目的にして活動します。2学期は、その課題を解決するための調査活動や啓発活動を行いながら学習をまとめます。今年度は、感染症拡大のために時期が3月にずれ込み、またオンラインという形になりましたが、最後に発表会を開いて、自分たちの活動を振り返るという1年になりました。



6月16日 3年1組・3組



6月17日 3年2組



今年初めての川の学習



6月29日 パックテスト



7月7日 3年1組



7月8日 3年2組



7月9日 3年3組 水生生物調査



8月26日 3年2組 8月27日 3年1組 8月31日 3年3組
外部講師（十勝多自然ネットガイド）を招き、生き物採捕および観察・解説



9月2日 十勝多自然ネットから野村講師を招いて、外来種ウチダザリガニについて、ZOOMで講話をいただき、子ども達がたくさん質問をしました。



3月11日 ZOOMをつかって各教室へ配信をしながら、グループごとのまとめを発表しあう会を開きました。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	帯広市立豊成小学校 岸梅 哲郎

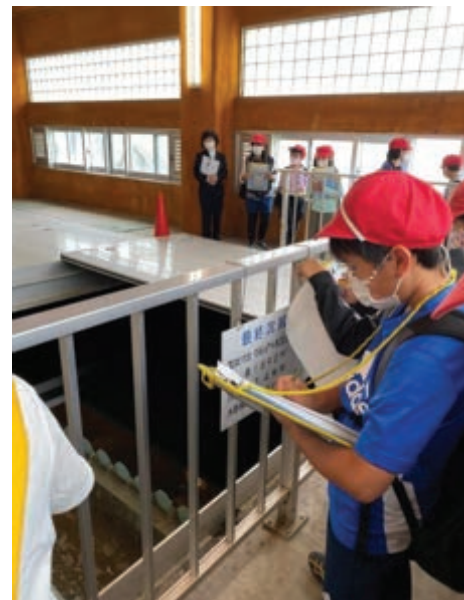
4年生 自分たちの生活と水とのかかわりについて考えよう



フィールド：理科室・見学施設
 日付：6月18日
 水道出前講座
 7月2日
 郷土体験学習



社会科「水はどこから」の学びと合わせて、帯広市水道局から講師を招き、「水道出前授業」を行っています。私たちの飲み水は、機関庫の川が流れ込む札内川からひいていることや、どれだけ安全でおいしい水かということを教えてもらい、自分たちの生活と川との、新たなつながりを意識することができました。



また郷土体験学習では、「十勝川流域浄化センター」を見学しました。生活排水が浄化され、川に戻されるまで仕組みを学び、さらにまた、生活とのつながりと、水の循環について考えていきます。

フィールド：校内ホール

日付：3月14日(3組)
3月16日(1組)
3月18日(2組)

4年生の理科、最後の単元「水のゆくえ」では、プロジェクトWETの教材「驚異の水」をつかって、アクティビティを行いながら水の循環について考えました。



すごろくをしながら、水の「しずくちゃん」の旅について物語を作り、グループごとに発表します。



子ども達の振り返りからは、「水が、雲→雨→海などを循環しているのは知っていたが、動物や植物、氷河までが関係しているとは思わなかった。」「こんな水の旅が無限に続いていることにすごく驚いた。」などの感想が見られ、水のしずくになりきって体験したことに効果が感じられた学習となりました。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と 自然環境とのつながり	帯広市立豊成小学校 岸梅 哲郎

5年生 十勝の農業を体験しよう

フィールド： 教室
日付： 5月～9月



理科「植物の発芽と成長」では、ザリガニ堆肥を入れた土と入れない土で、インゲン豆を育て、その効果の検証を行います。6年生から引き継いだザリガニ堆肥の有効性を実証する、5年生にとって大きな仕事、毎日条件を変えないように水やりを欠かしません。結果は明らかで、葉の色や枚数、実の付き方などに大きな差が出ます。



総合的な学習では「十勝の農業を体験」する5年生。ザリガニ堆肥を混ぜ込んだ学校農園にて野菜を育て、秋には自分達で育てた野菜を具材とした地産地消ピザを焼いて食べます。JAかわにし青年部のみなさんや、有機農業にこだわる地域の農家さんの講話なども聴いて、農業にはいかに土や水が大切かという思いを受けとめています。

5年生 流れる水のはたらき

フィールド： 機関庫の川・理科室
日付： 10月20日



北海道教育大学釧路校の境教授の監修を受け、「流れる水のはたらき」の学習を行いました。「まずは機関庫の川を見に行こう。」と、水の働きにかかわる自分の疑問を見つけるために機関庫の川へ。大きく曲がったカーブの内側と外側の土地の様子や流れの速さ、石の形や泡の様子など、不思議に思ったことや自分なりの予想をもとに、どんな実験をしたらよいかを考えます。境先生が、子ども達のはてなをさらにくすぐるような投げかけをして、子ども達の意欲をかき立てています。



次の時間は流水実験機を用い、機関庫の川をイメージして浸食や堆積の様子を観察します。金沢先生も子供たちの話合いに参加してくれています！水の量や高低差などの条件を変え、タブレットを用いて実験の結果を発表しました。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	帯広市立豊成小学校 岸梅 哲郎

6年生 生物どうしのつながり



機関庫の川の生態系を脅かす外来種ウチダザリガニの存在について考えます。駆除しなければならないが、ウチダザリガニの命はどう考えるか？これまで学んできたことを振り返りながら、じっくり考えることが重要です。

フィールド：教室及び中庭
日付：9月13日
10月12日
～3週間



今年度、全校児童で駆除したウチダザリガニは、冷凍庫で保管していました。





ザリガニ堆肥を作るには、ザリガニを細かく砕かなければなりません。その作業工程には、抵抗を感じる子どもたちも少なくありませんが、有機農業を営む農家さんから、その有効性にお墨付きをいただいたり、代々の6年生が6年生にしかできない活動として取り組んできたことに誇りウを感じたりしながら、抵抗感をやわらげ、主体的に活動する姿が見られるようになります。

堆肥のつくり方については、毎年試行錯誤を繰り返し、今年度は美幌高校の先生からアドバイスをいただきながら進めてきました。一度で完成するわけではなく、2~3日に1回、空気に触れさせて切り返しを行う日々が続き、子ども達が継続して取り組んできました。発酵中にはにおいもきついです。が、だんだんと水分が少なくなり温度やにおいが落ち着いてくる様子に、子ども達自身も大きな達成感を感じたようです。



いよいよ卒業の時期が近づくと、6年生が下級生にザリガニ堆肥をプレゼントします。全校児童で駆除したウチダザリガニを、自分達が堆肥に変えたこと。来年の農園活動に活かすことで、命のつながりを感じてほしいこと。そのことをどのように下級生に伝えるか？以前のような贈呈式ができない今、玄関前に展示したり、テレビ放送をつかって、スライドを流したりして伝える6年生の工夫が見られました。

ともだち

豊成小1年1組 学級通信 令和3年8月20日 NO. 25

2学期スタート!

いよいよ2学期が始まりました!初日は2校時にリモートで始業式が行われました。写真は校長先生からの話を聞いているところです。しっかりべんきょうすること、「3つのやくそく」(挨拶・返事、歩こう廊下、きれいな校舎)を意識して生活することなどのお話を真剣な様子で聞いていました。



国語の時間には夏休みの課題になっていた『絵日記』の発表も行いました。拡大投影機に映し出し、発表しました。今回の発表では「友達の発表をよく聞いて感想・質問を伝える」ということを課題に行いました。久しぶりの学校ということもあり、緊張する様子もありましたが、頑張りました。

宿題の丸付け等のご協力ありがとうございました。
2学期もどうぞよろしくお願いたします。

川の学習～機関庫の川～

昨日、央戸先生・河村先生と機関庫の川で学習をしました。ライフジャケットの付け方など気を付けることをしっかり聞き、網・かごを持っていよいよ川へ出発!天気も良く、外は暑かったのですが、川の水は冷たくて気持ちよ



学習のはじまり。入ってみようとそっと足をのばしているところ。

かったです。「うわ～冷たい!」と初めのうちは、控えめだった子どもたちも、気付けばどんどん入って夢中になって生き物を探していました。観察したり、触ったり、「楽し～い!!」との声も。捕まえた魚は校内の水槽に入れてもらい、昼休みにも嬉しそうに見ていました。

靴・着替え等の準備、ありがとうございました!



にこにこ



～やさしく げんきに がんばるクラス～

豊成小学校 1年2組 学級通信 令和3年2月3日 NO.44

スケート、頑張っています



リンクが完成し、先週からスケート学習が始まりました！靴ひも縛りの練習や道具の準備等、お忙しい中ありがとうございました。

スケート学習が始まる前には、「怖い。」「滑れないよ～」とスケート学習へ不安な様子な子どもたちがたくさんいました。スケート学習初日は緊張しながらの学習となりましたが、やってみると「楽しかった！」「〇〇ができるようになったよ！」とスケートに親しんでいる様子でした。今ではスケート学習を楽しみにしている子やできるようになったことを報告しに来てくれる子が多くいます。短い間ではありますが、スケートへの得意な子も不得意な子も、一人一人が自分の課題に向き合って少しずつ上達していければと思っています。

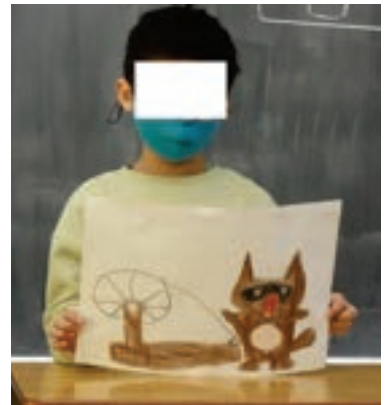
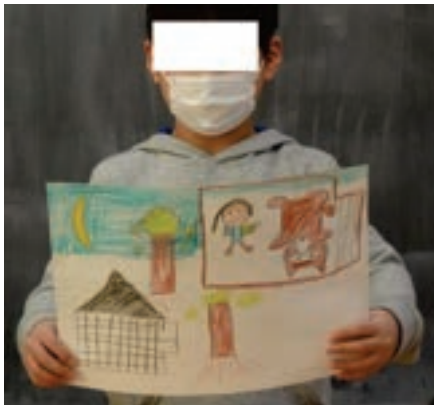
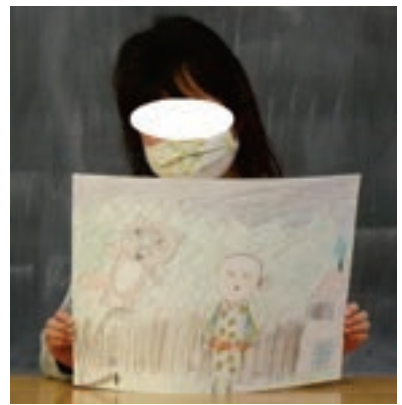


ぼく・わたしの好きな場面は…！？



国語では、「たぬきの糸車」という物語文を学習してきました。子どもたちが場面の様子や登場人物の心情を文章を基に想像できるようになる姿を目標とし、学習を進めてきました。この物語文を学習する中で、「3の場面でおかみさんは…って言ってたから〇〇な気持ちだと思う！」「…って書いてあるから、たぬきは〇〇な気持ちじゃないかな。」といった文章から読み解こうとする姿が多く見られました。

子どもたちと決めた学習のゴールは、自分の好きな場面を決めてカードにして発表することでした。今週、そのカードの発表がありました。カードの絵は教科書の挿絵の真似ではなく、読解を基に子どもたちが場面を想像して描いたものです！絵の裏には好きな場面とその時の登場人物の心情、そして好きな理由を書いた方眼紙を貼っています。ご家庭でも是非、どの場面が好きなのか聞いてみてください！！



「ふゆとなかよし」～秋と比べると…～



「川が凍っているよ!」「足跡がある!」



「葉っぱがない!」「雪がたくさんある～」

生活「ふゆとなかよし」では、秋からの季節の変化に気づき、発見をすること目標に、校舎の周りを見に行きました。

秋と異なり、木に葉っぱがなくなっていることや川が凍っていること、地面には雪がたくさん積もっていること、また雪の上の足跡からきつねや鹿といった動物が冬にはよく見られることに気付く姿が見られました。学習後には「もっと見に行きたかった!」「秋との違うところをもっと探したい。」といった学習に意欲的な声があがりました。

にこにこ



～やさしく げんきに がんばるクラス～

豊成小学校 1年2組 学級通信 令和3年8月27日 NO.25

川の学習がありました！

8月20日、機関庫の川で「川の学習」をしました。事前学習では、川の深さや速さ、暖かいか冷たいか、そしてどのような生き物がいるのか、予想をしました。川の速さや深さに関しては、子どもたちの予想がおおよそ半々に分かれました。川にいる生き物の予想では、「ザリガニ！」「魚！」「エビとかいるかな。」「大きい魚がいるといいな～」と様々な意見が出ました。

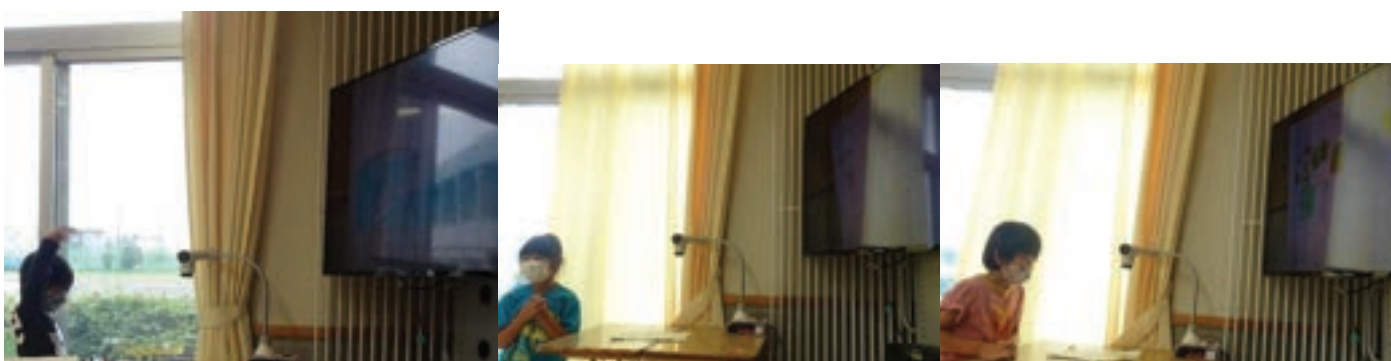
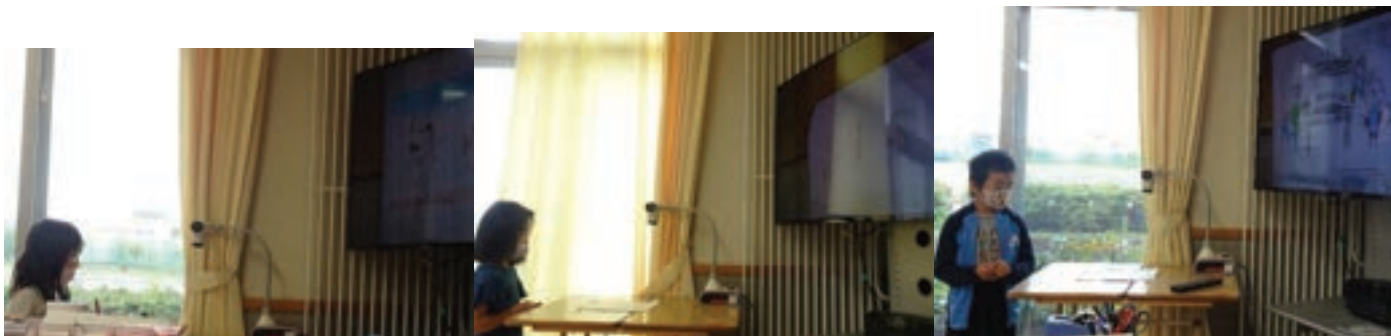
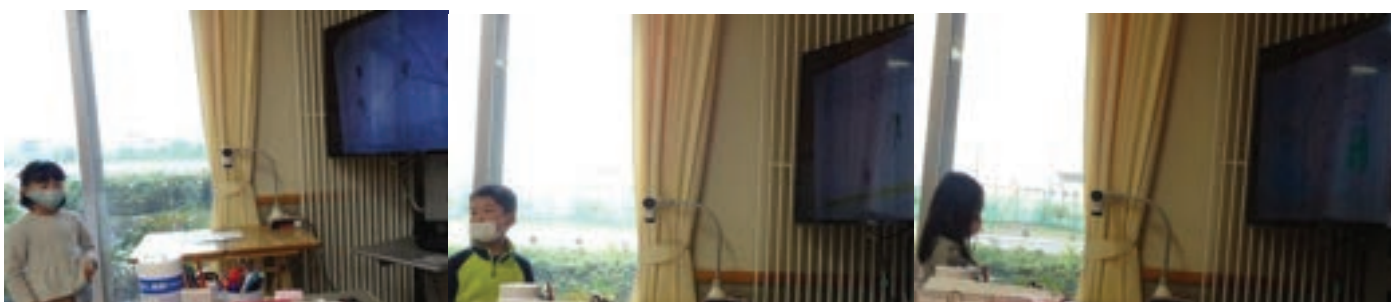
予想を立てて、ワクワクした気持ちで迎えた川の学習当日。ドキドキワクワクしながら、川へ向かいました。すぐに川に入る子もいれば、緊張や怖さで時間をかけて川に入った子もいました。川では、2人1組になり、網とかごを持って一生懸命生き物を探していました。子どもたちが予想していた、ザリガニや魚(ドジョウやヤマメ)がたくさん取れました。子どもたちからは「先生～！大きいザリガニとれた！」「魚がいた！」と嬉しそうなお声があがりました。川への興味関心が高まった、有意義な2時間でした。





夏休みの絵日記発表会！

8月18日、国語の時間に夏休みに書いてきた絵日記の発表をしました。公園に遊びに行った子や自転車の練習をした子、焼肉をした子やおじいちゃんおばあちゃんにあった子…それぞれの思い出を一生懸命発表してくれました。また、今回の絵日記の発表会では、お友達の発表を聞いて、質問や感想を伝える学習をしました。初めてのことで難しかったようですが、今後の学習を通して、自分の意見をもつこと、それを伝えることが少しずつできるようになっていくといいなと思っています。



にこにこ



～やさしく げんきに がんばるクラス～

豊成小学校 1年2組 学級通信 令和3年1月28日 NO.43

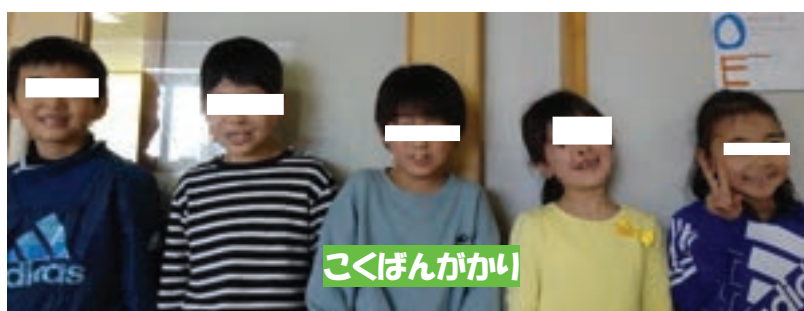
こんな顔になったよ!



生活「ふゆとなかよし」の時間に、子どもたちが楽しみにしていた氷のお面を作りました。お忙しい中、材料や道具の準備をしていただきありがとうございました。おびひろ氷まつりに飾ることはできませんでしたが、作ることを楽しみにしていた子どもたちは満足そうな様子でした。お面作りをした日は、外が寒く、手がかじかんでしまう子や「寒い〜!」と言いながら頑張っている子もいました。子どもたち1人1人が頑張り、個性豊かな氷のお面を作ることができました。



係が決まりました！！



※持ち物の確認についてのお願い

最近、のりやノートの補充忘れやハンカチ・ティッシュの忘れが増えています。子どもたちには「のりやノートはなくなりそうになったらお家の人に伝えてね。」「寝る前や学校に来る前に持ち物を確認しようね。」と伝えていますが、ご家庭でも一度確認していただくと幸いです。お忙しいと思いますが、ご協力よろしく申し上げます。



あくしゅ

豊成小学校 1年4組 学級通信
令和4年2月2日(水) 第44号



色水を凍らせてみよう！



生活科の「ふゆとなかよし」の学習で、冬ならではの遊びをみんなで考えました。その一つとして、絵の具と水を混ぜて色水を作り、凍らせてみました。とてもきれいな仕上がりに、みんな大喜び(笑)。早速ご家庭でやってみた子も多かったようで、お気に入りの作品になりました。

完成した色水でどんな遊びをするのかみんなで考えたところ、「全部並べてみる!」とのことで、4組の「4」を作って並べてみました。スケートリンクの横は雪がたくさん積もっていて、みんなで寝転がったり走ったりしてとても楽しそうでした。



あくしゅ

豊成小学校 1年4組 学級通信
令和3年8月27日(金) 第24号



夏休み作品

鑑賞会



夏休みの課題を提出してもらいましたが、一生懸命取り組んだ様子がしっかりと伝わってくるものでした。ドリルの丸付けや自由研究

の作成等、お子さんの学習にご協力いただき、ありがとうございました。

特に自由研究は、どの作品も工夫の見られる楽しいものばかりでした。お家の人と一生懸命考えた経験は、必ず今後の学習に生きてくることでしょう。

さてその自由研究ですが、図工の時間に学年で1年生121名分の作品鑑賞会を行いました。他の教室の作品も見ることができると知り、子どもたちは大喜びでした。

各学級を回って、自分のお気に入りの作品を1つ見つけます。そして、「真似したいところ」「すごいところ」「おもしろいところ」といった視点で文章を書きました。作品をよく見て、しっかり書くことができました。

機関庫の川で遊ぼう！



生活科の学習「なつとなかよし」の中で、「夏といえばどんな遊びがある？」という問いに、子どもたちから「川遊び！」という声がありました。そこで、学校のすぐそばにある「機関庫の川」に入ることとしました。道具の準備などをして下さり、ありがとうございました。

事前に「川でどんな遊びをしたい？」と聞くと「生き物を捕まえたー！」とのこと。「ではどんな生き物がいるのかな？」と聞くと、「ザリガニ!」「魚!」「ウナギ!」「サメ!？」などという声がありました(笑)。

実際に川に入ってみると、夢中になって網で川底を掘る子どもたち。次々とザリガニやヤマメ、フクドジョウなどを捕獲し、大興奮でした!中には15cm程度のイワナを捕った子もいました。ちょっと怖くて川に入ることができない子もいましたが、そこは無理せず、友達が捕まえたザリガニなどを観察したり触ったりして楽しみました。

豊成小学校ではこの機関庫の川を生かして、様々な学年で川の学習が行われています。今回の学習で、「近くの川に、こんなに生き物がいるとは思わなかった!」と振り返った子もいました。身近にある自然の魅力に気付き、大切に作る心を育てていきたいと思っています。



あくしゅ

豊成小学校 1年4組 学級通信
令和4年1月25日(火) 第41号



生活科「ふゆとなかよし」～氷のお面づくり～

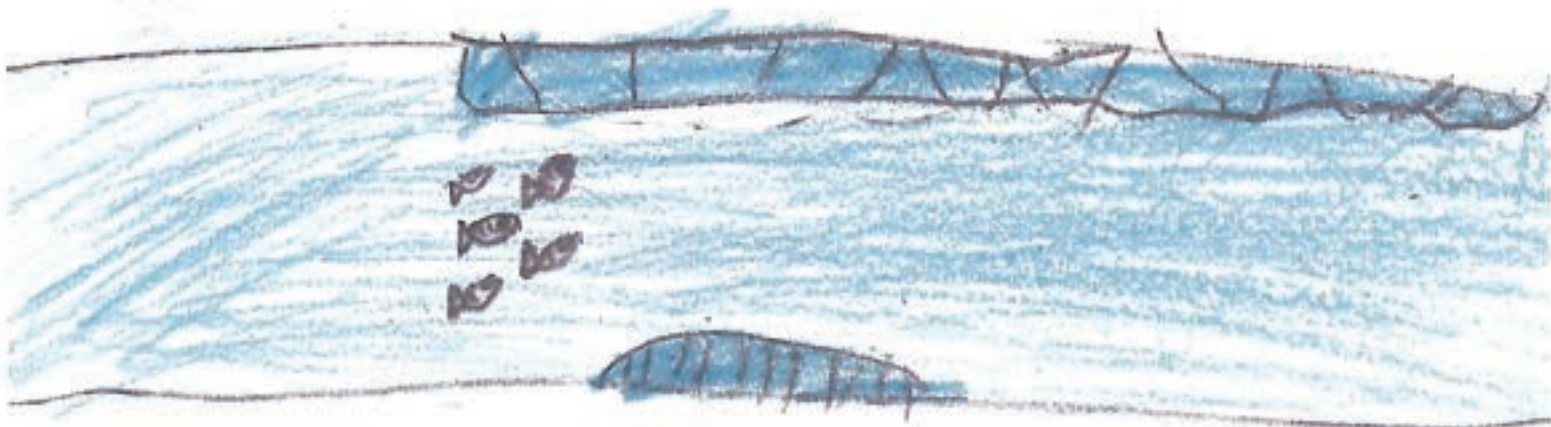


先週、氷のお面を作りました!材料や道具を準備して下さい、ありがとうございました。

残念ながらおびひろ氷まつりは中止となってしまいましたが、楽しみにしていた子も多かったので、制作してみました。この日はとても寒く、「寒いー!」と言いながらも、設計図を見ながら一生懸命お面を作っていました。それぞれ工夫された材料や並べ方があり、どれも面白いお面になっています。冬の楽しみ方の一つとなったようです。

ふゆとなかよし「ふゆのようす」

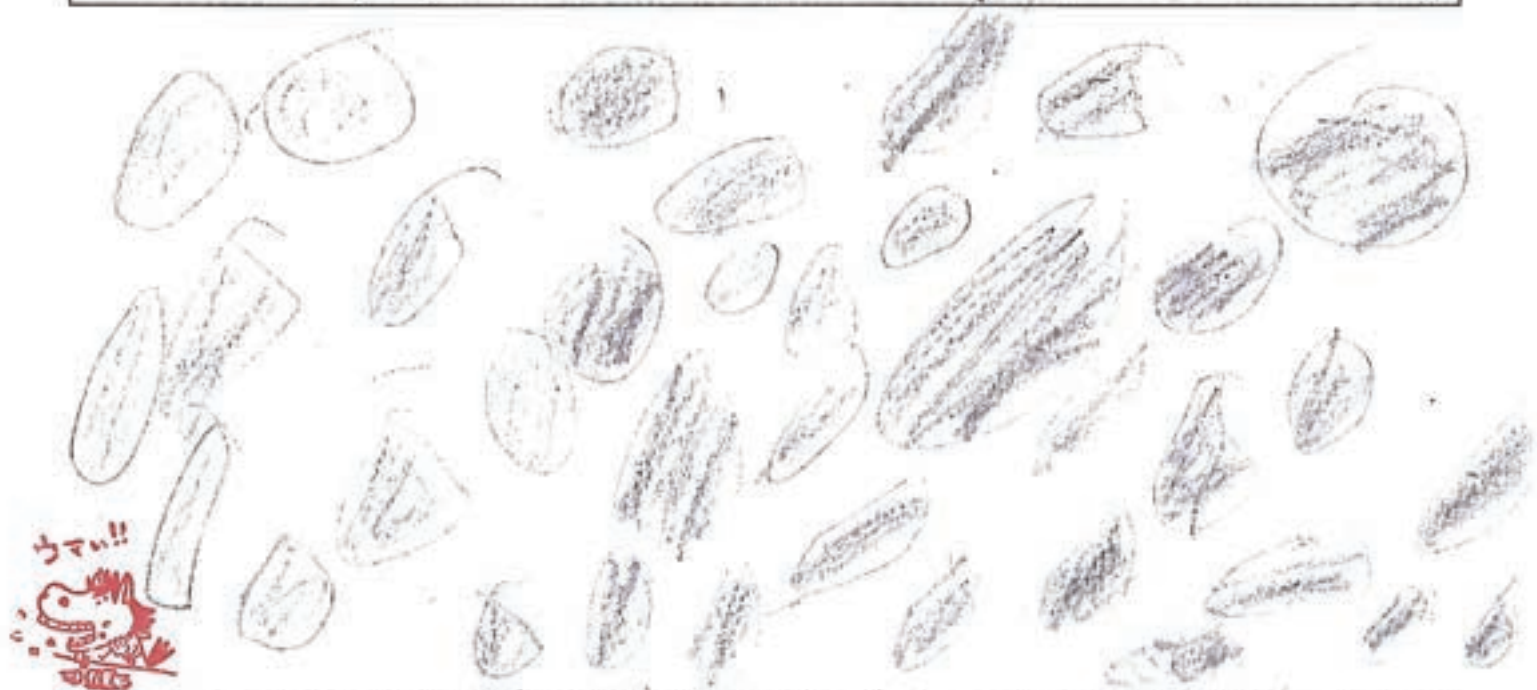
2月 1日(火) 1年 くみ 名まえ()



				ん		で	し	さ	ま	は	ち	
				た	ふ	す	た	か	し		見	ぼ
				な	ゆ	。	の	ち	た	か	ま	く
				あ	に		大	が	。	ち	し	は
				し	は		き	あ	さ	が	た	
				と			さ	ひ	あ	ち	。	き
				お	さ		は	さ	あ	に	あ	か
				も	か		小	く	か	こ	か	ん
				い	な		さ	ふ	い	あ	ん	こ
				ま	か		か	い	ま	。	こ	の
				し	い			い	し	て	。	か
				た	る		た	ま	た。	い	あ	わ

ふゆとなかよし「ふゆのようす」

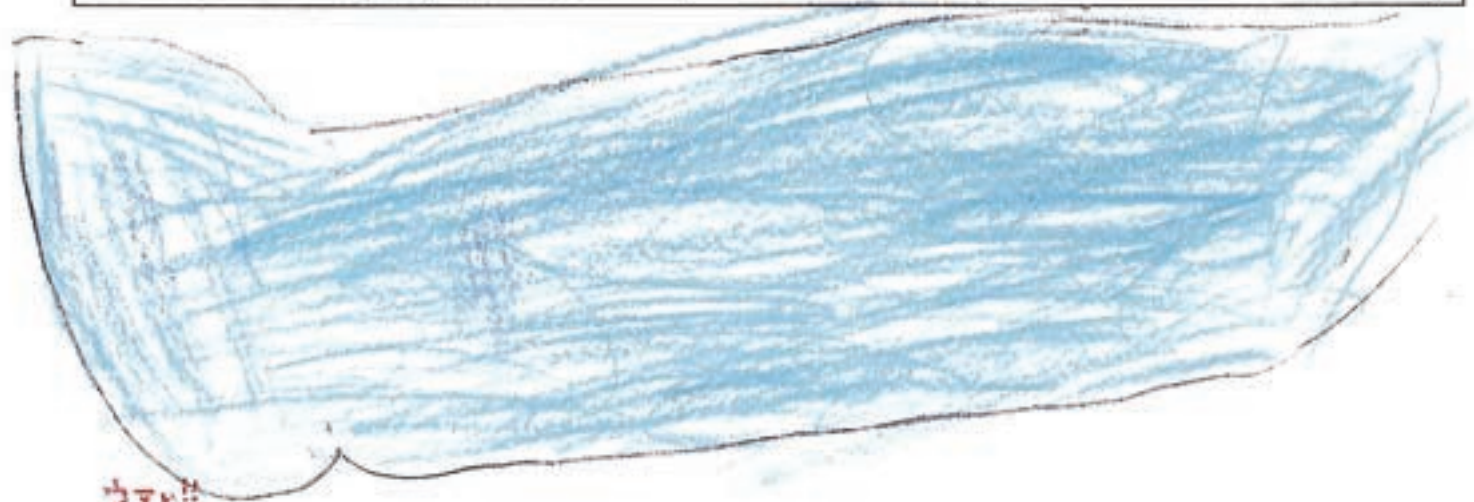
2月 1日(火) 1年 くみ 名まえ()



	も	り	け		ま	た	つ	く	し	
	い	ま	っ	ま	し	ま	ま	る	か	た
	ま	か	こ	か	た	し	み		か	か
	す	う	う	ん	ま	し	く	ま	か	は
	。	。	こ		。	ま	り	さ	た	こ
	て	こ	り	川	川	な	も	わ	か	の
	こ	お	の	が	あ	し	ま	た	か	か
	ま	っ	は	こ	し	ま	ま	た	な	わ
	っ	て	じ	う	あ	あ	し	で	か	に
	た	い	っ	の	も	り		す	い	い
	と	ま	こ	て	か	ま	。	。	た	ま
	ま	す	か	い	あ	し	ま		ま	ま

ふゆとなかよし「ふゆのようす」

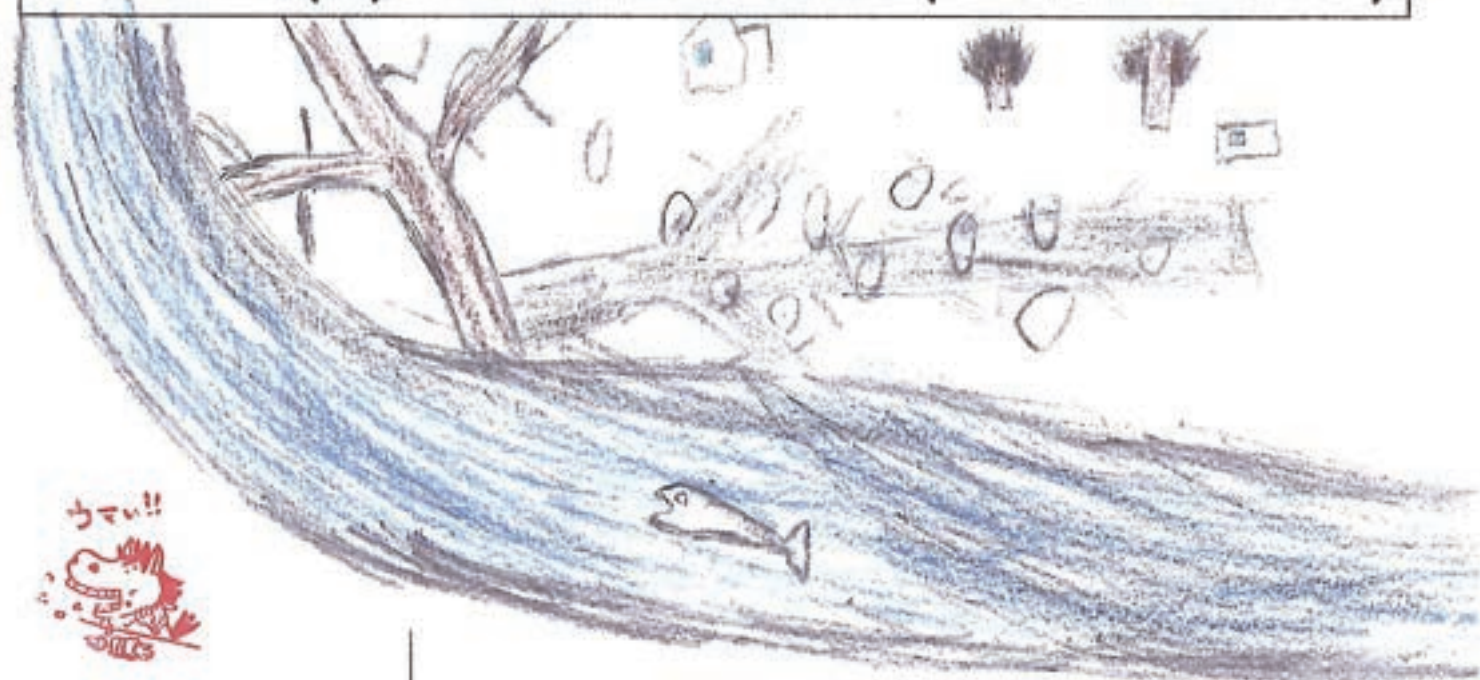
2月 1日(火) 1年 くみ 名まえ()



	た	て	こ	お	う		い	い	り	か	か	
	る	ろ	つ	た	川	か	あ	か	ん	は	木	
	の	の	の	か	た	し	あ	こ		の		
	て	川	い	に	こ	ら	あ	り	の	は	は	
	こ	は	ま	川	お	を	と	ま		か		
	し	い	し	が	つ	し	が	し	か	な	は	
	か	つ	た	ち	て	て	小	た	わ	か	ち	
	わ	は	の	ら	な	い	さ	の	に	た	ま	
	か	い	ち	と	い	ま	く	わ	は	て	と	
	り	こ	か	た	と	し	て	か		よ	た	
	ま	お	う	け	お	た	ま	ん	こ	の	け	
	し	つ	と	こ	ら	の	る	な	あ	き	し	

ふゆとなかよし「ふゆのようす」

2月 1日(火) 1年 くみ 名まえ()



			ち	ゆ	だ		し	み	で	く	さ	
			ま	て	な	川	た	た	い	が	か	ぼ
			つ	見	と	で	。	り	た	見	な	く
			と	た	お	さ		2	さ	や	を	は
			こ	か	も	か		ひ	か	け	見	
			お	ら	い	な		き	な	た	つ	き
			か	さ	ま	が		も	で	さ	け	か
			。	い	し	ま		し	し	か	ま	ん
			た	し	た	た		ん	た	は	し	こ
			で	ま	。	い		で	。		た	の
			す	は	は	る		い	よ	し	。	川
			。		じ	ん		ま	く	ん	ぼ	で

ふゆとなかよし「ふゆのようす」

2月 1日(火) 1年 4くみ 名まえ(大竹はんな)



				ま	中		ま	さ	び	小	い	
				し	い	さ	し	か	し	さ	る	わ
				た	き	か	な	な	た	く		た
					な			は		て	さ	し
					か	は			と		か	は
					か			ふ	う	か	な	
					る	た		な	め	か	を	き
					の	ん		ふ	い	い	見	か
					と	て		な	で	い	ま	ん
					み	さ		し	し	さ	し	こ
					し	む		さ	た	か	た	川
					い	い		い		な		に

ふゆとなかよし「ふゆのようす」

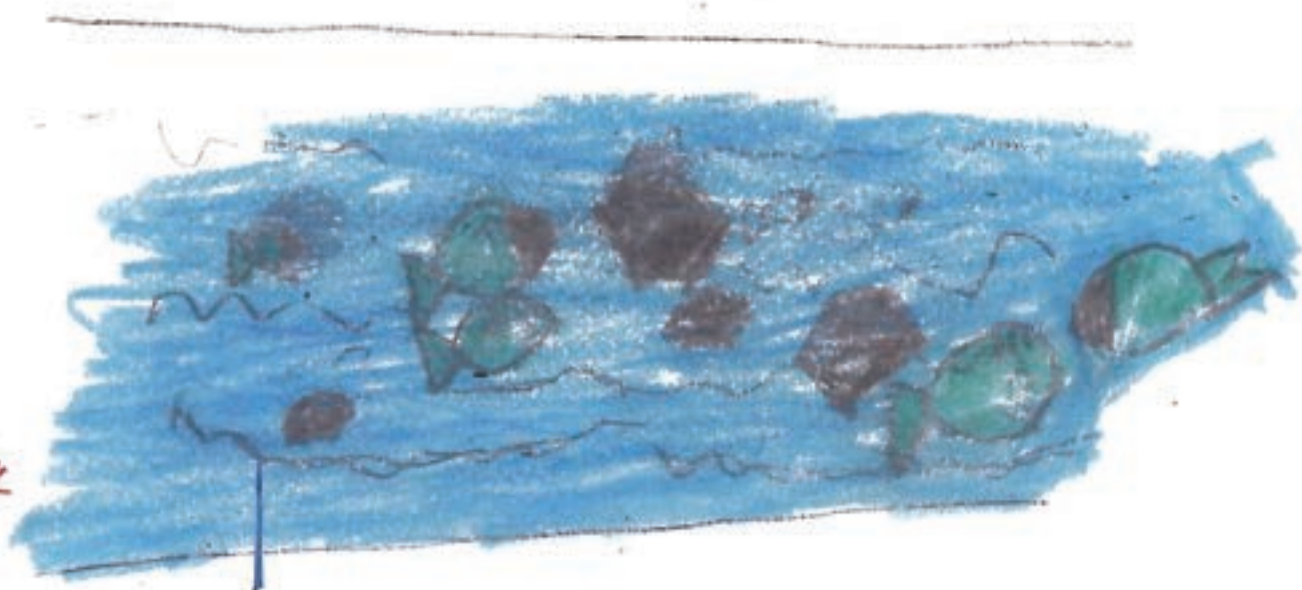
2月 1日(火) 1年 くみ 名まえ()



	た	れ	さ	ね		こ	か	こ	ぎ	は	あ	
	い	こ	ま	た	こ	お	か	し			り	き
	さ	う	か	い	お	り		た	た	と	ま	か
	た	れ		と	り	で	水		よ	う	し	ん
	い	し	た	お	の	し	て	川	つ	め	た	こ
	で	か	け	も	う	た	川	は	な	い		の
	す		ど	い	え		の		い	と	こ	川
		た	い	ま	こ		は	川	の	水	お	じ
		こ	ろ	と	24		じ	の	で	い	り	こ
		す	い	た	じ			ま	も	う	の	お
			ろ		か		こ	ん	で	川	い	り
		ま	見		ん		ほ	な	さ	ま	う	か

ふゆとなかよし「ふゆのようす」

2月 1日(火) 1年 くみ 名まえ()



				し	か	な	た	り	あ		み	
				た	い	に	で	ま	の	の	ま	さ
				の	る	さ	あ	し	ま	と	し	か
				ん	む		た	あ	た	た	ん	
				た	い		の	り	き	の	こ	
				ろ	の		と	に	か	あ	の	
				う	じ		て	あ	の	あ	川	
		1		と	さ	な	ち	し	た	き	で	
				お	か	ん	小	あ	で	さ	さ	
				あ	な	で	さ	と	あ	は	か	
				い	な	こ	か	か	の	ち	な	
				ま	ん	ん	の	あ	か	よ	を	

スマイル×スマイル

げんき こんき おもいやり



豊成小学校 2年1組 学級通信 令和3年9月3日 NO. 16

～楽しかった川の学習！～

天気もよく、はりきって準備をして川へ向かいライフジャケットを着けました。始めはおそるおそる川に足を入れる子もいましたが、入ってしまうと、たくさんの魚やザリガニを夢中で捕まえ、歓声を上げていました。川から上がてからは、魚やザリガニにさわって感触を楽しみ、「楽しかった。」「またやりたい。」という声がたくさん聞かれました。「3年生で、また川の学習があるので楽しみにしていてね。」と話しました。来年が楽しみです！



～第2回みんなで遊ぶ日～

今週は、遊び係の〇〇〇〇さんと〇〇さんが「なぞなぞ」を企画してくれました。みんな一生懸命考えて答えたり、ヒントをもらったりして楽しく過ごしていました。正解した人には折り紙の兜がプレゼントされました。みんなとっても嬉しそうですね！



川の生き物

8月31日 観察
2年 1組

観察 観察 観察 観察 観察



川にいらしてウチダザリガニ
を見つけてきました。大きくてか
たかったです。せんせいが見つ
けてくれました。うちはあみとあは
かたです。

川の生き物

8月31日 観察
2年 1組

観察 観察 観察 観察 観察



ザリガニとカワセミ、ウチダザリガニ
は、おもしろい生き物です。ウチダザリガニの口
は、かみきりをするそうです。ウチダザリガニは、
水の中にいるので、呼吸は水の中の酸素を
使います。おもしろい生き物です。

川の生き物

8月31日 観察
2年 1組

観察 観察 観察 観察 観察



ハナカサガニは、おもしろい生き物です。
おもしろい生き物です。おもしろい生き物です。
おもしろい生き物です。おもしろい生き物です。

川の生き物

8月31日 観察
2年 1組

観察 観察 観察 観察 観察



ヤマメの長さは、10cmぐらい
です。わたしたちがツルツルしていま
した。また、ヤリたいなと思いま
した。

川の生き物

8月31日 観察
2年 1組

観察 観察 観察 観察 観察



ヤマメが、大きくなりました。大きさは
7cmぐらいです。わたしたちがツルツル
してました。つづいて、つづいて、つづいて
です。

川の生き物

8月31日 観察
2年 1組

観察 観察 観察 観察 観察



わたしたちが、おもしろい生き物です。
おもしろい生き物です。おもしろい生き物です。
おもしろい生き物です。おもしろい生き物です。

川の生き物

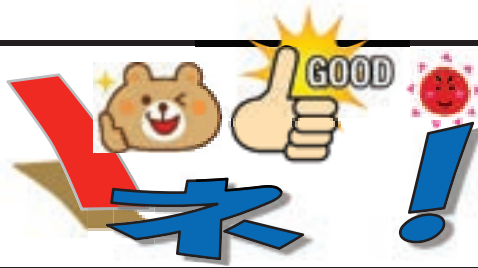
8月31日 観察
2年 1組

観察 観察 観察 観察 観察



ヤマメが、大きくなりました。大きさは
10cmぐらいです。わたしたちがツルツル
してました。つづいて、つづいて、つづいて
です。

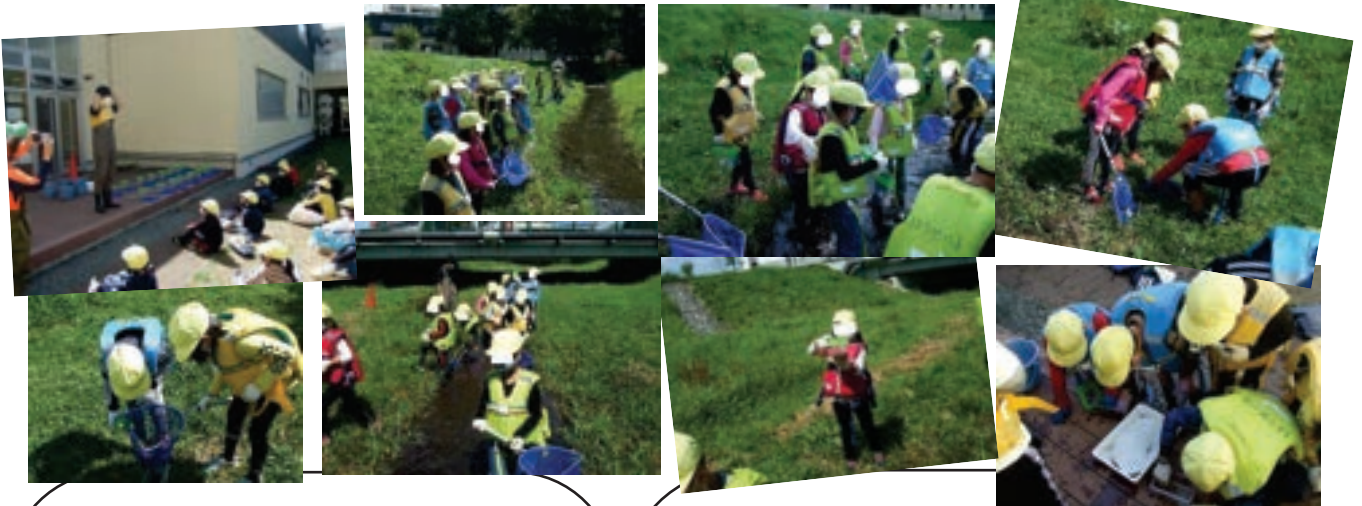
しんぶん



帯広市立豊成小学校
2年2組学級通信
令和3年9月6日
No.20

川の学習がありました

生活科で川の学習がありました。今回は、豊成小学校の近くにある機関庫の川に入り、生き物を捕まえました。着替えを済ませ、網とかごを持ちいざ川の中へ！はじめは、恐る恐る川に入る子どももいましたが、時間がたつとみんな笑顔で楽しそうに生き物を探していました。川には、ザリガニやどじょう、ヤマメなどいろいろな生き物がいて、みんな目を輝かせていました。最後に、みんなで捕まえた生き物をトレーに入れ、観察をしました。普段なかなか見られない生き物の様子に興味津々でした。3年生になると、総合的な学習の時間「ゆたか」で、さらに詳しく川について学習していきます。



ようこそ！中橋響希先生！

教育実習生の〇〇〇〇先生が2-2で実習を行っています。初日には、〇〇先生の「ようこそ会」を開きました。会社ごとに準備を進め、素敵な会になりました。今は、2年2組で授業をしてもらったり、休み時間には一緒に遊んでもらったりしています。実習も残り2週間です。

虫取りをしました

生活科で虫取りをしました。初めて虫取りに挑戦する子もいて、捕まえたときには素敵な笑顔が見られました。チョウやバッタ、キリギリスなどたくさんの虫を捕まえることができ、貴重な体験をすることができました。



だいすき



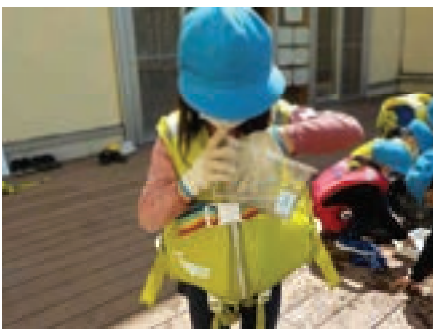
豊成小学校2年3組学級通信

令和3年9月7日(火)
NO.18

楽しかったね！川の学習

3日(金)、川の学習をしました。週間天気予報では、金曜日に雨マークが付いて、もし金曜日が雨だった場合は木曜日に入ろうと準備をしてもらいました。でも、天気予報が変わり、金曜日はしっかり晴れになりました！

しっかり準備をして、しっかりお話を聞いて、ライフジャケットを着けて、川に入りました。初めて川に入る人もいて、「楽しみだけどドキドキする。」と言っていた人もいました。始めはおそるおそる入る人もいましたが、慣れてきてとても楽しそうに魚やザリガニを捕まえていました。終わった後、ザリガニや魚を観察したり、触ったりしました。とても楽しくて「またやりたい!」「今度家族と行きたい!」という声がたくさん聞かれました。3年生でも川の学習があるので楽しみです。



スクラム

～みんなで力を合わせて、前へ前へ進もう～

サケの赤ちゃんの放流！

3年生からおこなう総合の学習「ゆたか」で、去年学校の水槽で卵からかえったさけの赤ちゃんを、学校裏の機関庫の川に放流しました。ピチピチと元気よく跳ねる赤ちゃんに「元気でね」「帰って来てね」「海まで頑張てね」と声をかけながら放流していました。速い子で、今日の朝には海に到達しているそうです。

これから3年生は、この川で様々な学習をしていきます。子どもたちは、川に住む生き物やどこに向かって流れている川なのかなど、きれいでキラキラと輝く川を見て「ゆたか」の学習に興味を持ち始めているようです。

算数「かけ算」のテスト返却！

本日算数の初めてのテストを返却しました。かけ算が苦手という子もいましたが、良く頑張ったと思います。



満点が多かったです！テストは，学校で間違いを直して提出。そして持ち帰りをします。

今回のテストでは，テスト前にも，テスト中にも「**単位をちゃんと付けているか確認する事！**」と言葉掛けをしています。忘れている場合は，基本×になります。本当にもったいないです。早く終わったら確認！ですね。

体育の時には・・・

グラウンドが使えるようになり，外での体育も今週からおこなっています。なわとびや50M走などが中心です。体育の時には，体を動かしやすい服装や，走りやすい靴で登校させてほしいと思います。よろしくお願いします！

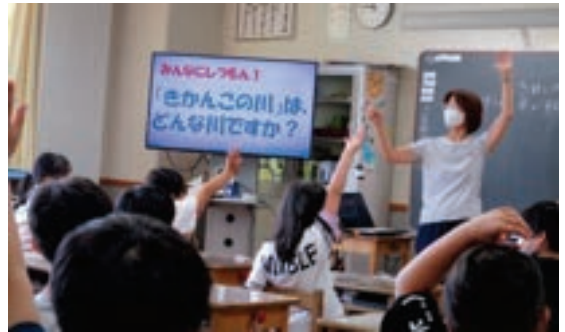


スクラム

～みんなで力を合わせて、前へ前へ進もう～

川の学習 1 回目。。

「機関庫の川は清流ですか??」 宍戸先生からの質問を子どもたちは一生懸命考えていました。



先週、実際に川に入って学習する前に、宍戸先生による事前の学習がおこなわれました。2年生の時にも川に入り、ザリガニや魚を見つけたと聞きました。春にはサケの稚魚を放流しました。その時の様子や、実際の川の映像などを見ながら考えると、透き通っていてきれい!! たくさんの生き物がいるなど、機関庫の川は清流なのではないかという考えがたくさん出ていました。先週、川に入ってみて、子どもたちは、以前より川に興味を持ち始めたように思います。



来週は、直接川には入りませんが「機関庫の川はどんな川か」を更に調べていく予定です。



水泳の学習が始まります



3年生は再来週、7月1日が最初の授業になります。昨年は水泳授業がおこなえなかったのですが、久しぶりという子も多いでしょう。事前に水着や水泳帽子、ゴーグルのサイズを確認しておいてほしいです。1年生の時に比べると、体も大きくなっています。また、特に女子は、自分で水泳帽子をかぶれるように、しっかりと練習をしておいてください。



漢字50問テスト終了！返却は

少しお待ちください！再テストあり！



スクラム

～みんなで力を合わせて、前へ前へ進もう～



明日から夏休み（～8/17）



今日で1学期が終了します。今週は休み中の予定や少年団の練習の話。自由研究や作品の話で盛り上げていました。久々の長いお休みは楽しみですよね。生活リズムを崩さずに、充実した夏休みを過ごして欲しいです。

夏休みには、自転車による事故や公園等での遊びの中で、大きな怪我をするなどの話も耳にします。懇談で配付した夏休みの生活についてのプリントをしっかりとお子さんと確認しておいてください。2学期始業式には、39人全員笑顔で会いたいと思います。



スクラム

～みんなで力を合わせて、前へ前へ進もう～

2学期の係活動がんばっています！

2学期の係活動が始まり、仕事内容の確認、協力体制などリーダーを中心に活動の計画を立てています。最近の子どもたちは、手が空いていたらお手伝いをする！という子が増え始め、係活動以外でも、給食関係、掃除で声を掛け合ったり進んで動いたりしています。とても素晴らしい事ですね。

習字「おれ」の練習！ 「日」を書きました！

今週、久しぶりに習字の学習をしました。前回の「土」に比べると、とても上手になっています。

ちょっと残念なのは、書写の教科書を忘れた子が半数（涙）お手本を忘れてしまうと困りますね。次回は忘れないように。

↓前回の「土」です！次号で「日」を紹介します。



2学期の係活動

最後の川の学習



スクラム

～みんなで力を合わせて、前へ前へ進もう～

水辺の学習

先週、水辺の学習で、十勝多自然ネットの野村さんが来校し、子どもたちとリモートで今まで4回おこなった川の学習で見つけた生き物（ウチダザリガニ）について詳しくお話していただきました。

このような形での学習は初めてで、子どもたちはテレビに映る、野村さんと穴戸先生に釘づけでした！ 最後には、各クラスから野村さんに質問をするなど、今後の川の学習に前向きな姿も見られました。

今後は、機関庫の川についてもっと調べたり、研究したり…最後には、それらをまとめて発表する予定です。



質問中の
〇〇〇さん



明日は、バス学習です！！

持ち物の確認をお願いします！！4時間目以降は普通の授業がありますので、教科書やノートも必要です！もちろん、宿題、健康観察もいつも通り、忘れずに！（ランドセルでOK！バス学習には、探検バック、水筒だけ持っていきます。）

学級通信

チャレンジ39

ゆたか「川の学習」機関庫の川を調べよう

ゆたかの授業では、「川の学習」の授業で、実際に機関庫の川に入り、生き物を探したり、川の様子を調べたりする活動を行いました。天気にも恵まれ、機関庫の川の美しい流れの中で、子どもたちの楽しそうな声が響きました。ザリガニや魚を見つけたり、箱眼鏡で水中の様子を観察したりと、自然を思う存分体感できました。



お知らせ

交通安全指導当番割り当ての担当・日程希望調査を回収しています。まだ提出いただいていないご家庭につきましては、来週22日(火)までに持たせて下さい。

学級通信

チャレンジ39

川の学習 水質調査をしました

29日(火)に川の学習で水質調査を行いました。川に含まれる「酸素濃度」、「有機物(よごれ)の量」、「アンモニアの割合」、「酸性・中性・アルカリ性の判別」の4点について調査することで、川の水がきれいかどうかを判断しました。薬品が入った小さな袋の中に川の水を入れ、その反応(色)を調べる調査に、子どもたちは夢中になって取り組みました。

今回の調査で、水質として、機関庫の川が「きれい」であることが分かりました。より多面的に川について知るために、これからも川の学習に取り組んでいきます。



**スポーツ参観日に向け、
練習を頑張っています！**

スポーツ参観日に向け、リレーやダンスの練習をしています。リレーの走順は、50Mのタイムを参考に決めていきます。ダンスは、グラウンドに出て隊形を確認し、はっきり大きく動くことを目標にしています。



学級通信

チャレンジ39

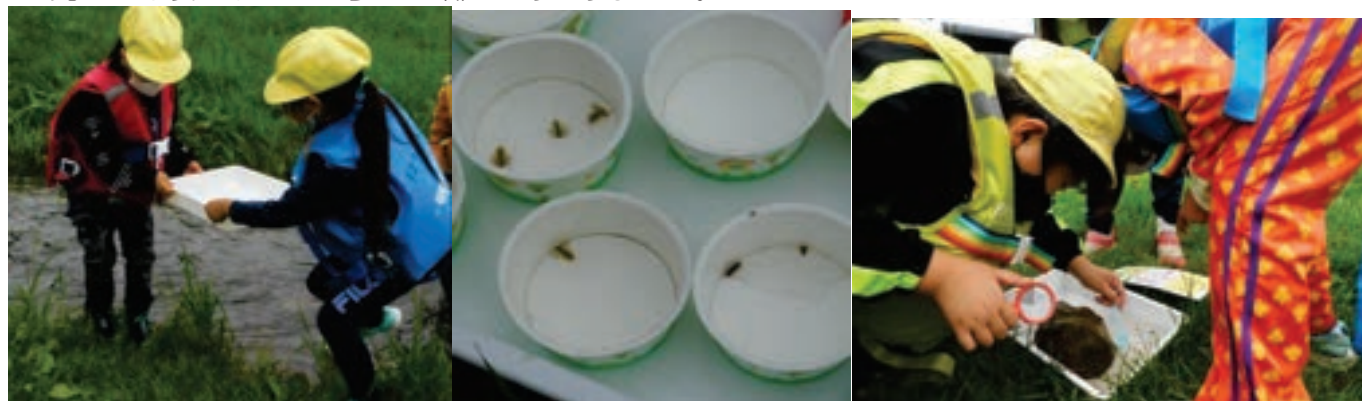
スポーツ参観日に向けて！練習を頑張っています

来週の14（水）にスポーツ参観日が行われます。3年生は、本番に向けて練習を頑張っています。8日（木）の練習では、並び方や移動の仕方、当日の流れを確認しつつ、踊りやリレーの練習に取り組みました。また、競技の途中に行うアナウンスでは、〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇さん、〇〇〇さんが、競技種目の紹介や終わりの言葉のセリフを話します。そちらもどうぞご注目下さい。



川の学習（3回目）水生昆虫から水質を調べました

3回目の川の学習を行いました。今回は、川底の石に付着している水生昆虫の種類から、川の水質について考える学習でした。子どもたちは、川底の石を拾い上げ、丁寧に昆虫を探していました。色々な種類の昆虫が見つかる度に子どもたちから歓声があがりました。



学級通信

チャレンジ40!

国語「山小屋で三日間すごすなら」対話の仕方を学びました。

国語の授業では、「山小屋で3日間過ごすなら何を持っていくか」というテーマで、話し合いを行い、班で5つの持ち物を決める授業を行いました。

まず子どもたちは、持って行きたいものを自分一人で考え、付箋に書きました。その後、班で大きな紙に貼りつけながら、意見を整理していきました。短時間での話し合いでしたが、とても上手に意見をまとめ、どの班も持っていくものを決めることができました。今後の学級活動や行事でも、ここで学んだことを生かしてほしいです。

↓ 初めての活動でしたが、すごく上手にできていました！！



川の学習「生き物を探しました！」

先週の川の学習では、機関庫の川に入り、網を使って生き物を探しました。ボランティアとして、野村さん、室瀬さん、石垣さんに来ていただき、網の使い方や生き物の捕まえ方をアドバイスしていただきました。これまでの川の学習で経験したことも生かし、ザリガニや川魚をたくさん捕まえることができました。捕まえた生き物は、種類ごとに数を数え、特徴を確認して川へ戻しました。



つながり



～わかり合い、協力し合い、きずなを深める3年3組～

ゆたかの学習

安全ネットワークの登録がまだお済でない方は、登録をよろしくお願ひします。登録手順書がない方はお渡ししますので、担任までお知らせください。



鮭の赤ちゃんの放流をしました



赤ちゃんたちをすくって。

飛び出さないように、慎重に運んで。

もうすぐ放流！

優しく放します。元気でね！

27日(火)のゆたかの時間に鮭の赤ちゃんを放流しました。宍戸先生、河村先生、そして外部から足を運んでくださった3名の方々に準備・ご協力をしていただきました。

卵のときから学校で大切に育てられた子たちに加えて、3年生全員が放流を経験できるようにと、今回来てくださった石垣さんがたくさんの鮭の赤ちゃんを連れてきてくれました。

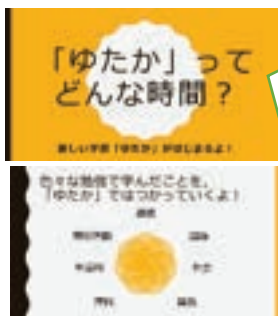
どきどき緊張しながら、お椀にすくわれた鮭の赤ちゃんを見て、「放したくないよ～」という寂しさ、「ザリガニに食べられないかな？」という心配、「元気でね!」と応援する気持ちなど、いろいろな感情がこみ上げてきたようです。みんな優しく川に放してあげることができました。

その後、石垣さんから鮭の話をしていただき、教室で活動の振り返りをしました。

子どもたちからの疑問(一部)

- ・機関庫の川はどこまで続いているの？
- ・機関庫の川はどこからはじまっているの？
- ・機関庫の川には、どんな生き物がいるの？
- ・鮭の赤ちゃんはザリガニに食べられないの？
- ・機関庫の川はきれいなの？

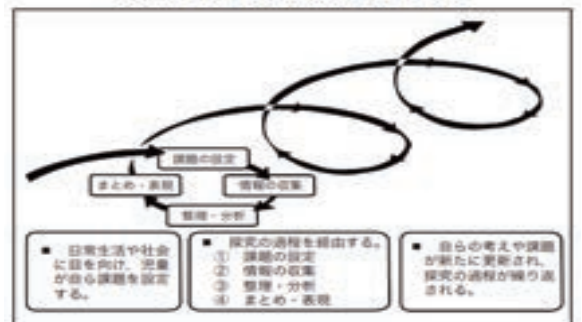
「ゆたか」で何を学習するのか



鮭の放流活動の前に、「ゆたか」の学習とはどういうものかを子どもたちと確認しました。

- ・教科書がなく、学校によって学ぶ内容が違うこと。
- ・他教科で学んだことを生かすこと。
- ・たくさん考えて、頭を豊かにするから、「ゆたか」という名前になったということ。

探究的な学習における児童の学習の姿



「ゆたか」は豊成小学校での呼び名で、本名は「総合的な学習の時間」とされています(以下「総合」)。「総合」では、①自ら課題を見付け→②解決するために情報を収集し→③集めた情報を整理・分析し→④明らかになった考えや意見をまとめ・表現し、そこからまた新たな課題を見付ける、という探求の過程を子どもたちが経験し、身に付けていくことを目指しています。(日常に様々な問題が広がっていることを思えば、私たち大人にとっても必要な力です。)

3年生の「川の学習」では、鮭の放流を経験して抱いた疑問を課題に結びつけて、解決するために情報収集・分析をして、最後はまとめる活動を行います。自分たちで見出した課題の解決に向かって意欲的に取り組んでいけるようサポートしていきます。

つながり



～わかり合い、協力し合い、きずなを深める3年3組～

道徳「しあわせの王子」



道徳では、「しあわせの王子」という物語を基に、「幸せとは何か」について考えました。この物語は、金箔や宝石を身にまとった美しい銅像の王子が貧しい人を助けるとい話です。すでに内容を知っていた子もいました。

まず初めに、「どんなときに幸せを感じるか」と子どもたちに尋ねました。すると、「美味しいものを食べているとき」、「楽しく話をしているとき」、「ゲームで上手くいったとき」、「大会で勝ったとき」、「自分の誕生日」など、日常で幸せに感じていることがたくさん上がりました。物語を読んだ後、王子が貧しい人に自分の宝石や金を与えた理由を考えていきました。

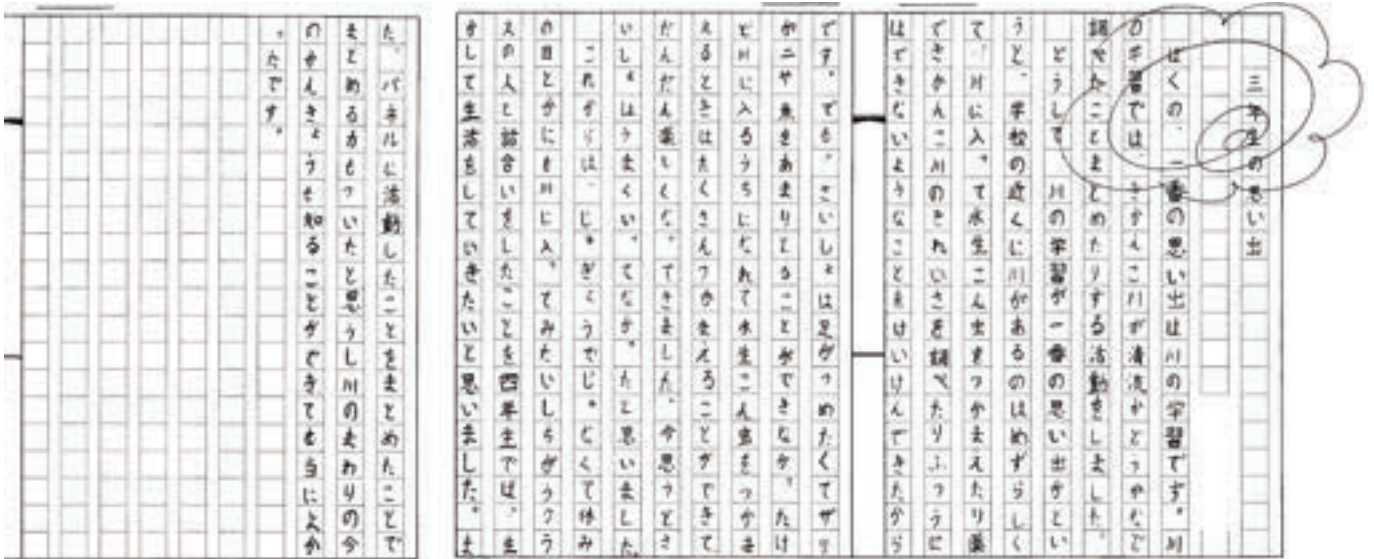
人の幸せを自分の幸せにできる王子の心に共感したり、自分たちの「幸せ」と王子の「幸せ」とを比べながら、「幸せ」について自分の考えを広げたりする素敵な姿が見られました。

＜振り返り＞

- 幸せは、他人も幸せにできることなんだと思いました。(〇〇さん)
- 人を守るけれど、自分も大事にして幸せになったらよい。(〇〇さん)
- さいしょは自分の幸せだけを考えていたけれど、このペンきょうをして、他の人の幸せも考えることがよいと思いました。(〇〇〇)
- にこらさんの意見に心を打たれました。(〇〇さん)
- 他人の幸せを自分の幸せにすることができるとわかりました。(〇〇さん)

1年間を振り返って

国語の学習で、3年生での思い出を作文に書きました。5月の遠足、7月のスポーツ参観日、川の学習など、この1年間を振り返ると様々な出来事がありました。子どもたち一人一人の思い出を楽しく読ませてもらいました😊



お知らせと お願い

- お忙しい中、おび学ファイルへのメッセージのご記入、ありがとうございました！
- 本日、図工・習字の作品を持ち帰っています。
- 学習用具を少しずつ持ち帰っていますので、本バックを毎日持たせて下さい。
- 来週(21日～)は、学校からの宿題はありません。

3年生最後の習字は…「ゆめ」



4年生でも気持ちよく使えるよう、新聞ファイルの中身や墨汁などの確認をよろしくお願いします!

つながり



～わかり合い、協力し合い、きずなを深める3年3組～

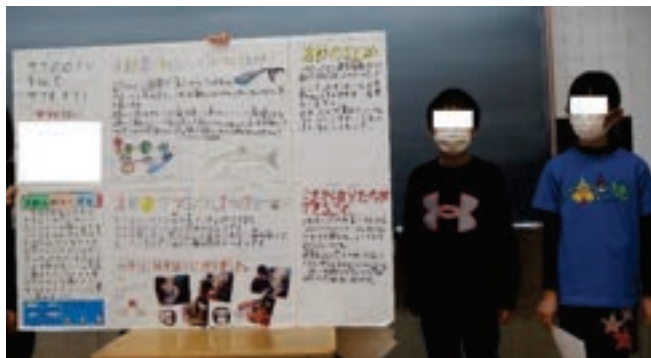
川の学習 発表会がありました！

思い返すと、川の学習の始まりは4月、サケの稚魚の放流でした。機関庫の川が清流かどうかを調べるために3度川に入ったり、パックテストをしたり、専門家の方々から話を伺ったりと、子どもたちは、長期間にわたって地域とかかわりながら様々な体験や経験を積み重ねてきました。

その後は…このような流れて、学級の枠を越えて活動を進めてきました。



- ①川にかかわって解決してみたい課題をもつ (課題に合わせて、5つのグループに分かれました)
- ②解決に向けて多様な方法で情報収集を行う(本やインターネット、インタビュー、フィールドワークなど)
- ③わかったことや考えたことを表現する(パネルにまとめる、チラシで呼び掛ける、模型をつくる)



発表会はリモート形式で行いました。発表グループは空き教室に移動し、その様子をタブレットで撮影し各学級のテレビに生配信しました。

〈川の生き物〉〈川の中〉〈サケ〉〈外来種〉〈川のまわり〉の5グループは、それぞれ3チームずつ分かれていますので、計15の発表がありました。どの発表も、一生懸命考えたことやわかりやすく伝えようとする思いが伝わってくる大変素晴らしいものでした。

学習の入り口は同じでも、自分の興味・関心に合わせて様々な角度から川にかかわる研究をすることで、出口はバラバラになりました。そのことがまた、発表を聞く側にとって新しい知識を得たり、新たな発見につながったりと、聞く必要感をもたせていました。それぞれのグループへの感想も書きました😊



相手を意識して、声の大きさや目線にも気を付けていました！

川の生き物チームへ

〈メンバー〉〇〇さん / 〇〇さん・〇〇さん・〇〇〇さん・〇〇〇さん / 〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん

- ・川や生き物のことを考えていて、よいと思いました。(〇〇〇さん)
- ・きかんこの川が海とつながっていることが知れてよかったです。(〇〇さん)
- ・まとめがよいと思いました。なぜかという、理由が書かれていたからです。(〇〇〇さん)
- ・十勝川とつながっていることを、はじめて知りました。(〇〇さん)
- ・川が海とつながっているのかが気になっていたので、しれてよかったです。(〇さん)
- ・さいしょの発表なのに、声の大きさもちょうどよく、ミスがなくてよいと思いました。(〇〇さん)
- ・感想が上手にまとめられていてすごく聞きやすかったし、ちゃんと横にならなくてよかったです。(〇〇さん)
- ・いろいろな魚の食べる物がわかりました。きかんこの川にいる魚は、水生こん虫を食べる魚が多いことがわかりました。(〇〇さん)



サケチームへ 〈メンバー〉 〇〇さん・〇〇さん / 〇〇さん・〇〇さん / 〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん

- ・「どうしてサケは水がひつようか」を調べていて、すごいです。(〇〇さん)
- ・サケの住みやすいかんきょうについて、よく知れました。(〇さん)
- ・みらいのサケのことも考えていて、よいなと思いました。(〇〇さん)
- ・サケが6年後に川に帰ってくるのがしれて、よかったです。(〇〇さん)
- ・(学校の)水そうにクイズを書く工夫や、はっきりと言っていることがよいと思いました。(〇〇さん)
- ・サケのないぞうなどがかかかれていて、サケの体の中にはこんなものが入っていたのだとはじめて知りました。(〇〇さん)
- ・サケについてくわしくなれました。(〇〇さん)



川のまわりチームへ

〈メンバー〉 〇〇さん・〇〇さん / 〇〇さん・〇さん・〇〇さん / 〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん

- ・ふきだしが見やすいと思いました。(〇〇さん)
- ・10年後のきかんこの川をかいていたのがよいと思いました。(〇〇さん)
- ・川をきれいにしたいということが伝わり、わかりやすかったです。(〇〇さん)
- ・川の中にゴミをすてないようにする目ひょうがよいと思いました。(〇〇〇さん)
- ・1年生にチラシを作っていて、すごいなと思いました。(〇〇〇さん)
- ・川のまわりにゴミをすてることが、どれだけだめなのかがわかりました。(〇〇さん)
- ・みんながはっきりと声を出していたところがよかったです。(〇〇さん)



川の中チーム 〈メンバー〉 〇さん・〇〇さん / 〇〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん / 〇〇さん・〇さん

- ・グラフにしていたところ・ハキハキ言っていたところがよかった。(〇〇さん)
- ・ゴミのしゅるいも書いていて、ゴミをすてちゃだめなことがわかりました。(〇さん)
- ・ゴミのことを調べていて、すごいなと思いました。(〇〇さん)
- ・(1年生にチラシを)配ったときの写真を見せてくれたので、わかりやすかったです。(〇〇さん)
- ・川のもけいを作って、きれいな川ときたない川のちがいがわかるようにしていてよいなと思いました。(〇〇さん)
- ・生き物が住みやすくなるためには、ポイ捨てはだめだとわかりました。(〇〇さん)
- ・川の中の生き物をいっぱい知れて、よかったです。(〇〇さん)



外来種チームへ

〈メンバー〉 〇〇さん・〇〇さん / 〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん / 〇〇さん・〇〇〇さん・〇〇さん

- ・ウチダザリガニとニホンザリガニのことをせつ明しているのがよいなと思った。(〇〇さん)
- ・写真などを使って、だれがしつ問したのかが分かってよいと思いました。(〇〇さん)
- ・問題があって、おもしろくてよいと思いました。(〇〇さん)
- ・みんなで言うときに、声がそろっていてよかったです。(〇〇さん)
- ・ザリガニたいひの作り方が書かれていて、びっくりしました。(〇〇さん)
- ・クイズでむずかしいことがスラスラ頭に入ってきました。(〇〇さん)
- ・わなの作り方を書いていたり、6年生にインタビューをしたりしてすごかったです。(〇〇さん)
- ・かがみ先生と話している感じがわかりやすく、よかったです。(〇〇さん)



つながり



～わかり合い、協力し合い、きずなを深める3年3組～

「機関庫の川は清流？」川の学習. 本格的にスタート!

【事前学習】



川に入る前日に宍戸先生と事前学習を行いました。2年生で川遊びしたときの写真を振り返りながら、3年生では川の研究にパワーアップすることを確認。

そして、機関庫の川の動画や写真を見て、「機関庫の川は清流かどうか」、「それを調べるためにどんなことができるか」を考え、全員が自分の考えを発表しました。

「先生に言われた方法ではなく、一から自分たちで考えて研究していくよ!」という宍戸先生の言葉を聴いて、一生懸命考え、川に調査しに行く意欲を高めました。

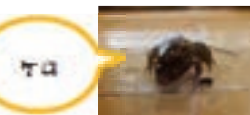


【いざ. 機関庫の川へ】

翌日16日(水), いよいよ機関庫の川へ出掛けました。

「機関庫の川は清流かを調べに行く」と、調査の目的を再度確認。ライフジャケットを着て、魚網と虫かごをもって川に入りました。

川の水の様子をじっくりと観察したり、水生生物を取ったりなど、汗や川の水で全身を濡らしながら、楽しく活動しました。



つながり

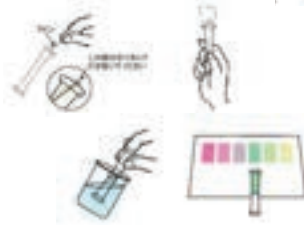
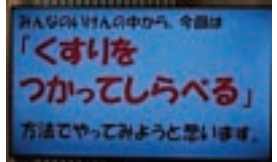


～わかり合い、協力し合い、きずなを深める3年3組～

川の学習 水質検査をしてきました！

2回目の川の学習では、4種類のパックテストを使って水質検査をしました。

- ・COD (水中の有機物の量を測定する)
- ・NH4 (水中のアンモニアの量を測定する)
- ・DO (水中の酸素量を測定する)
- ・PH (酸性・中性・アルカリ性かを測定する)



※パックテストを用いた水質検査は、子どもにもできる簡便な方法として知られているそうです。

子どもたちは班ごとに役割分担をして、協力しながら進めていました。川のきれいさを知るためには有機物・アンモニア・酸素の数値や、何性なのかを調べるなどの方法があることを学ぶことができました。

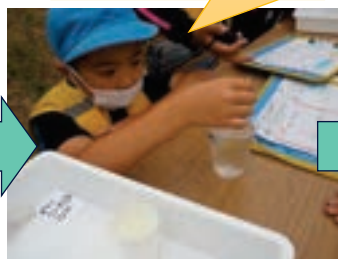
振り返りには、「PHで中性となったことから、機関庫の川の水は飲めるのか。」「他の川では、どのような結果になるのか。」など、新たな課題を見つけた人もいました。活動をゴールとするのではなく、気づきや発見、自分の考えをまとめて表現する力をどんどん身に付けていってほしいと思っています。



機関庫川の水を汲みます。



薬に水をふくませてパックテスト開始。



タイマーで時間を計って、色の変化を観察。



色が変わってきたよ～！



同じ色の数値を確認！



つながり



～わかり合い、協力し合い、きずなを深める3年3組～

川の学習 水生生物調査隊！

川の学習第3回目は、機関庫川に生息する水生生物の種類から、この川が清流かどうかを調べる学習を行いました。活動前は、水生生物が苦手な不安そうな子もいました。でも、いざ始めてみるとやる気満々で、石の裏に住む水生生物たちを見つけていましたよ！

「このカゲロウ、かわいい…。家にもって帰りたいな。」「先生、大物発見したぞ！」「この石には、たくさんいそうだな。」と、夢中になっている声がたくさん聞こえました。

子どもたちが見つけた生物は、きれいな川に生息するものばかり。振り返りでは、「機関庫川は、清流だと言える」と、考察していました。

前回はパックテストを用いた調査、今回は水生生物の調査と、多面的に学習を進めています。学習を積み重ねながら、自分が住む地域のことを知り、愛着をもって過ごしていけるようになったらなあ、と願っています。



最後は、川に石を優しく戻しました。



つながり



～わかり合い, 協力し合い, きずなを深める3年3組～

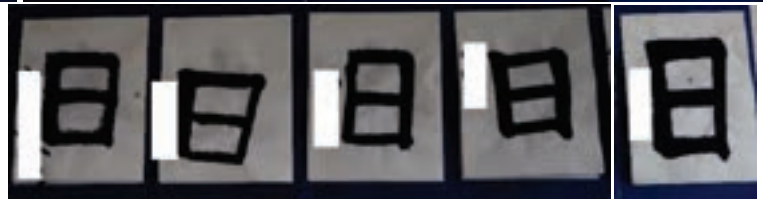
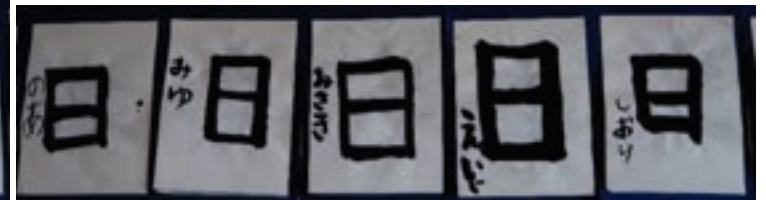
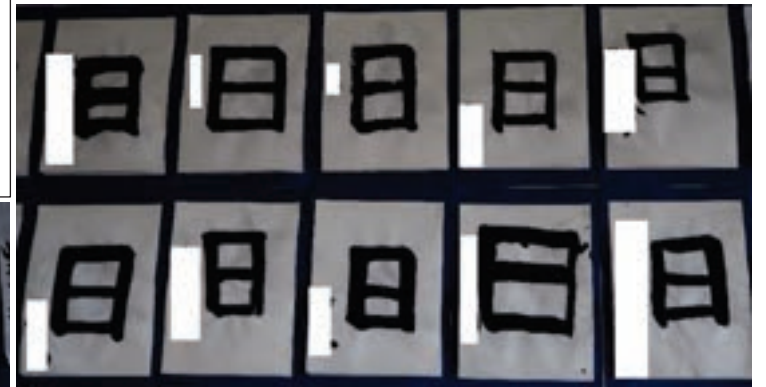
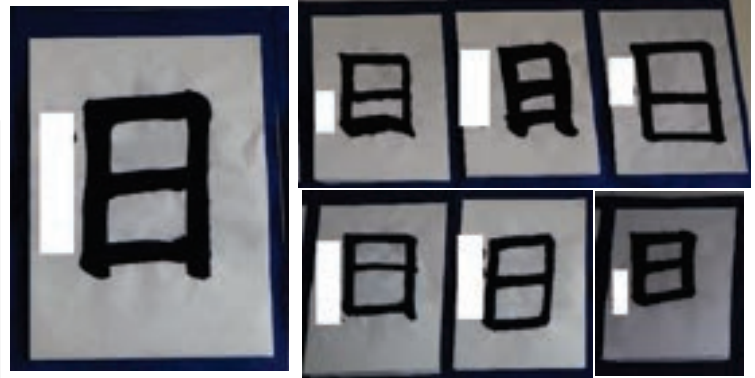
毛筆の授業

2学期初の毛筆の授業では、「おれ」を学習をしました。久しぶりだったので、まず筆の向き・筆圧と太さとの関係をおさらいしました。

そして、「トン、スー、ピタ、フワッ」とリズムに合わせて、穂先を離さずにおれる練習をしました。

見本を書き写そうとするのではなく、ぶんちんで抑える位置などで目安を作り、自分で文字のバランスを考えるようにしています。

納得いくまで書く姿も見られました。毛筆の時間は楽しく、そして「書けた～!」と達成感が得られるものにしたいなと思っています。



川の学習

生き物いっぱい、じっくり観察!



第4回目の川の学習では、学校ボランティアとして野村さん、室瀬さん、石垣さんの3名の生き物のスペシャリストをお招きして調査を行いました。

子どもたちは4つのグループに分かれ、地点をずらして調査スタート。

これまでも、川にはどんな生き物がいるのかを調べる活動はありました。しかし今回は、「たくさん捕獲するにはどうしたらいいか」、「取った生き物にはどんな特徴があるのか」を、詳しく解説してくださる時間もあり、さらにパワーアップした活動に!

子どもたちも私も、機関庫川に生息する生き物にもっと詳しくなりました。学び多き、あっという間の時間でした。



ライフジャケットを着たら整列。まずは、ご挨拶をしました。

いつでもどこでも、「返事・反応は全員で」を心掛けている最中です。声は人数も大事だと伝えています。がんばろうね！



このグループでは、野村さんが「生き物をたくさん取るコツ」を伝授してくださいました。子どもたちの目がキラキラ！



教えていただいたことをやってみると、早速かもあみごっそいの生き物たちが取れました。「す、すごい！」子どもたちも興奮して喜んでいました。(私も感激)



立派なハサミにはさまれるのが怖いと思っていたけど…安全なつかみ方を知れば、大丈夫だね。つかむコツも、優しく教えてくださいました。



あみに掛かった生き物をバケツに移すのも至難の業。逃がさないよう、傷付けないよう、そして自分の怖い気持ちに負けないよう、チャレンジしていました。



活動の最後には、上手につかめるようになりました！思わずにっこり笑顔の〇〇さん😊できなかったことができるようになるって嬉しいね！



カジカの口の中を触ることもできました。実際に自分の手で感触を確かめる貴重な経験！

フクドジョウとも友達。優しくすくって、水の中でなでなでしました。

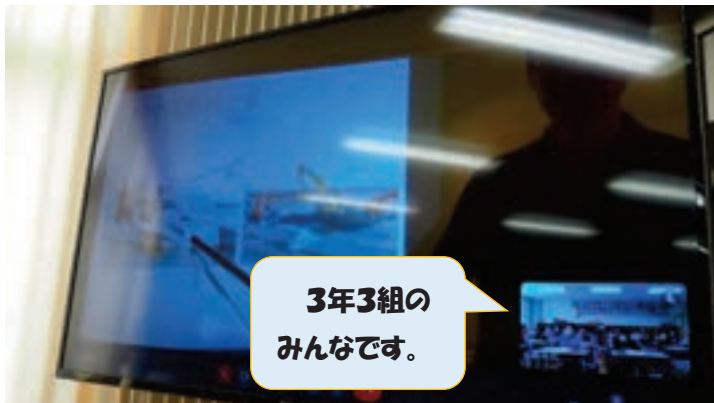


つながり



～わかり合い, 協力し合い, きずなを深める3年3組～

Meet で川の学習



3年3組の
みんなです。

先週、川の学習で十勝多自然ネットの野村さんと Meet を使って学習をしました。
 これまでの川の学習で見つけたウチダザリガニについて詳しくお話していただきました。
 このような形での学習は初めてで、子どもたちはメモを取りながら画面に釘付けでした。
 最後には、各学級から野村さんに質問をする時間もありました。3組では、〇〇さん、〇〇〇さん、〇〇〇さんが質問をし、お礼の言葉は〇〇〇さんが努めました。
 人前で自分の考えを発表したり、お礼の言葉を述べたりすることにもどんどんチャレンジしてほしいと思います。
 今後は、機関庫の川を守るために自分たちができることを考えて、グループで研究を進めていきます。子どもたちのやってみたい気持ちを汲み取ってまいります！

パワーポイントを使いながら、分かりやすく説明してくださいましたよ！



明日のバス学習について！

持ち物の確認をお願いします。4時間目以降は通常通りの授業がありますので、教科書やノートも必要です。宿題、健康観察もいつも通り、忘れずに！

【持ち物】

- 探検バッグ □ふでばこ □ハンカチ・ティッシュ □軍手 □水筒 □体育ぼうし
- 酔い止め, 除菌シート等(必要な人) □長靴(袋に入れて)

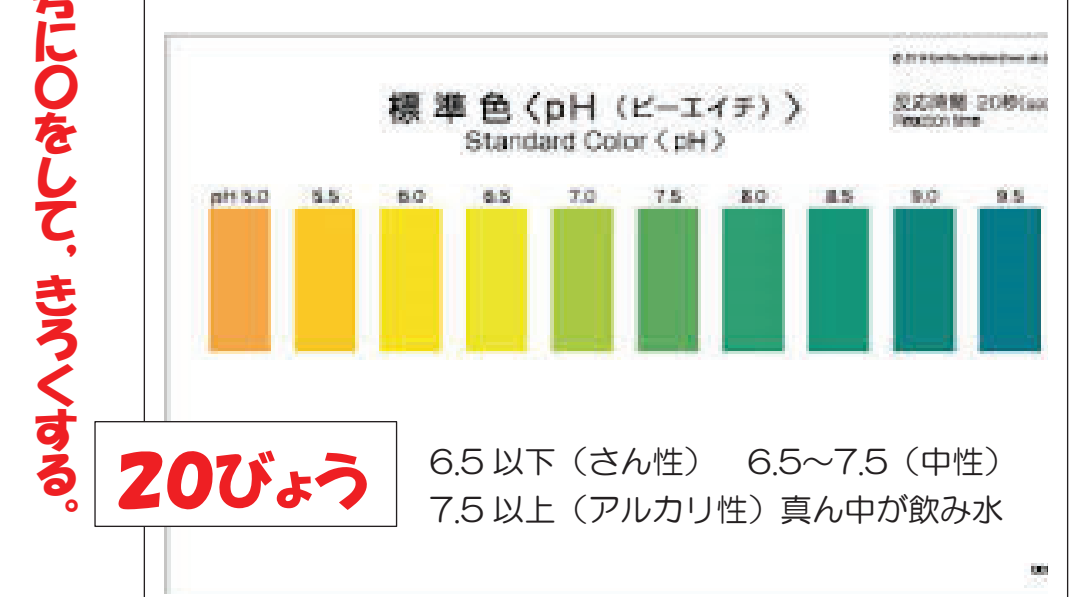
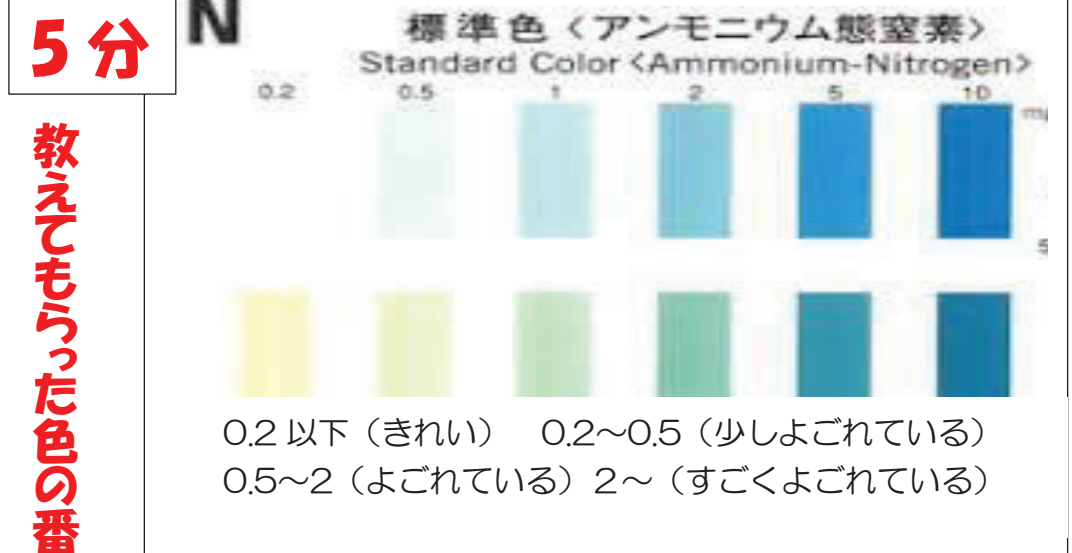
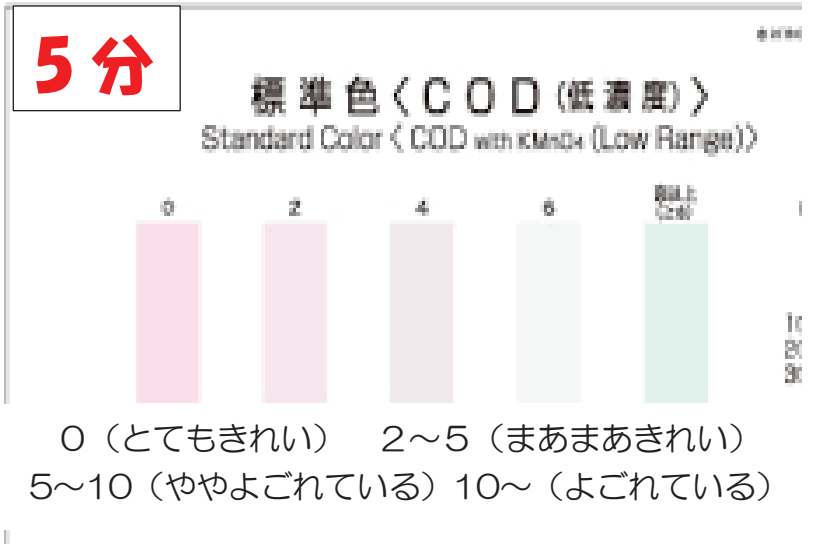
- ※ 動きやすい服装をお願いします。(植物等で手足がかぶれぬよう、長袖がおすすめです。)
- ※ 水筒は、首から下げられるものをお願いします。
- ※ 雨により、畑の状態がよくないので、長靴(袋に入れて)を持たせてください。



組 班 名 前

月 日 (曜日)	テストの時こく 時 分 ~ 時 分	天気	気温 ℃	水温 ℃
COD ()	NH4 ()	DO ()	PH ()	ストップウォッチ ()

たんとうの人は、色を判定して、班のみんなに教えます。



教えてもらった色の番号に○をいって、きんぐする。



いつもん①

「きかんこの川」で、見つけたものや川の様子などを思い出し、考えたことも書きましょう。

ザリガニアメリカザリガニ川えびヤマメどじょう
 の5しや3いの生きものか"とれました。石や岸の
 ところはあさくてつちのところは、あつたかたて
 すの1回と"3のところにしまりました。あかた
 ときには全しんびなぬれで"した。いいはいい
 いる人+い"る(1)の生きものか"とれてたか
 たてす。はいったときはつめたくてす"した。つとあたた
 くかんしました。つ"つると川からい"る"るな
 こ"み"ち"は"なが"れてきてび"っく"り"しま"した。水
 う"す"こ"ろ"が"さい"にな"が"れてきてび"っく"り"し
 ました。

いつもん②

これから「きかんこの川」で、どんなことをしらべてみたいですか？





しゅもん①

「きかんこの川」で、見つけたものや川の様子などを思い出し、考えたことも書きましょう。

手がとれてた、サリガニがいてへんたいたが
 かわい水のところに入ろうとして、入いたら、
 おしりが氷についで、ぬれちゃいました。
 小さいサリガニにも、いた。かわいからた
 サリガニがあはれていた。びっくりしました
 きれいな石があって、すごいなと、あ
 もいました。土に足がうまっちゃいました。
 サリガニの赤ちゃんかいてかわいからた
 です。せいしょに入るときにつめたすぎ
 て、びっくりしました。サリガニをさわる
 うとしたら、ひんとはねてびっくりしました。

しゅもん②

これから「きかんこの川」で、どんなことをしらべてみたいですか？





ゆたか

ワークシート (2)

名前

しつもん①

「きかんこの川」で、見つけたものや川の様子などを思い出し、考えたことも書きましょう。

川の中にはけっころ石があった。
 ビックサイズのザリガニがいた。
 土にぬかっところだから全体がぬれた。ぬけからかい、ぱりあった。
 ふかかった。なまずみたいな魚がいた。
 ニジマスとヤマメがあちこちにいた。
 足がぬかっところだけどそれはそれで楽しかったです。なぜかといろところだとききにザリガニを見つけたからです。何十を見つけたけどとれませんでした。

しつもん②

これから「きかんこの川」で、どんなことをしらべてみたいですか？



また川まかにザリガニがいた。
 どんな山もニが魚を食べて
 のがいた。

また川まかにザリガニがいた。
 どんな山もニが魚を食べて
 のがいた。



ゆたか

ワークシート (2)

名前

しつもん①

「きかんこの川」で、見つけたものや川の様子などを思い出し、考えたことも書きましょう。

川にゆれたときどろで足がどろでうまて、うごけたけどあんなまじうごがなかにたておすいちゃうめがめで、おアたときなにかいれけどあみでにけいていて、さんねんアした。ザツがと魚もとれました。ザリがニのあかちゃんがいきました。石がでこぼこして、いたけど大きい石があてわたしおすべて、ころひいそらになりました。さいしゅうおつめたかたけだんだんつめたくなくなりました。



しつもん②

これから「きかんこの川」で、どんなことをしらべてみたいですか？



グループごとに水質検査の結果をまとめよう (1)組(4)班

6月29日(火)		【時刻】 2:00 ~ 2:45	
【天気】 ほぼ		【気温】 22℃	水温 12℃
【パックテスト】			
①COD(シー・オー・ディー) (5分)		②NH4(エヌ・エイチ・フォー) (5分)	
有機物(ゆうきぶつ)のこさをしらべる		アンモニウムのこさをしらべる	
色 <u>うすびん</u> ク	結果からわかること きかんこの川は まあまあきれい リキは少し汚い	色 <u>きみじ</u>	結果からわかること きかんこの川は 少しよ汚れている リキは少し汚い 少し汚れている
すうち 2		すうち 0.5	
③DO(ディー・オー) (2分)		④PH(ピー・ハー) (20分) <small>ひょう</small>	
酸素(さんそ)のこさをしらべる		酸性(さんせい)・中性(ちゅうせい)・アルカリ性(アルカリせい)をしらべる	
色 <u>い</u> 青	結果からわかること きかんこの川は まあまあきれい リキは少し汚い	色 <u>きみじ</u>	結果からわかること きかんこの川は 中性
すうち 7		すうち 7.0	

今日のじっけんでは、「きかんこの川」はどんな川だと思いましたか？また、ふしぎに思ったことや、もっとしらべてみたいことなど今日の学習で思ったことを書きましょう！

きかんこの川は少しきれいな川かなーと思います
 また、きかんこの川は生きものにとくろくしかすい
 川だと思いました。ほんとに「川」がくし行って「ほかに」と
 いないかなで「どんなのか」を見てみたいと思います。



グループごとに水質検査の結果をまとめよう (1)組(7)班

6月29日(火)		【時刻】 2:00 ~ 2:43	
【天気】 はれ		【気温】 22℃	水温14℃
【パックテスト】			
①COD(シーオーディー) (5分)		②NH4(エヌ・エフ・フォー) (5分)	
有機物(ゆうきぶつ)のこさをしらべる		アンモニウムのこさをしらべる	
色 <u>ピンク</u>	結果からわかること <u>まあまあきれい</u>	色 <u>とろめい</u>	結果からわかること <u>きれい</u>
すうち <u>2</u>		すうち <u>0.2</u>	
③DO(ディーオー) (2分)		④PH(ピーハー) 20秒 (分)	
酸素(さんそ)のこさをしらべる		酸性(さんせい)・中性(ちゅうせい)・アルカリ性(アルカリせい)をしらべる	
色 <u>青</u>	結果からわかること <u>まあまあきれい</u>	色 <u>黄緑</u>	結果からわかること <u>中せい</u>
すうち <u>6</u>		すうち <u>7.0</u>	

今日のじっけんで、「きかんこの川」はどんな川だと思いましたか？また、ふしぎに思ったことや、もっとしらべてみたいことなど今日の学習で思ったことを書きましょう！

せいろうだと思いました。こんどは、どんぐりの魚のしるいがいるかしらべたいです。じっけんしては、かかほほきれいだったからせいろうだと思いました。



ゆたか

ワークシート (3)

名前

グループごとに水質検査の結果をまとめよう (1)組(8)班

6月 29日(火)		【時刻】 2: ~ 2:45	
【天気】 晴れ		【気温】 22℃	
【パックテスト】			
①COD(シー・オー・ディー) (5分)		②NH4(エヌ・エイチ・フォー) (5分)	
有機物(ゆうきぶつ)のこさをしらべる		アンモニウムのこさをしらべる	
色 こいピンク	結果からわかること とてもきれい	色 こいめい	結果からわかること きれい
すうち 0		すうち 0.2	
③DO(ディー・オー) (2分)		④PH(ピー・ハー) 20分 (分)	
酸素(さんそ)のこさをしらべる		酸性(さんせい)・中性(ちゅうせい)・アルカリ性(アルカリせい)をしらべる	
色 こい青	結果からわかること きれい	色 きれい	結果からわかること 中性
すうち 9.5(10)		すうち 7.0	

今日のじっけんで、「きかんこの川」はどんな川だと思いましたか?また、ふしぎに思ったことや、もっとしらべてみたいことなど今日の学習で思ったことを書きましょう!

せんぶのいたかがきれいとてもきれいになっていてすごくきれいなんだとおもいました。いろいろな生物たちがきれいな川でせいちょうしていらんだとおもいました。次も全力でいなかをして生物たはきれいなる川ですごしてもらいたいとおもいます。また後きれいな川で安定した体でいてほしいです。



グループごとに水質検査の結果をまとめよう (1)組(1)班

6月 29日(火)		【時刻】 2:00 ~ 2:45	
【天気】 晴		【気温】 22℃	水温13
【パックテスト】			
①COD(シー・オー・ディー) (5分)		②NH4(エヌ・エイチ・フォー) (5分)	
有機物(ゆうきぶつ)のこさをしらべる		アンモニウムのこさをしらべる	
色 うす むら は すうち 2	結果からわかること まあまあきれい	色 黄色 すうち 0.2	結果からわかること きれい
③DO(ディー・オー) (2分)		④PH(ピー・ハー) (20分)秒	
酸素(さんそ)のこさをしらべる		酸性(さんせい)・中性(ちゅうせい)・アルカリ性(アルカリせい)をしらべる	
色 だしい 青 すうち 7	結果からわかること きれい	色 黄みど り すうち 7.0	結果からわかること 中性

今日のじっけんでは、「きかんこの川」はどんな川だと思いましたか?また、ふしぎに思ったことや、もっとしらべてみたいことなど今日の学習で思ったことを書きましょう!

わたしはかわらず魚たちがすみやすいせいいく川の川だ

と思います。理由は前もそう思っていたしけかにしても

藻できれいだったからです。学習でわたしは

もっと川にクワイはかせになりたいですわたしは






生きもの魚がどのようにそだっていくか知りたいです。

ほかには、川ステキすごいことなど知りたいです。



グループごとに水生生物ちょうさの結果をまとめよう

(1)組(13)班

月 日()		【時刻】 11:00 ~ :12:00	
【天気】くもり		【気温】 17℃	【水温】 ?℃
生物の絵・名前	見つけた数	生物の絵・名前	見つけた数
 ヒラタカゲロウ	24 ひき	 ヒゲナサカゲロウ	1 ひき
 ナガトビケラ	0 ひき	 なみミズカ	2 ひき
 カワゲラ	2 ひき		ひき

今回のちょうさで、「きかんこの川」には、どんな水生生物が多かったですか？

清流かどうかについて、どう考えましたか？ふしぎに思ったことや、もっとしらべてみたいことなど今日の学習で思ったこともどんどん書きましょう！





清流だと思いました。きれいな水は、ヒラタカゲロウがいて、清流だと思いました。石をあらったら、ヒラタカゲロウたちがいてびっくりしました。ちいさな虫がきかんこの川にいることがびっくりしました。





グループごとに水生生物ちょうさの結果をまとめよう

(1)組(7)班

7月7日(水)		【時刻】 11: ~ 12:	
【天気】 くもり		【気温】 17℃	【水温】 ℃
生物の絵・名前	見つけた数	生物の絵・名前	見つけた数
 ヒラゲタロウ	7 ひき	 ヤマトビ	1 ひき
 ナガビケラ	3 ひき		ひき
 カワゲラ	0 ひき		ひき

今回のちょうさで、「きかんこの川」には、どんな水生生物が多かったですか？






肩流かどうかについて、どう考えましたか？ふしぎに思ったことや、もっとしらべてみたいことなど今日の学習で思ったこともどんどん書きましょう！

見つけたものが見つけたときこれはきれいな川に
 ものだと思いました。せいりゅうかどうか川の生きもので
 分かるものだとしらなかつたのでしれてよかったです。
 たくさんとれるのかと思っていたらいがいとたくさんとれました。さい
 石をあらたときうごいているのがいてびっくりしましたりゅうはこんなにちい
 いものだと思っていたからです。川のことをしるのにまたいらほちかづけ
 たきがします。



グループごとに水生生物ちょうさの結果をまとめよう

(1)組(3)班

月 日 ()		【時刻】 11:00 ~ 12:00	
【天気】 くもり		【気温】 17℃	【水温】 ℃
生物の絵・名前	見つけた数	生物の絵・名前	見つけた数
 ヒラタカケロウ	ひき 24	 ヒトナカケカワ	ひき 1
 ナガビケラ	ひき 0	 ナミウズムシ	ひき 2
 カワゲラ	ひき 2		ひき <i>かんぱん</i>






今回のちょうさで、「きかんこの川」には、どんな水生生物が多かったですか？
清流かどうかについて、どう考えましたか？ふしぎに思ったことや、もっとしらべてみたい
ことなど今日の学習で思ったこともどんどん書きましよう！

水生生物で一番多く見つけたのはヒラタカケロウでした。カワゲラも見つけることができました。ヒトナカケカワとビケラを見つけました。ナミウズムシも見つけました。いろいろな水生生物を見つけることができました。ありがとうございました。



グループごとに水生生物ちょうさの結果をまとめよう

(1)組(6)班

7月7日(水)		【時刻】 11:00 ~ 12:00	
【天気】 くもり		【気温】 17℃	【水温】 ℃
生物の絵・名前	見つけた数	生物の絵・名前	見つけた数
 ヒラカゲロウ	7 ひき	 ナミウスエビ	1 ひき
 ナトビシケラ	ひき	 ヤマトビケラ	ひき
 カワゲラ	1 ひき		ひき

今回のちょうさで、「きかんこの川」には、どんな水生生物が多かったですか？
 雨流かどうかについて、どう考えましたか？ふしぎに思ったことや、もっとしらべてみたい
 ことなど今日の学習で思ったこともどんどん書きましょう！

ヒラタカゲロウがといて見つけたのはせじんぶきれいな
 水にいますのできかんこ川はせいりゆうだと
 思いました。もうちょっと水生生物が大きいと思っただけ思
 ったより小さかったのでびっくりしました。石のうらとかに水生
 生物がいるんだなあと思いました。



ゆたか 8月27日3年1組

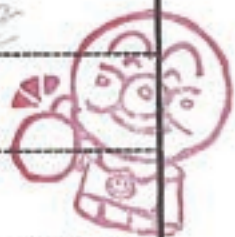
今日のふりかえり

①おかったこと

ザリガニをとるときは、足をあみの近くで、バタバタするとザリガニが入ることがおかって、つぎから、これをつかってザリガニをつかまえたので、オスとメスの見分け方が分かって、これからオスとメスを見分けたいので、あヒゲナガカサトヒケラガニで、つくりました。14匹と、ザリガニが、てめく、おもしろい魚を、あみみつけられたので、おもしろい見つけたです。

②川に入っと思ふこと感想

これから、川に入るときは、さんづいおられたことをいかに、二人ペアで、あみとりたいので、ある年生の間に、川の学習がある、あきく、先生や、ししと、先生と、ア、ガニをとりたいです。



ゆたか 8月27日 31年係組

今日の3、リカケリ

①わがたこと

オスとメスがわがりました。

オスは、足と足の間にちんちんがあると言ってきました。あみをもって草をバチバチ叩くと大きいのが入ると分かりました。大きい石の下にいたことが分かりました。

②川に入って思たこと

雨がいっぱいふって川の水がふえている と思いました。

はしの下に少ししか水がなかったのにふえていると思いました。

③感想

4はんとんとうの人が色々教えてくれたことが楽しかったです。

ゆたか 8月27日 3年組

今日のふりかえり

①わかったこと 生き物がいそうなところは川のす
みらへんのしげみにかくれていることを知りました。
生き物がいそうな場所であみをたて、そこで足
でバツバツしておどかすとあみに生き物がは
いてきてつかまえられることも知りました。オスとメス
のサリガニのみわけかたを知りました。こ
れを知れたときしていいことなのでとてもうれ
しかったです。川の場所のながれがはやいほう
に生き物がやすいことでもそれを聞いた時
川のながれがはやいほうでやって生き物を
つかまえることができてこのことを聞いて
よかったですごく思いました。サリガニ
のどこをつかめばつかまえられるか知
れました。

②川に入て思ったこと感想

はじめてサリガニをさわることができ
てうれしかったです。ペアでとても

ゆたか 8月27日 3年1組

今のふりがえり

① あかったこと

日本ザリカはよりうちだ。ザリカ"にのほろが"大
いことか"んかりました。ザリカ"二のよな"のほ
ろには、おみたり"よのが"オス"の"か"かりました。カーブ
するところが"いきま"いか"で"ることか"んか"は
した。てま"よ"り"あ"くのほろ"か"う"かり"と"り"こと
か"ん"か"って"う"れ"か"た"です。ザリカ"二の"う"よ"な
か"た"か"ん"か"って"よ"か"た"です。

② リに入つて思ったこと感想

ト"シ"ヨ"ウ"カ"は"よ"り"も"い"は"い"と"お"て"う
あ"し"か"た"です。また"と"う"て"い"は"い"魚"か"ん
る"の"で"こ"ん"と"と"る"と"き"に"つ"か"ま"え"た"り"と"思"い"は"れ"た"。
こ"れ"か"ら"魚"を"と"る"と"き"に"は"や"マ"メ"を"と"り"た"い"と
思"い"は"れ"た。今"は"い"め"て"み"る"魚"も"い"た"の"で"
こ"ん"と"を"あ"と"と"つ"て"み"た"い"と"思"い"ま"し"た。
ほ"か"に"い"い"る"ん"だ"魚"か"い"り"と"思"う"の"で"こ"ん"と"
と"つ"て"み"た"い"です。



ゆたか8月27日3年係組

今日のふりかえり

①おたまたこと

のおらはかせが言った中でヤマメは太陽が
きれいと言っていました。そうなんだと思いました。
あとちよいで水がきれいと言っていること思いました。
ウチガサリガニは外来種を知ることができました。

②川に入って思ったこと感想

川に入ったとき魚が全ぜんいないな
と思いました。

ザリガニのオストメスのちがいがうがって
おらはかせはやばすこい!! と思いました。
あと今日大きいザリガニがとれたのでうれし
かったです。

川の学習は本当に楽しいです。

またやりたいたいです!!

もっとは今日よりもっと多くとりたいた
いです。

今日はこないたよりよかったとつめず

たです。



ゆたか 8月27日 3年1組

今日のふりかえり

①おかったこと

オスとメスのみおけかいていけるようになったこと。サリカゴニは石のうらやぐさとかかた多いところにいることは、していただけでもどうやってやるのか、かあまりしりなかったのでも、できるよになっとうれしかったです。魚をさおっているとき魚にとってすくお、い思いをしていることか、しめていいんきょうになっただけ、思います。

②川に入って思ったこと、感想

川にはなにかおかしなところや、おそれるところか、あることや、かなたさんとなかよくたのしくサリカゴニをとりました。かなたさんとやった川の学習は、さいごな川の学習になりました。



ゆたか 8月27日 3年1組

今のふりがえり

① おかったこと

ウチダザリガニはが、いらいしゅ、というのを、は
じめてしました。メスとオスの見分けがた
もはじめてしました。とげとげした
さかなが、さかんこの川にいてび
っくりしました。こんなにウチダザリ
ガニが、いてことがびっくりしました。

② 感想 川に入って思ったこと

はじめてザリガニをさおれて、
ものすごくうれしかった。あ、たっぴし
たザリガニが、ぶよぶよしていてち
とだけきまちわるかったです。これか
らさかんこの川で、いろんな
生き物を見つけたい、と
思いました。これから、川の
字習をがんばりたい、と
こんどはヤマメをつりたい、と

ゆたか8月27日 3年組

今日のふりかえり

①わかったこと

とほサリガニヤイトメタカトカいて、とほ
もせいりんだなと思ひました。サリガニの
オスメスの見分けがよく分かりました。おとサ
リガニの赤ちゃんが大きいのがいること
が分かりました。サリガニヤイト
メタカトカトカいいる水生生物や魚
もいて、いろいろな生物が
いることが分かり
ました。②川に入つて思つたこと、感想

とほ川がつかたつたです。とほ川のはかせに
魚やサリガニもつかまえる方がよいと思ひ
ました。とほサリガニにかかされて
つかたつたです。とほ楽しかったです。三年生
の中で一番楽しかったです。サリガニ
もつかまえる楽しかったです。





○ NPO 法人 十勝多自然ネット 野村直也 先生のお話を聞こう。

○ 大切だと思うことは、メモをとりましょう。あとで質問タイムがあります。野村先生に質問したいことも忘れぬように、メモしておきましょう。

メモ

北アメリカロック

1930年

帯広 1990年 生物



メモまだ少ない
メモを増やそう

まじゅうこ



ニホンザリガニとウチクザリガニ

金川沿各でザリガニつり

たまたま
たまたま
たまたま

たまご
米
女
タ百

川にはたそ

ニホンザリガニをりすみが

ニホンザリガニを食

他の生き物が

外来生物

ウチクザリガニ = 特定外来生物

も、アチャク

つかまえて

他の生物のすゝか

○ 野村先生にお礼の手紙を書こう！心にのこったことや、もっと聞いてみたいこと、これからやってみたいことなども、野村先生につたえよう！



せいりゅうとかたくりの名前もはじめて聞いてから、
それは何だろうと思っていたしど、しりべてしくにつれてたんだ
おぼえてきてそれは先生がたのおかげでしりべてしりべて、
うれしかたです。後川の先生が来てくれたからとしかたとかを
くわしく教えてもらえてうれいです。これからもと魚とか
ザリガニの名前をくわしく教えてくれたら教えてくださ
お仕事もがんばってください、3年係目



ゆたか

ワークシート (4)

名前

○ NPO 法人 十勝多自然ネット 野村直也 先生のお話を聞こう。

○ 大切だと思うことは、メモをとりましょう。あとで質問タイムがあります。野村先生に質問したいことも忘れぬように、メモしておきましょう。

メモ

(1930年代) ニホンザリガニとウチダサツガニ

(1990年代) 中七頁 (5-6cm x 15cm) (おとなし (まうぼう))

ニホンザリガニのすみかまうぼう
4世の生き物のすみかまうぼうをいぼ
はすみかマツゴも大ききよ。オスはこの
の定) とったザリガニはたけのえい
ううたいひ命をたけザリガニとウチダサツ

○ 野村先生におれいの手紙を書こう！心にのこったことや、もっと聞いてみたいこと、これからやってみたいことなども、野村先生につたえよう！

かおのかくしゆて、いろいろ教えてくれて、あり
がとらこいしよまうウチダサツガニのごし
もおいてくれたしウチダサツガニがそれた
にまうぼうとよしなたのまう日ニザ
リガニは、十のたまごをうば？とかい
なかつたし、日ホンザリガニはおとなし
つかまえれかたけと川には、それた
ないのはしなかつたまうウチダサツガ
百こたまごをうば？とかい





○ NPO 法人 十勝多自然ネット 野村直也 先生のお話を聞こう。

○ 大切だと思うことは、メモをとりましょう。あとで質問タイムがあります。野村先生に質問したいことも忘れぬように、メモしておきましょう。

メモ

ウキダザリガニ
北アメリカ
1930年
30年前に見つかった
かつて

ニホンザリガニのすみかきょうばう
たべる
びんききょうばう
かくれる場所をなくす

ウキダザリガニはおいしいの
たべる

もしも
はいはい
いう

おクリート
をいごと

いきものがどこにいるかを
しらべる

日本5cm~6cm
ウキダザリガニ
おとろい
ウキダザリガニ

日本ザリガニ
アメリカザリガニ

特定外来生物
ウリょう

たいひに弱
らたザリガニ

えいほう

いさくふ
きたて
たし

○ 野村先生におれいの手紙を書こう！心にのこったことや、もっと聞いてみたいこと、これからやってみたいことなども、野村先生につたえよう！



はたし心にのこったことは、ウキダザリガニが"もしも"日本にいた魚"ニホンザリガニ"を食べてしまうことですが"なせか"という"もしも"とした生きものがなくなってしまうので心にのこりました。

ニホンザリガニにはむかしはいらばいいけれど"コンクリート"をぬって"なくなっているのにウキダザリガニでもすこへしてしまてかわいそうだな"など思いました。



- NPO 法人 十勝多自然ネット 野村直也 先生のお話を聞こう。
- 大切だと思うことは、メモをとりましょう。あとで質問タイムがあります。野村先生に質問したいことも忘れぬように、メモしておきましょう。

メモ

日本サリガニが少なくなっている

ウチダサリガニ

はたけのさえないよう 日本に3つある、いる。



たひ

外来種
ウチダサリガニ
アメリカサリガニ



- 野村先生にお礼の手紙を書こう！心にのこったことや、もっと聞いてみたいこと、これからやってみたいことなども、野村先生につたえよう！

ウチダサリガニのことをしれて、うれしかった
 ですよ。あとウチダサリガニが日本にきて、日本サリガ
 ニが少なくなっているから、もしあたしからウチダサリガ
 ニを、うちにつれてこられたら、川にもどさないよ
 にします。これから、もっとサリガニのことをし
 りたいと思います。



ゆたか

ワークシート (5)

名前

○ このあとの「ゆたか」は、みんなが「けんきゅう」をする時間になります。「けんきゅう」したあとは、「はっぴょう会」をひらきます。

…みんなが大人になるころ、未来のきかんこの川は、どうなっているだろう？また、どうなっていてほしいですか？

…そのために今のみんなに何かできることはありますか？

「きかんこの川のために、やってみたいこと、もっと調べてみたいこと」を書いておきましょう。



きかんこの川がさかながいてどうめいな川になってほしいです。
そのためにはみんながきんぎょにやさしくつかわること
が大切だと思います。また、未来のきかんこの川がきれい
にやさしくつかわれば、さかながいっぱいいてどうめいな
川になるからです。

きかんこの川のためにやってみたいこと、もっと調べて
みたいことは、きかんこの川をさかながすみやすいように
川さんそ(テレーホ)をふやしたいです。なせなら魚
をなかながいかして魚をたくさんで「りちザリカ」にし
魚をいっぱいにしてしせ「人」いっぱいにして
いてす。



ゆたか

ワークシート (5)

名前

○ このあとの「ゆたか」は、みんなが「けんきゅう」をする時間になります。「けんきゅう」したあとは、「はっぴょう会」をひらきます。

…みんなが大人になるころ、未来のきかんこの川は、どうなっているだろう？また、どうなっていてほしいですか？

…そのために今のみんなに何かできることはありそうですか？

「きかんこの川のために、やってみたいこと、もっと調べてみたいこと」を書いておきましょう。

きかんこの川はしぜんいはいていつまでもせりゅうで緑
 ゆたかな場所になっているとよそうします。未来のきか
 んこの川は、たくさんの人に大切にされて、ゴミが
 ない場所で生きものがくらしやすい場所であってほ
 いです。そのために、ゴミがあたらすて、たくさんの方
 こは大切な場所とつたわるようにけんきゅうをつづけていきたく
 きかんこの川でもっと調べたいことは、あさいところふか
 いところ石があるところ土が大いところなどどど
 のようなところに生き物がたくさんいやすい
 のか、また、きかんこのところは生き物はすみや
 すいのか、どどのような生き物がすんでどの
 くらいの数がいるのかをしけたいのでつまりは
 きかんこの川の生き物について調べたいです





ゆたか

ワークシート (5)

名前

○ このあとの「ゆたか」は、みんなが「けんきゅう」をする時間になります。「けんきゅう」したあとは、「はっぴょう会」をひらきます。

…みんなが大人になるころ、未来のきかんこの川は、どうなっているだろう？また、どうなっていてほしいですか？

…そのために今のみんなに何かできることはありそうですか？

「きかんこの川のために、やってみたいこと、もっと調べてみたいこと」を書いておきましょう。

ニホンザリガニやそともと日本にいけ魚がすむ川になってほしいです

そのために(外国からきたザリガニや魚をとりたいです)

ニホンザリガニがすむやすい川にしたいです。水草など、魚がたべる

ものをきずつけず、ふやしたいです。できるだけゴミをひろい、日本

きれいな川にしたいです。魚がたべるものを、矢印したいです。

ニホンザリガニが食べるものをひろい、^{ウナギ}せりゅうにするために、

なにをすれはいいか、しらべたいです。ニホンザリガニや魚をきずつけず

つがえた、です。

★つぎにする





ゆたか

ワークシート (5)

名前

○ このあとの「ゆたか」は、みんなが「けんきゅう」をする時間になります。「けんきゅう」したあとは、「はっぴょう会」をひらきます。

…みんなが大人になるころ、未来のきかんこの川は、どうなっているだろう？また、どうなっていてほしいですか？

…そのために今のみんなに何かできることはあいそうですか？

「きかんこの川のために、やってみたいこと、もっと調べてみたいこと」を書いておきましょう。

わたしが大人になると、きかんこの川は、きれいなきかんこの川になってほしいし、わたしが大人になると、みんな

きかんこの川がきれいになって、きかんこの川は、あてしきれいに、なしてほしいし、サリカニヤ魚を、さん

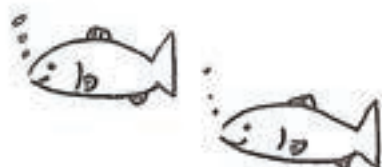
るきかんこの川は、虫とかとれず、きかんこの川になつてほしいです、みんながかわのかくしを、できずきかんこの川になつてほしいです。

わたしが、きかんこの川を、やってみたいこと、もと、きかんこの川が、きれいなきかんこの川が、きれ

いかきたないか、をもっと、しんべんたいです、くすりを、つづいて、せいりやうをもっと、しんべんたい

いで、あつた。

川の学習 発表感想シート



名前 ()

グループ	
川の生き物 1 ()	
川のまわり 2 (A)	1年生にちらしをくばってきたのはすごいと思いました。1年生がいてくれた感想も分かっていいと思います。
さけ 3 (B)	さけは水の中じゃないとくれないのをはじめてしたので、そうなんだと思いました。すいそうにクイズなどをつくったのはすごいと思いました。
ザリガニ 4 (A)	クイズでザリガニのどこをみたらオスかメスがわかるなどしれたのでいいと思いました。あと足の本文数が8本だと思っていたけど10本なのをはじめて知りました。
川の中 5 (C)	ゴミ拾いをしたり、ポスターをつくらせて1年生にわたしたのはすごいと思いました。

自分たちの発表をふりかえって

声も大きく、しぼいせずできました。

メモ

川の学習 発表感想シート



名前 ()

グループ	
川の生き物 (B)	おたしがかしらなかつたごしをいっはあし しらべていていろいろなことがいっは いわかりました。
川のまわり (B)	とても川がきれいであってほしいし ごしがつたあつてもよした。
さけ (C)	みんなこえが大きくてとてもききや すかったです。
ザリガニ (A)	とてもおもしろくてウチダザリガニの こともわかってきたしウチダザリガニのこともクイズ でもしりました。たしウチダザリガニのこともクイズ でもしりました。
川の中 (A)	川のもけいを作ってきれいな川できた ない川のちがいがわかるまじにイ ていいと思いました。

自分たちの発表をふりかえって

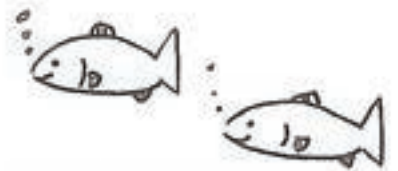
おたしは自分で自分さにははきはきさしりつた
しはあかしがらまじにいっはまじし。

メモ

他のクラスのメンバーともきょうかして、一生けん命調べていたね！
「サケがすむ場所」がよく伝わってきました。
おつかれ様♡



川の学習 発表感想シート



名前 ()

グループ	
川の生き物 (C)	ラマで川で生物をしらべていいとおもいました。
川のまわり (A)	チラシを一年生にくばったのがいいとおもいました。
さけ (B)	みらいもみらいのさけのごそかんがえて、いいとおもいました。
ザリガニ (A)	大きな声でいきなり発表の時もれいせいといいとおもいました。もんだいもあっていいとおもいました。 <small>ザリガニには足は10本あります。</small>
川の中 (A)	ゆっくりでいきなり魚をたすけようとしてゴミをたしてゴミ箱とおもいました。

自分たちの発表をふりかえって

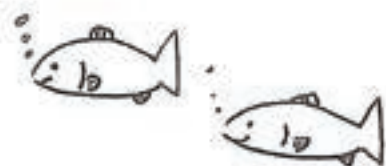
れいせいにあんしんしてできました。 *good!*
 おらついてか？

メモ

他のグループの発表からも学んでいるね！
 ここまで同じグループのたまかまと協力してがんばり
 ましたね！ おつかれ様！



川の学習 発表感想シート



名前 ()

グループ	わかったところ・きまるところ・はかりかたは
川の生き物 (B)	ほととぎすにアトナニとかほととぎすたから いいよと思います😊
川のまわり (A)	かわをきれいにしたいいことかあったおりました。 おがりかわがきれいのままといいっていいこと だわがわがわがたです。
さけ (B)	きかたこ6年にたたらさけをみたいいです。
ザリガニ (A)	うちたざりがのてとかくおしくいていい と思いました。
川の中 (B)	川のいきもののこしかしれよたかたです。

自分たちの発表をふりかえって

いきもの、のたべものをしれてよかったです。
すこしくなりました。

メモ

おがりのことまじかいいいたのでいいと思います。
かわのきれいにしたいいことかあったおりました。
きかたこ6年にいてさけをみたいいです。

学年のメンバーに伝えることはさんちようますが、
しかりと伝わってきまいた。4年生でもこのけいけんを
伝えていい下さいね。





ゆたか

ワークシート(1)

名前

しつもん①

せいりゅう

「きかんこの川」は、清流だと思えますか？

そう思う

・

思わない

いゆうも書こう。

しつもん②

「きかんこの川」が清流かどうか？をどうやって、しらべたらいいと思えますか？(いくつも書いていいよ。)



ゆたか

ワークシート(3)

名前

グループごとに水質検査の結果をまとめよう ()組()班

月 日()		【時刻】 : ~ :	
【天気】		【気温】 °C	
【パックテスト】			
① COD(シー・オー・ディー) (分)		② NH4(エヌ・エイチ・フォー) (分)	
有機物(ゆうきぶつ)のこさをしらべる		アンモニウムのこさをしらべる	
色	結果からわかること	色	結果からわかること
すうち		すうち	
③ DO(ディー・オー) (分)		④ PH(ペー・ハー) (分)	
酸素(さんそ)のこさをしらべる		酸性(さんせい)・中性(ちゅうせい)・アルカリ性(アルカリせい)をしらべる	
色	結果からわかること	色	結果からわかること
すうち		すうち	

今日のじっけんで、「きかんこの川」はどんな川だと思いましたか?また、ふしぎに思ったことや、もっとしらべてみたいことなど今日の学習で思ったことを書きましょう!

.....

.....

.....

.....

.....






ゆたか

ワークシート(4)

名前

グループごとに水生生物ちょうさの結果をまとめよう

()組()班

月 日()		【時刻】		:	~	:	
【天気】		【気温】		°C	【水温】 °C		
生物の絵・名前		見つけた数		生物の絵・名前		見つけた数	
	ヒ カラ ゲタ ロウ	ひき				ひき	
	ナ ガ ビシ ケラ	ひき				ひき	
	カ ワ ゲラ	ひき				ひき	

今回のちょうさで、「きかんこの川」には、どんな水生生物が多かったですか？
 清流かどうかについて、どう考えましたか？ふしぎに思ったことや、もっとしらべてみたい
 ことなど今日の学習で思ったこともどんどん書きましょう！

.....

.....

.....

.....

.....

きかかんこの川と
友だち

あの子たち、
元気かな・・・？



きょねんのことだけど、



なんの時の
しゃしんか、

おぼえている
かな？











おぼえでいること

はっぴょう

してみよう！

みんなにしつもん①

「きかかんこの川」は、
どんな川ですか？











みんなにしつもん②

「きかかんこの川」は、

せいりゅう

法流ですか？

せい

りゅう

洗
清

流



(きよい)



(ながれ)

きよ

なが

清し | 流れ

きれい | なながれ

ほうせい

じゅうしょ

豊成小学校の住所も

せいりゅう

「清流西1丁目」

です。

みんなにしつもん②

「きかんこの川」は、

注法
清流だと思いませんか？



ワークシートに
書こう



でも、

こういうのどう思う



みんなにしつもん③

「きかんこの川」は、

本当に清流なのか？



こんなときも



こなとぎも



こなとときも



こんなときもある

「きかんこの川」は、
本当に**注法清流**なのか？

みんなにしつもん④

どうやって

しらべるか？

どうやって

しらべたら

わかると思うか

ワークシートに
書こう



みんなは今年、

きかんこの川の

はかせになれます

はかせ



川の

きかんの

はかせだから、
どうやって
けんきゅうするか、
みんなが考える



それが

「ゆたか」

の学習です。

みんなにしつもん④

どうやって

しらべるか？





まずは、

明日、

川に入ろう！

かえってきたら、

また、考えよう！

きかんこの川が、

清流かどうか……。

もちものかくにん！

- 長そで・長ズボン
- 長いくつした
- 川用のうんどうぐつ

それから・・・

- 着がえ(ぜんぶ)
- タオル
- ぬれた服を入れるふくろ

それと…

いのちを

まもるもの





ジライフ
ジャケット
ト

きかんこの川が、

清流かどうか？

よく見に来てね！

きかかんこの川と
友だち

水生生物 記録用紙

(組 班 名前)

月	日 (曜日)	検査の時刻	:	~	:
天気	気温	℃	水温	℃	

↓
 ないかと思つて、先に写真を撮つておきましょう。

イラスト	名前	見つけた数を数えて書こう	イラスト	名前	見つけた数を数えて書こう
		ひき			ひき
		ひき			ひき
		ひき			ひき

きかんこの川と

友だち②

**この前の
学習は楽しかったかな？**

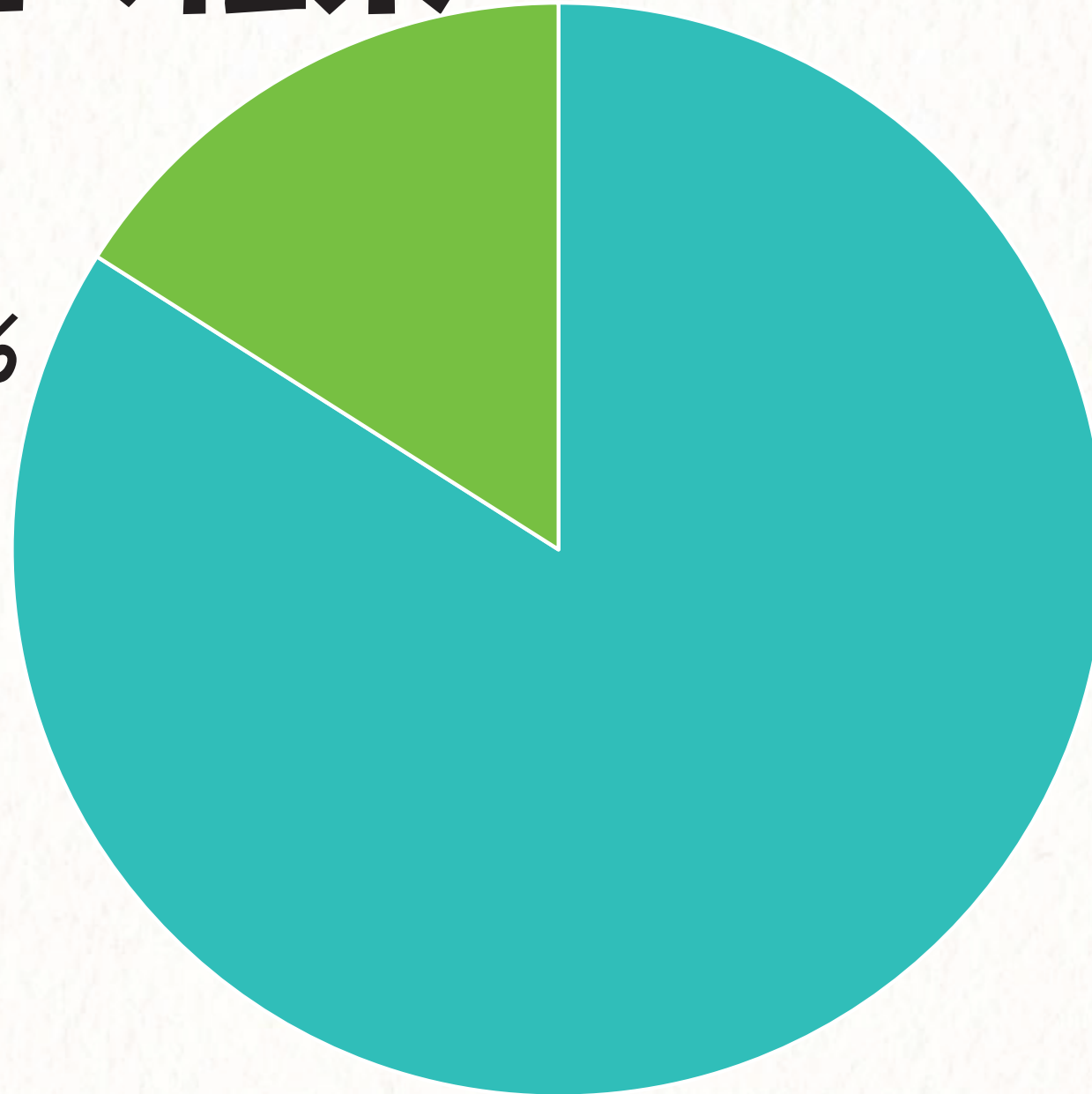
この前、みんなに
しつもんしたこと

**「きかんこの川」は
清流だと思いませんか？**

川に入ってみて、
どう思ったかな？

3年1組の結果

清流だと思わない
16%

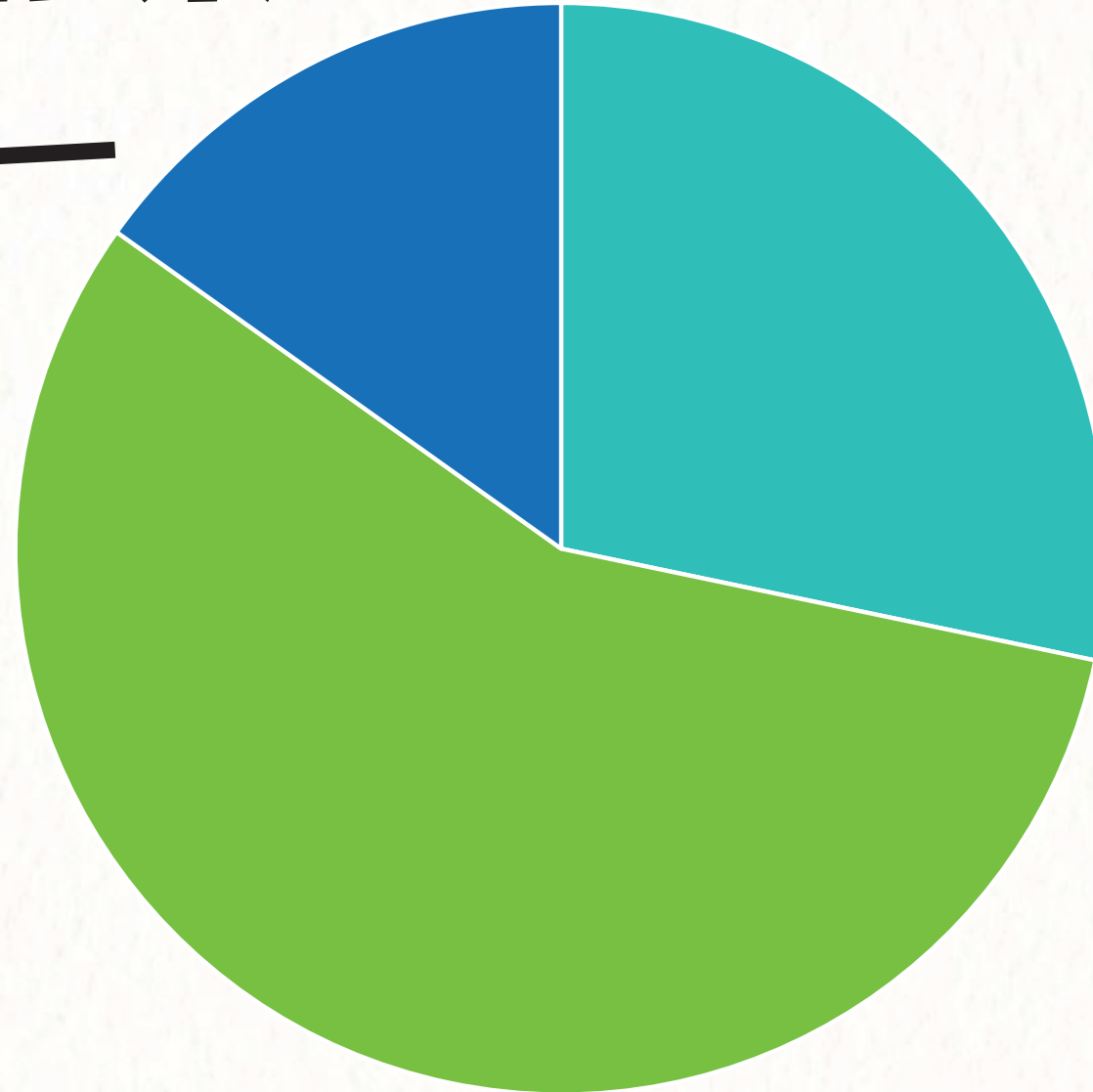


清流だと思おう
84%

3年2組の結果

清流だと思う
28%

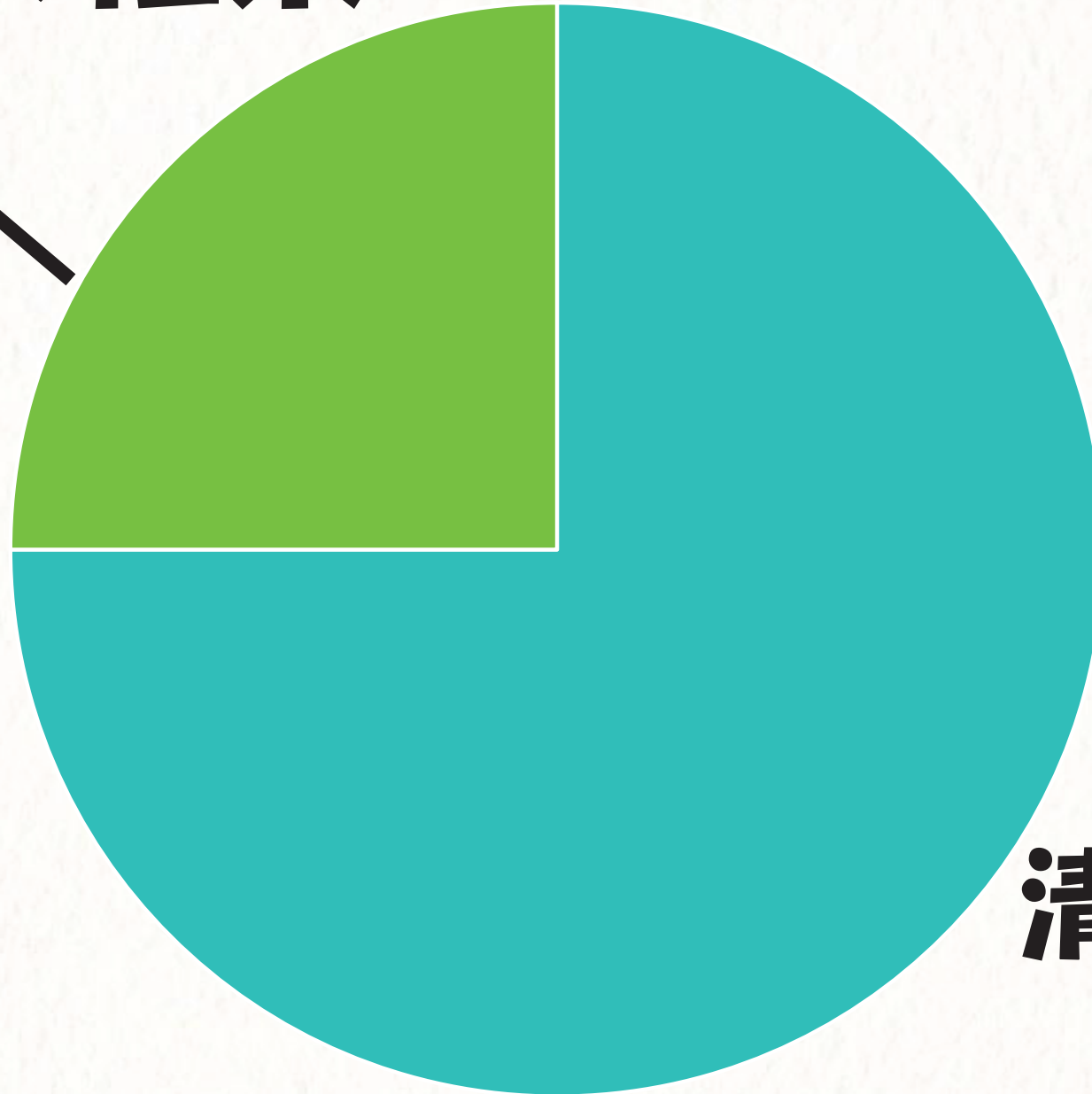
清流だと
思わない
15%



どちらかに
きめられない
56%

3年3組の結果

清流だと思わない
23%



清流だと思う
77%

清流だと思ふ人の意見

- 川の下がすけて見えるから、水がとうめいだから
- にごっても、しばらくすると、またきれいな水にもどるから。
- 魚がいっぱいいるから、生き物がいっぱいいるから
- 生き物が元気だから。
- スコープで見るときれいだった
- ながれる音もきれいだから。
- ながれがはやいから。ながれが止まらないから

- かげがうつつたり，きらきらしていたから。
- どろもあるけど，きれいなところも多いから
- ゴミがないから
- しぜんのかおりがするから
- まわりに木や草が生えていて，自然がいっぱいだから

清流だと思わない1人の意見

- 木のえだがながれてきたから。
- 川にゴミがあったから
- きれいなときもあるけど、にごっているときもあるから
- あさいところはきれいだけど、ふかいところはきたないから
- みんなが入るからきたなくなる
- 水の色が茶色だから

・広くて長くて、かくれるところもあるから、**魚にとってはすみやすい**と思うから、**清流**だと思いました。

・**生き物がけんこう**だったから、**清流だ**と思います。

生き物にとって

すみやすい川だと

いうことは、だんじか毛ね

・土のところに行ったら、きたなくなると、それは、土と水がまざっているだけで、よごれているのはちがうとわかりました。

にごっこしていることと、
川がきたないにこと
はべつのこと？

これからもっと、
しらべたいにしよう！

みんなの意見から…。

注法
清流かどうかを、
しらべる方法…。

- にごった水と，にごってない水をとってくらべる
- きかんこの川の水と， さつない川の水をとってくらべる
- きかんこの川の水と， 水道の水をとってくらべる
- きかんこの水の温度や， 生き物のけんこうさをしらべる
- 生き物をかんさつして， 元気かどうかしらべる
- 川のそこのすなを見ている。
- 川がどのようなになっていれば清流なのかをまず知りたい
- にごった水でも魚が元気かしらべる

- 水のあささやふかさでくらべる
- 生き物をとってしらべる
- けんびきょうで見る。
- けんびきょうで，びせいぶつ（プランクトン）がいきいきしているかをしらべる
- 煮沸（あたたためて）して，くらべてみる
- 生き物をかんさつして元気かどうかしらべる
- 魚がすみやすいかどうかでしらべる
- ゴミがあるかないかしらべる

いろいろなアイデア、いっぱい出てきました！
今年の3年生はすごい！！

みんなのいけんの中から, 今回は

「くすいを

つかってしらべる」

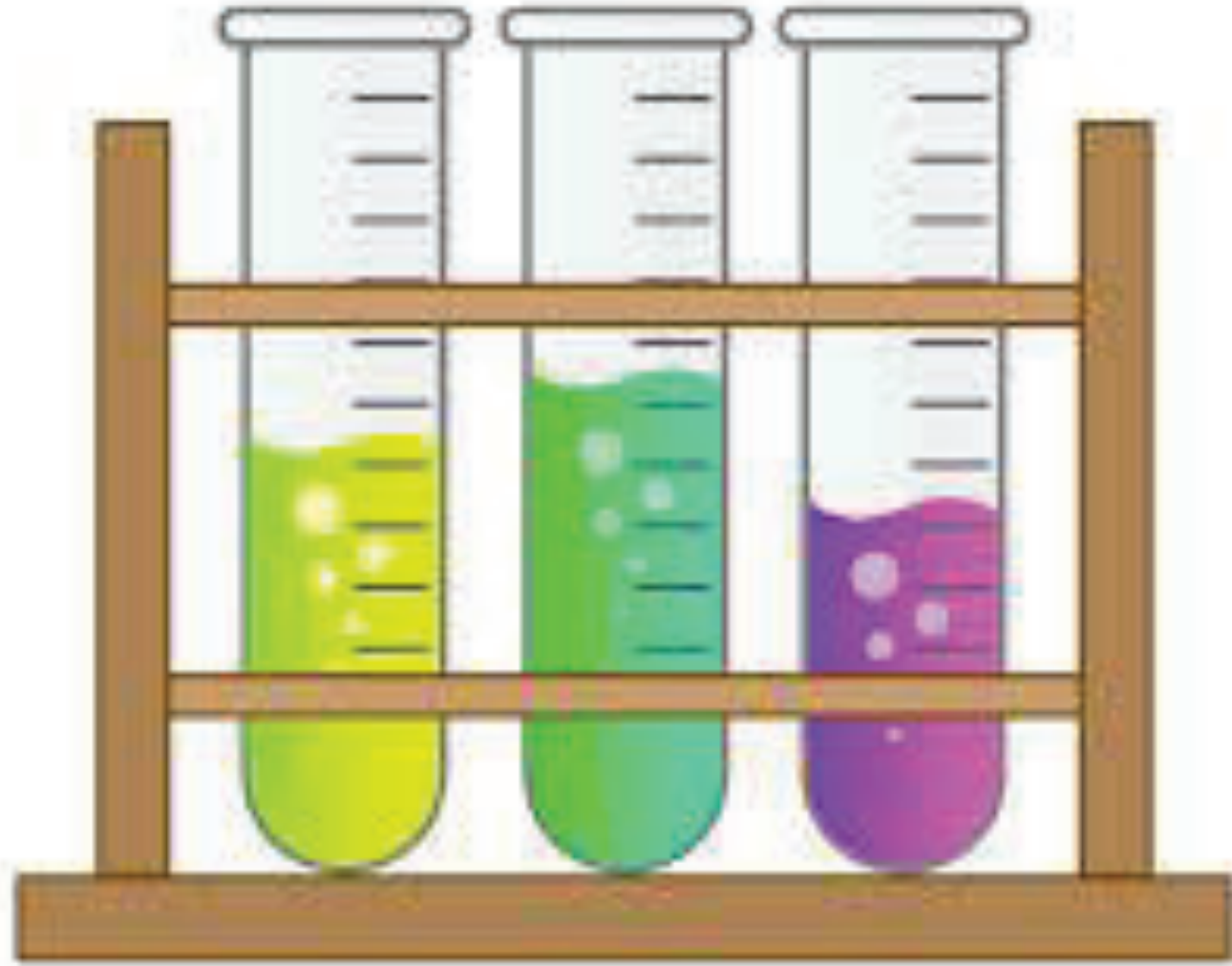
方法でやってみようと思います。

パックテスト
といます



やくひん

薬品の中に，川の水を入れてしらべます



水がよごれているか？
きれいか？をしらべる

とくべつな

やくひん

薬品です。



水がきれいだと、
生き物たちが
すみやすい！



きかんこの川の氷は、

生き物たちが

すみやすい水

なのかな？

今回は、**4つのくすい**を
使って、**検査**をします。



シーオーディー

① COD

ディー オー

③ DO

エヌ エイチ フォー

② NH₄

ピーハー

④ PH

どのくすいも、
水がよごれているか？
きれいか？を
しらべます。



どんなことをしらべる
くすいか、かんたん
せつめいするよ。



① **COD** (シー・オー・ディー)

「**ゆうきぶつ**」

ゆうきぶつ ⇒ **水**の**よごれ**
のもと

②NH4(エヌ・エイチ・フォー)

「アンモニア」

みんなのおしっこにも

入っているよ

③

DO (ディー・オー)

「さんぞ」のいよう

④ PH (ペー・ハー)

「酸性」(さんせい)

「中性」(ちゅうせい)

「アルカリ性」(アルカリせい)

それではまた来週！
きかんこの川の水が
きれいな水かどうかを
しらべよう！



きかんこの川と

友だち②

グループでじっけんし
ます。



仕事分たんをしよう。



① CODたんとう

② NH4たんとう

③ DOたんとう

④ PHたんとう

⑤ ストッフウオツチたんとう

きろく ⇒ みんな

川の水くみ⇒手の空いている人

① COD(シー・オー・ディー)

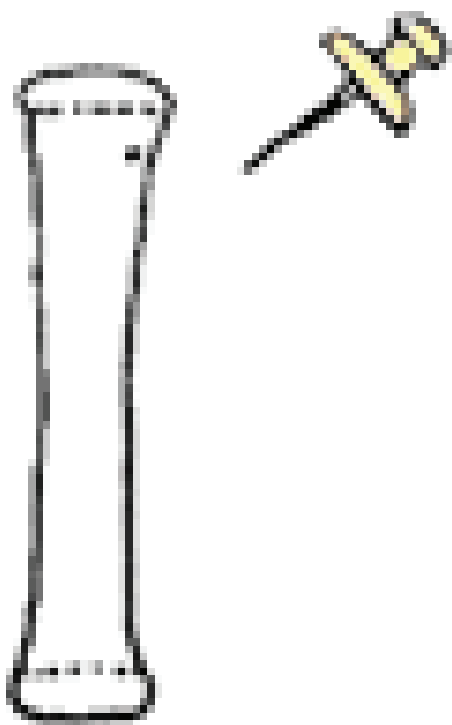
「有機物(ゆうきぶつ)」のこさ

をしらべるくすい

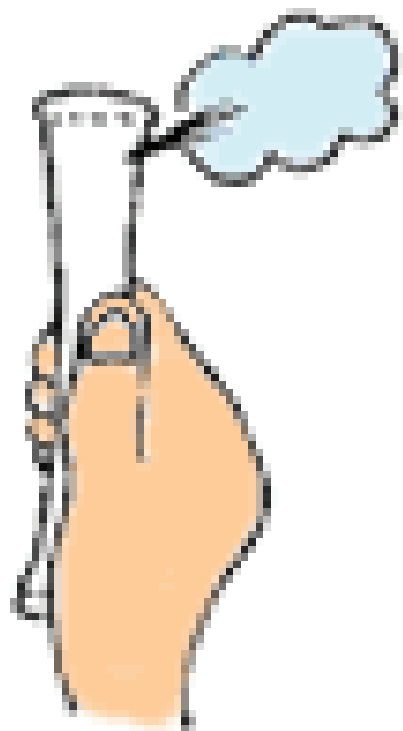
「ゆうきぶつ」⇒よごれのもと

やり方は、あとで穴戸先生が教えます。
空気をぬいて、中に水を入れる。〈5分〉

1



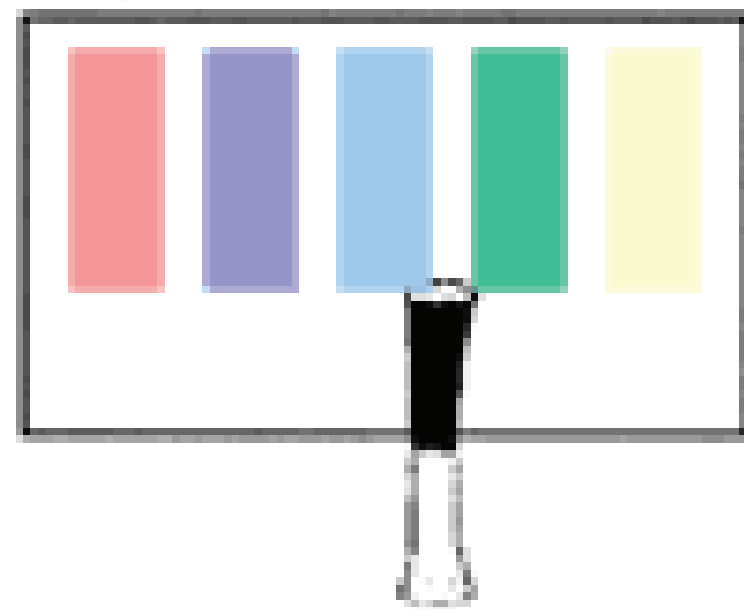
2



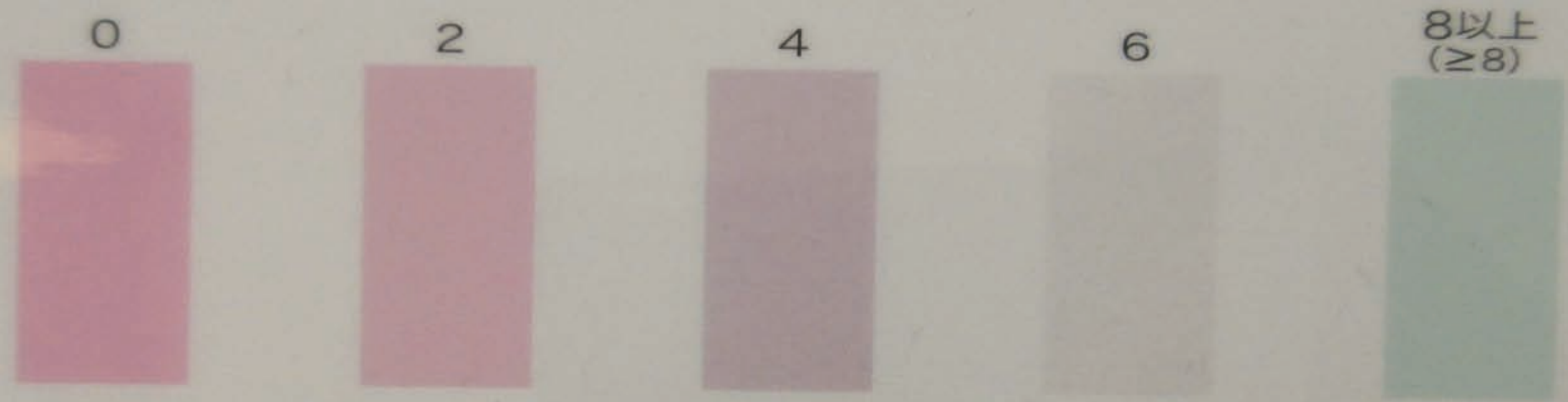
3



4



標準色 < COD (低濃度) >
Standard Color < COD with KMnO₄ (Low Range) >



5分後に,
どんな色かを見る

② NH4(エヌ・エイチ・フォー)

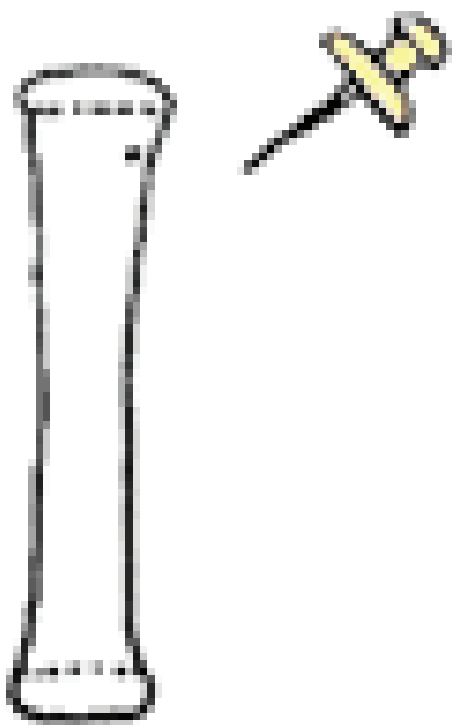
「アンモニア」のこさを

しらべ^るくすい

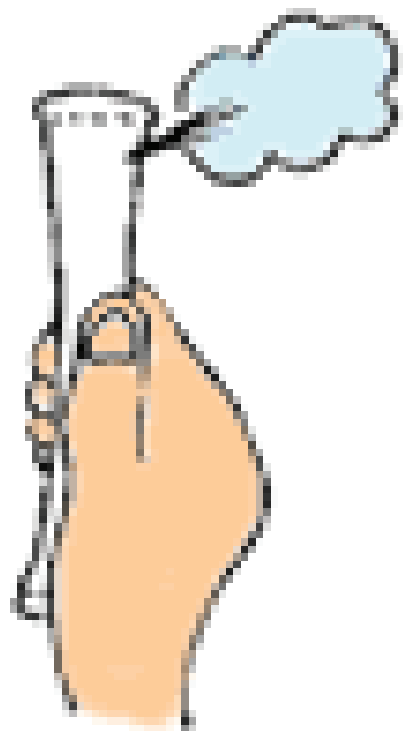
「アンモニア」⇒おしっこにも
入っている

やり方は、あとで穴戸先生が教えます。
空気をぬいて、中に水を入れる。〈5分〉

1



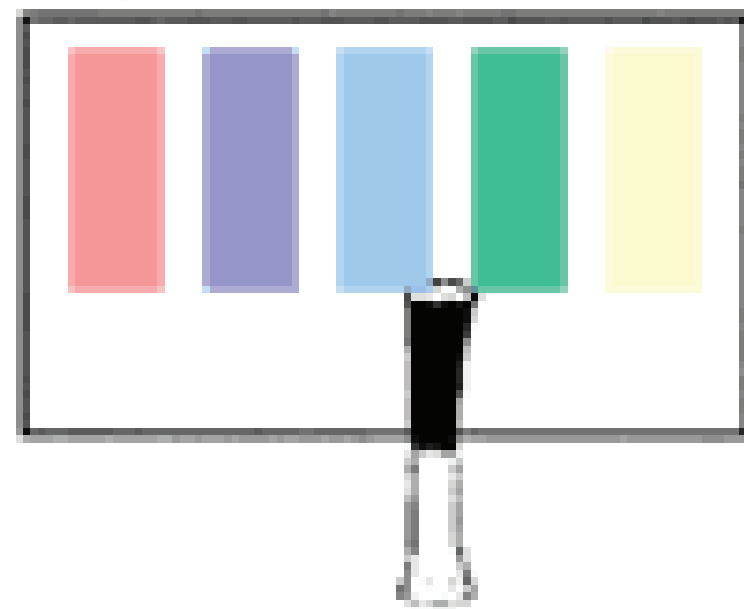
2



3

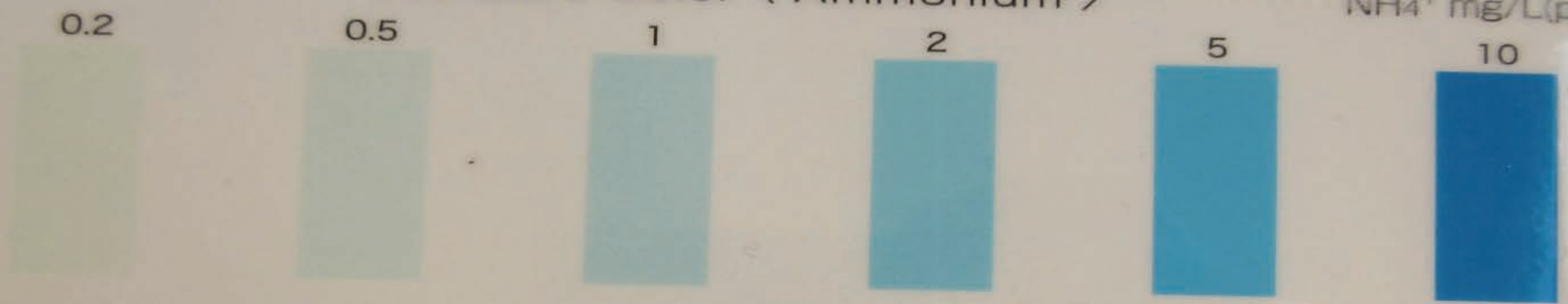


4



標準色 < アンモニウム >
Standard Color < Ammonium >

反応時間 5分 (min)
Reaction time
NH₄⁺ mg/L (ppm)



5分後に,
どんな色かを見る



③ DO (ディー・オー)

「さんぞ」が

どのくらいあるかを

しらべるとすい

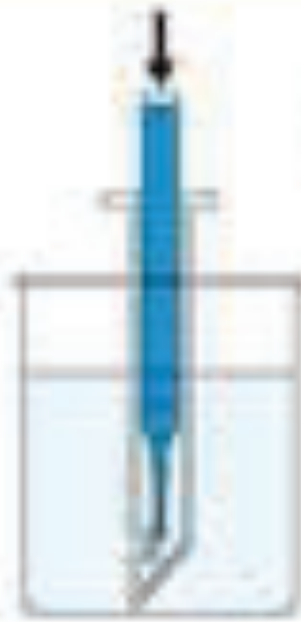
このくすいは、ガラスのビンに入っている。
ガラスのビンの先を少しだけわるので、
けがをしないように気を付けて！

〈2分〉

①スナッパー
にアンプル
を入れます。



②先端を水
に入れて
アンプルを
押します。

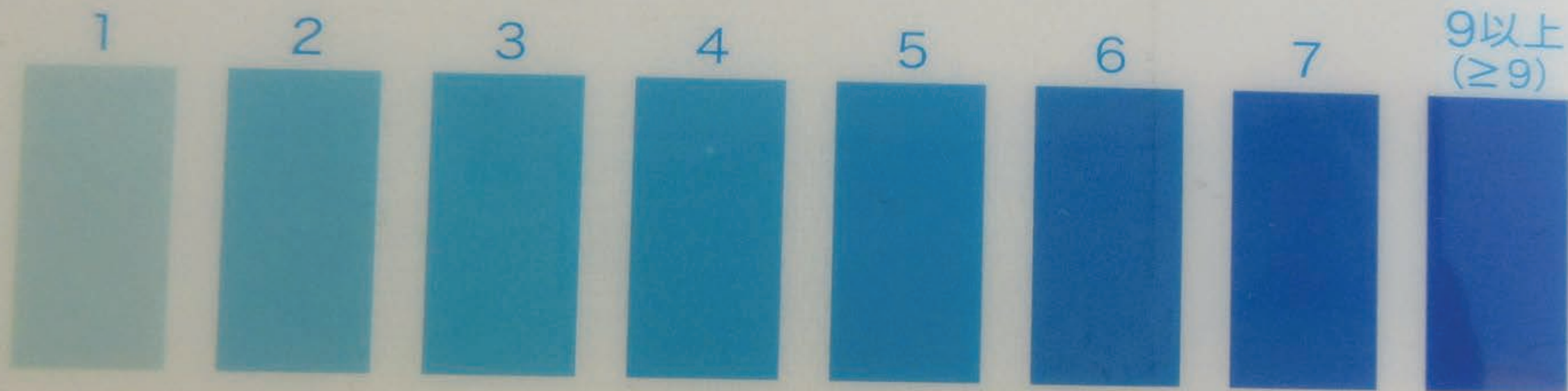


③2分後に
比色します。



標準色〈溶存酸素(DO)〉
Standard Color 〈Dissolved Oxygen〉

反応時間 2分
2min. after
mg/L



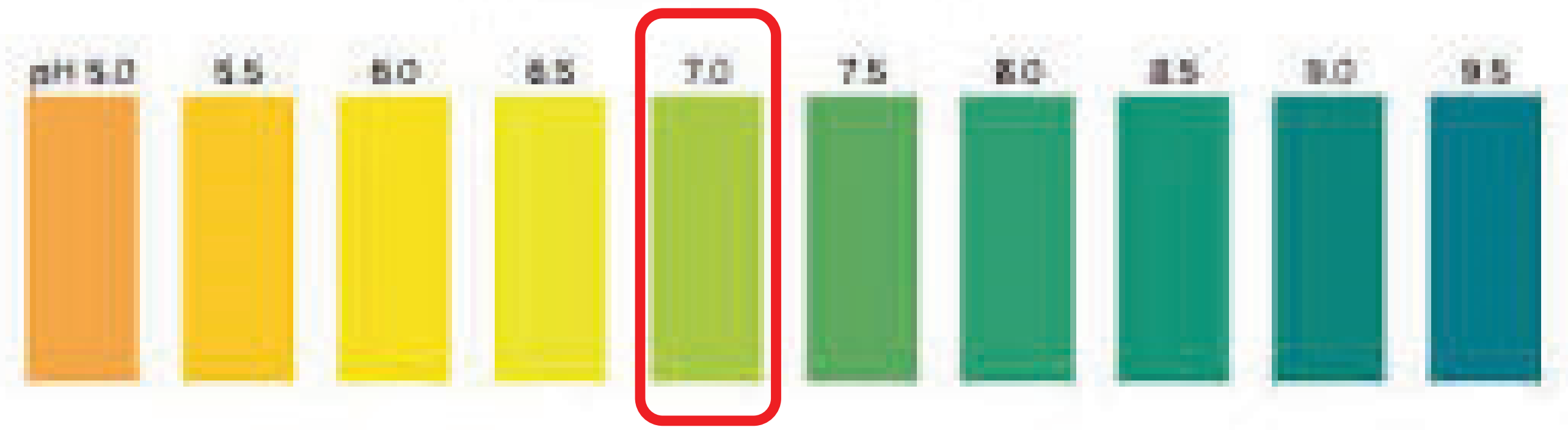
**2分後に、
どんな色かを見る**

④ PH(ペー・ハー)

「酸性」「中性」「アルカリ性」は聞いたことあるかな？「酸性」や「アルカリ性」は何かのとけこんでいる。酸はすっぱい、アルカリはにがい。水道の水は、「中性」です！

標準色 (pH (ピーエイチ))
Standard Color (pH)

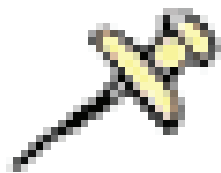
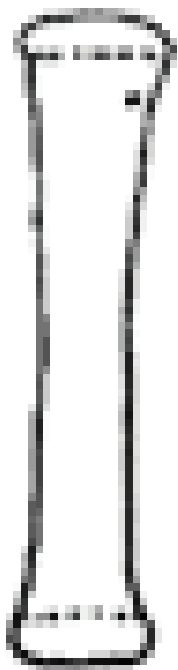
2024年 2024 (Year)
2024 (Year)



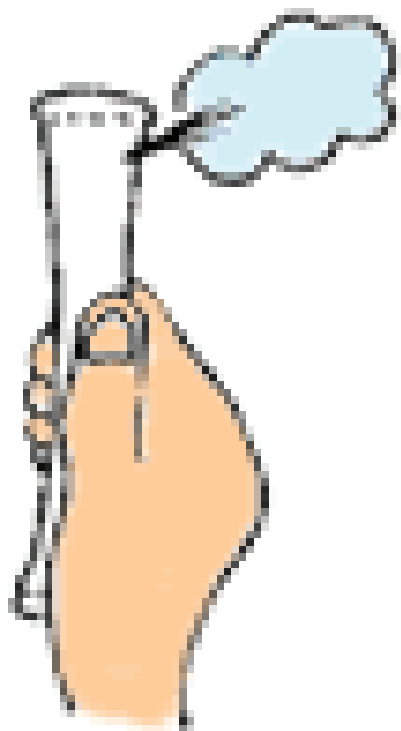
くすいが、どんな色に変化するのかをよく見てい
ます。〈時間は、あっという間の20秒〉
まん中の「7.0」くらいがちょうどいい。

空気をぬいて、中に水を入れる。
時間がたったの20秒だよ。気をつけて。

1



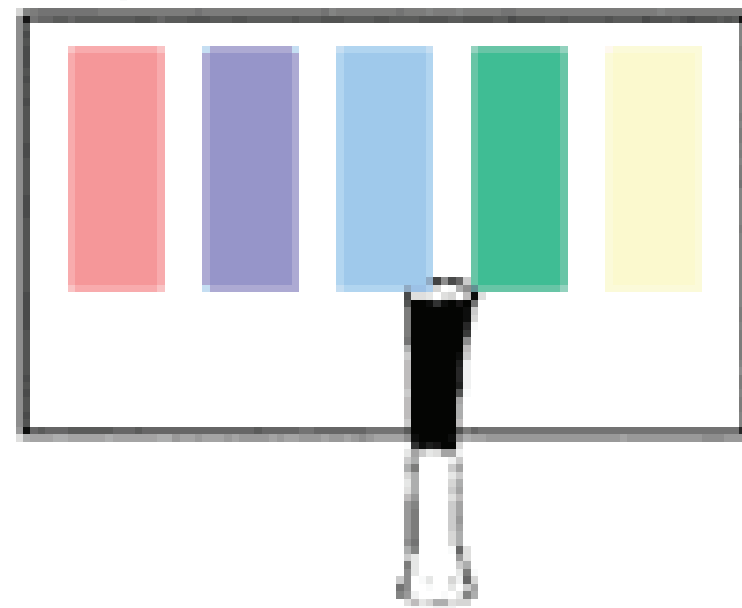
2



3



4



**それでは、水質検査に行ってください。
きろく用紙は生活科バックにはさめて！
時間のある時に、きろく係さんに結果を
うつさせてもらおう。**



きかかんこの川と

友だち②

きかんこの川と

友だち③

この前は、
きかんこの川がきれい
どうかを、
くすいでしらべたね！

シーオーディー

COD

川をよごす
「ゆうきぶつ」の多さ

エヌエイチフォー

NH4

おしっこにふくまれる
「アンモニウム」の多さ

ディーオー

DO

「さんそ」がたくさん
はいっているかな

ペーハー

PH

酸性・中性・アルカリ性
飲み水に近いのは？

グループの中で、
どんなけっかにな
ないましたか？

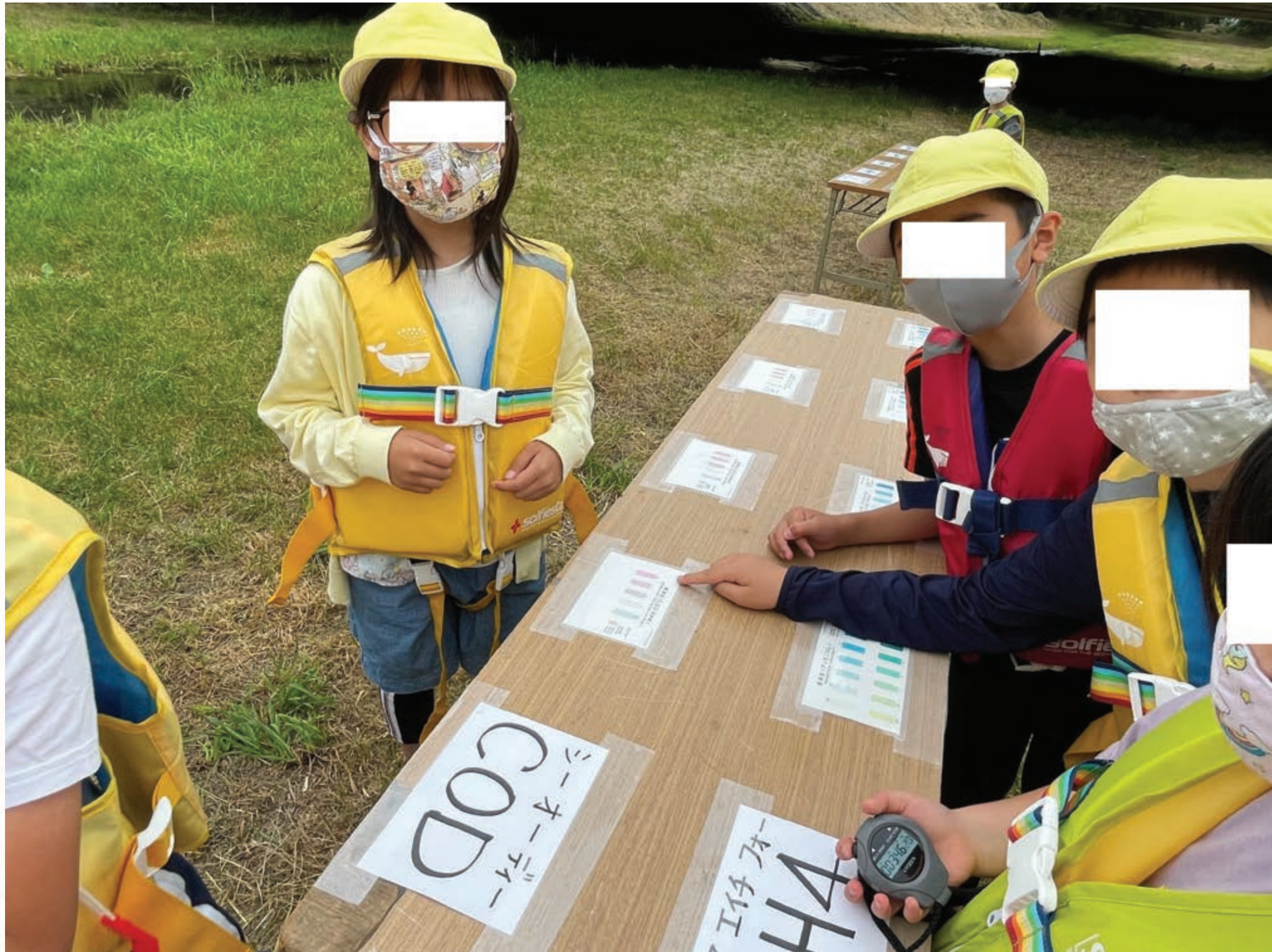












さて！

今、みんながで

しらべている

ことは……？

「きかんこの川」は
清流なのかどうなのか



今日は,

べつの方法で

しらべてみよう!

水の中にいる
魚やザリガニ、



小さなこん虫たち、貝などを

すい せい せい ぶつ

水生生物とよびます。

水生生物は、



きれいな水にしか生きられない
ものや、よごれた水でも生きる
ものなど、いろいろです。

だから、

どんな水生生物が

すんでいるのかをしらべると、

水がきれいなのか、よごれて

いるのかがわかります。

たとえば、
このこん虫は、
ヒラタカゲロウくん

きれいな水がすきだから、
きれいな水に
すんでいるよ！



たとえば、
このこん虫は、
エラミミスくん

きたない氷に
住んでいることが
多いかな…。





指標生物

すんでいる生きものの種類で川のきれいさが分かるよ

● きれいな水 ● 少しきたない水 ● きたない水 ● 大変きたない水

きれいな水(水質階級Ⅰ)の生物一覧



水は透明で、川底まで見え、みなさんが川の中に入って遊びたいくなるようなところです。川底には石がたくさんあります。また、川岸には植物があり、日陰もあります。

カワゲラ  詳しく見る	ヒラタカゲロウ  詳しく見る	ナガシトビケラ  詳しく見る	ヤマトビケラ  詳しく見る	ヘビトンボ  詳しく見る
ブコ  詳しく見る	アミカ  詳しく見る	サワガニ  詳しく見る	ウズムシ  詳しく見る	

少しきたない水(水質階級Ⅱ)の生物一覧



周りには田んぼがあって、水がやや濁(にご)っているようなところです。川中の石を持ち上げるとたくさんの生きものを見ることができます。海の水が混じっているところでも、石のあるところをさがしてみましょう。

コガシマトビケラ  詳しく見る	オオシマトビケラ  詳しく見る	ヒラタドロムシ  詳しく見る	ゲンジボタル  詳しく見る	コオニヤンマ  詳しく見る
ヌジエビ  詳しく見る	ヤマトシジミ  詳しく見る	イシコキガイ  詳しく見る	カワニナ  詳しく見る	

きたない水(水質階級Ⅲ)の生物一覧



排水路(はいすいろ)が川につながっていたり、周りには多くの人家がみられたりするようなところです。川底は泥っぽくなっています。海の水が混ざっているところでは、底の泥の中までよくさがしましょう。

ミズカマキリ  詳しく見る	タイコウチ  詳しく見る	ミズムシ  詳しく見る	イソコップムシ  詳しく見る	ニホンドロコエビ  詳しく見る
ウニシ  詳しく見る	ヒル  詳しく見る			

大変きたない水(水質階級Ⅳ)の生物一覧



周りには工場なども多く、人がたくさん住んでいるようなところです。川岸が壁(かべ)のようなコンクリートや鉄でつくられていたりします。川の水は灰色っぽく濁(にご)っていて、ゴミなどがたまりやすくなっています。

オスジゴスリカ  詳しく見る	チヨウケ  詳しく見る	アメリカザリガニ  詳しく見る	サカコキガイ  詳しく見る	エラミミズ  詳しく見る
--	---	---	---	--



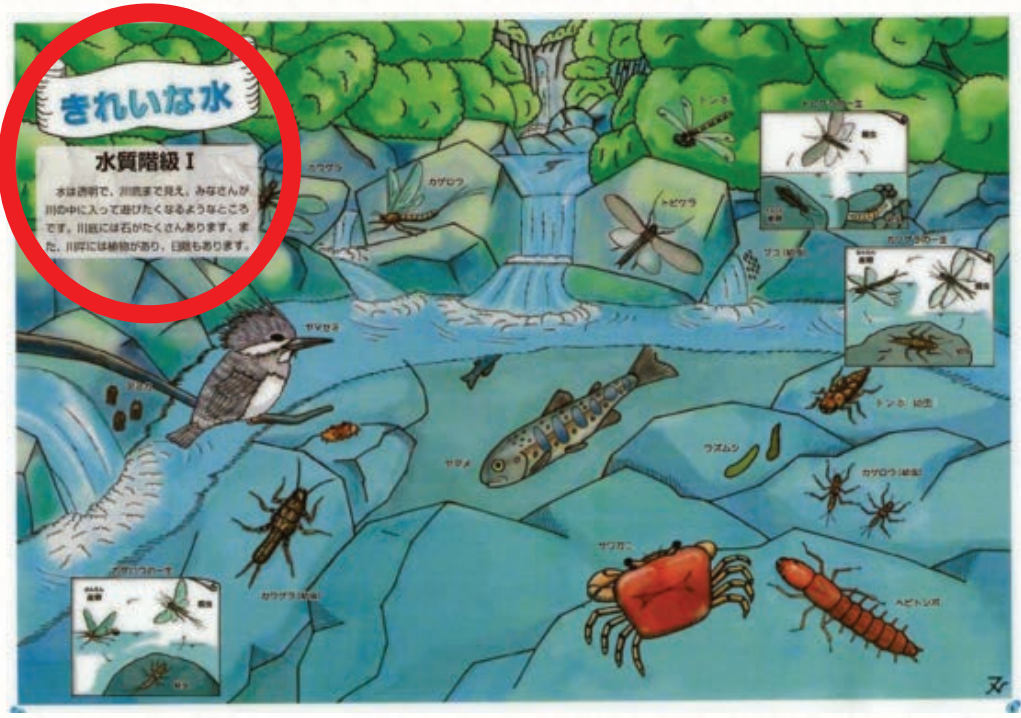
※写真提供：大阪府立大学 岩田 一三 / (社) 淡水生物研究所 / 福岡県保健環境研究所 / 横浜市環境科学研究所

この“めじるし”となる

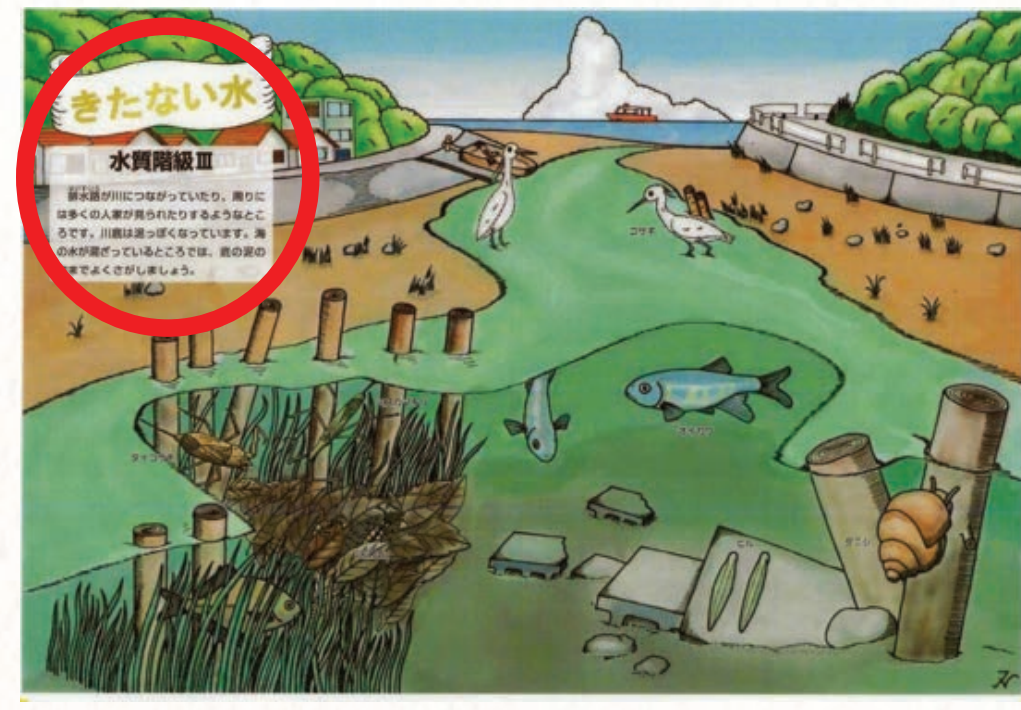
こん虫は、

29ししゅるし!!!

どのこん虫が多いかによって、



4つのミニチュア（やま）がでる。みん。



川の専門家の人も、

①くすいを使うじっけん
(パックテスト)

②水生生物のちょうさ

この2つをかならずします。

きかんこの川には
どんな水生生物が
いるのかなあ？



**みんなも、
水生生物の
ちょうさを
やってみよう！**



①ふくそうは、

水に入るふくそう、水に入るくつ

②もちものは、

たんけんバック・筆記用具・記録用紙

ぬれたくつを入れるふくろ

(の中に、タオルを入れよう)

ちゅうい！！

ちょうさのとき、

虫めがねを

つかいます。



きかかんこの川と

友だち③

至誠を貫く

NO. 24

郷土体験学習に行ってきました

7月5日（金）に、下水処理センター、クリリンセンター、JA川西の長いも選果場の3つの施設の見学をしてきました。それまで、社会科でそれぞれのことを学んできて、ノートにまとめてきましたが、実際に見学することで、習ったことが実物や映像とマッチングして、本当の学んだ知識となる機会です。このような場所で働いている人たちのことを考えながら、いろいろなことを学んできたと思います。ご家庭でも、「どんなことを教えてもらったの？」と声をかけてください。見学のしおりに、いっぱいメモをしている人たちがいましたので、どんなふうに答えられるのか楽しみです。

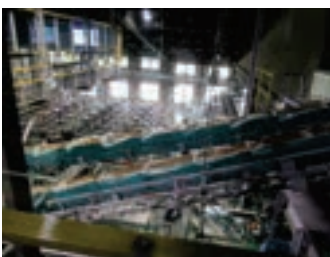
まずは下水処理場。ここでは、微生物の力を借りてきれいにしていくことと、乾燥させてにおいも取り除き、たい肥として生まれ変わることを学びました。



次に向かったのは、クリリンセンターです。ここでは、燃やすごみや、燃やせないゴミ、リサイクルごみなどを分別しています。燃やすごみは800～900度で燃やし、池田町にある最終処分場に埋めることを学びました。燃やすエネルギーも、自家発電に使ったり、北電に売ったりして、有効活用されています。子どもたちを通して、各家庭にお願いの話もあるので、聞いてくださいね。



午後は、長いもの選果場です。担任のぼくたちも初めての見学です。帯広に住んでいて、長いもは食べていても、その選果の作業場を見たことがなかったので興味津々です。若いJA職員が、丁寧に説明してくださり、また、巨大冷蔵庫や選果をしているところ（一部がオートメーション化）が見られ、この仕事に興味を持った子もいたようです。



至誠を貫く

NO. 20

水道出前講座～帯広の上下水道を学ぶ

18日（金）の2校時に、帯広市上下水道部の方々による「水道出前講座」を理科室で行いました。先週でもお話ししたように、社会科で学んだことの復習ともなるこの学習は、今年度最初の外部の方から学ぶ学習でもありました。頻りにクイズがあり、飽きないように工夫されたもので、45分を楽しんで学習していました。最後には、〇〇さんと〇〇さんが、この時間で学んだ感想を、水道部の方々に話しました。6校時には、全員がこの学習についての感想を書きました。みんなしっかり学べたことを書いていました。



ポンポンづくりも始まりました

7月9日のスポーツ参観日に向けて、いよいよポンポンづくりを行いました。ダンスチームは、〇〇先生が伝授した方法を1組のみんなに説明し、近くの子たちで協力して分担しながら作っていました。私も3時間の社会科の合間に抜け出し、ポンポンづくりの様子を見させてもらいました。協力している姿が、とても微笑ましかったので、思わずカメラを向け写真を撮りました。



至誠を貫く

NO. 49

防災教室～避難の仕方・搬送の仕方・汚物処理を学ぶ

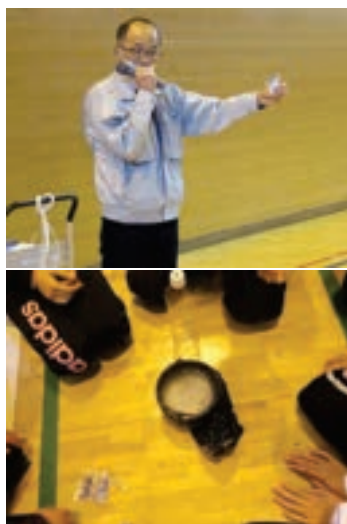
13日（月）に、帯広市職員の〇〇さんを招き、4年生の「防災教室」を行いました。最近では、帯広南部から十勝南部にかけての強風による停電や、ブラックアウトなど、災害による避難をすることもありうることをまず学びました。その目安となる数値は、帯広市が出している「ハザードマップ」に詳しく載っています（各家庭に配付されているので、各家庭で復習することを指導されています。）。もし、資源ごみで捨ててしまっていたら、インターネットで、「帯広市 ハザードマップ」と検索すると、「洪水ハザードマップ」「防災マップ」がヒットしますので、それを参照ください。この清流地区は、水害の被害が想定されているので、しっかりと家族が認識しておく必要があります。



学んだ後は実習です。防災倉庫の中にある道具や食料について説明を受けた後、担架で人が運ぶ方法や、担架がない時、代用の毛布で運ぶ方法を学びました。



最後は、避難所のトイレの後始末の方法です。避難所も各家庭と同じ水洗トイレなので、電気が通らないと水を流せません。停電の時は、袋を便器に付けてから用を足し、市販の凝固剤を使って（1回100円程度）使用後に固めます。この日は、500mLの水を尿の代わりにして、容器に袋をかぶせ、500mL全部入れ、凝固剤を入れました。すると、見る見るうちに固まっていく姿が見られ、科学好きの子どもたちから「(ノ・ω・)ノ オオオオオ」っと、声が出ました。固まった水？は、燃えるゴミに捨てました。



学ぶことの多い防災教室でしたが、いつ起こるかかわからないことなので、みな真剣に学習していました。



おもしろがる

郷土体験学習 ☆ おべんとうありがとうございました

十勝川流域下水道浄化センター、くりりんセンター、長いも選果場（川西農協）の3か所で学習してきました。浄化センターでは、においのある濁った水が、においのない透明な水になるまでを、見学しました。家庭で使われた水が、12～14時間で川に流せるようになるそうです。くりりんセンターでは、3tのごみを掴めるクレーンなどを見ました。敷地内の芝生で、おべんとうを食べました。川西農協では、機械化された長いもの選別や箱詰めなど出荷の流れを見ました。子ども向けの見学案内デビューだった農協職員の「きたさん」とすっかり仲良くなり、盛り上がった2組の子たちでした。

きたさん→



おもしろがる

☆水の循環についての学習☆

先週の金曜日、しずさん（穴戸先生？）と水の循環について学習をしました。

さいころを10回振り、理科や社会で学んできたことを基に、水がすがたを変えて循環することをストーリーをつけてまとめました。「湖→動物→土→地下水→地下水…」などと、出た目の順に10回書き、「湖の水を、のどが渴いた小鳥が飲みました。小鳥はフンをしました。…」のようにストーリーを作ることによって水が絶えず循環し続けることを学びました。



4グループに分かれて、ストーリーを発表しました。「氷河→氷河→川→氷河…」みたいな子もいて、盛り上がりました。

「人間は自分の意志で好きなところに行けるし、とどまることもできるのに、水はこれをずっと続けていてすごいと思った。」などと水の偉大さを感じる子どもも多くいました。



おもしろがる

水道出前講座より

先週の金曜日、帯広市上下水道部の職員の方々に出前講座を行っていただきました。社会科で学習した「水の循環」についてや帯広市の上下水道についてなど、クイズも交えながらわかりやすく教えていただきました。専門の方からの話を聞くと、改めて授業で学んだことが深まり、実りある時間になったようです（社会の学習で子どもたちは〇〇先生と一緒に受講しました。私も少し様子を観に行きました）。写真は〇〇先生撮影です。いつもより姿勢も手の挙げ方もよく見えます。ぜひ、ご家庭で、お子さんからクイズを出してみてくださいね。



コロナの状況にもよりますが、7月2日（金）に郷土体験学習、9月3日（金）にはバス学習で、社会科で学習した施設に行きます。一日様々な施設に行くので、その日はお弁当がいります。準備をお願いします。



水泳授業がはじまります

2年ぶりの水泳授業が今週の木曜日にあります。

水の授業という点でも、コロナ禍という点でも、安全第一で授業を進めていきます。

体調不良やコロナ禍での心配等で、見学をする場合は、必ず保護者の方から連絡していただくようお願いいたします。連絡帳や電話でお知らせください。

持ち物の言葉掛け

ありがとうございます！

習字セットや絵の具セット、ボンドなど、いつも誰かに忘れものがあつたのですが、粘土の学習の時に全員揃いました！ありがとうございました。続くといいなと思います。



スマイル

令和3年度 豊成小学校
4年3組 学級通信
担任 ○○ ○○○
R3.7.5. 20号

郷土体験学習「十勝川流域下水道浄化センター」



郷土体験学習で「十勝川流域下水道浄化センター」へ行きました。みんなが使用した水をきれいにして川に戻したり、堆肥にしたりすることを詳しく学びました。一番困るゴミは「油」ということでした。お家の人にも伝えてくださいとのことでした。たくさんのことを学んできましたので、是非お子さんに聞いてみてください。

いちばん困る
油のかたまり



☆くりりんセンター☆

「くりりんセンター」では、家の人と来たことのある人もいて、興味深く説明を聞きメモしていました。24時間ゴミの処理をしている話を聞いて「自分たちが寝ている時間も仕事をしてるんだ。ゴミを減らさないで！」また、「ごみのことを考えたことがなかったけど、たくさんのゴミが出ているから、物を大切にしないといけないんだ！」など友達と話している声が聞こえてきました。学んだことを通して今後の自分がどのようにしていくのかをしっかりと考えながら学ぶ姿が素敵でした。



❖長いも選果場❖

「川西の長いも」について、詳しくなった子どもたち。大きな大きな冷蔵庫の中に長いもがたくさん保管されていてその多さや海外にも輸出されていることにびっくり!!最後の質問コーナーでは、感想発表で3組から3名の方が発表しました。その内容が大変素晴らしく担当の方から大きな拍手を頂き、「みなさんと勉強できて、本当に良かった。また、来てね!」温かい言葉を頂きました。

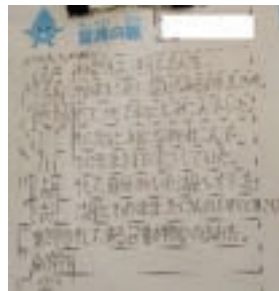


スマイル

令和3年度 豊成小学校
4年3組 学級通信
担任 ○○ ○○○
R4.3.17.61号

◇◇◇水のすがた「驚異の旅」◇◇◇

月曜日の理科は、宍戸先生が理科で学習した「水のゆくえ」の発展内容を行ってくださいました。「驚異の旅」というタイトルでみんなが『水のしずく』になって旅をしながら学ぶ学習です。宍戸先生の「私は、しずくさんです！！」という始まりにみんなにこここしながら楽しそうに取り組みました。「水のしずく」は、川へ行ったり、海に行ったりしながらワークシートに旅の様子を記録しました。後半は、グループでどんな旅をしたか発表し合いました。「水のしずく」は、温められたり冷えたりしながら「すがた」を変えて旅したことを楽しく学ぶことができました。



さん！新しい学校でもがんばってね！

スマイル

令和3年度 豊成小学校
4年3組 学級通信
担任 ○○ ○○○
R3.6.21. 16号

◇水道・下水道の出前講座◇

先週の金曜日、帯広市上下水道部の職員による「水道・下水道」の出前講座が行われました。私たちの生活に欠かせない水道・下水道について「社会」で学んだことを踏まえ、更に詳しく映像やクイズなどを通して学びました。振り返りの時間には、これから水を大切にすることや今日の話の家の人にも伝えることを書いていました。水道・下水道について詳しくなった子どもたちに是非いろいろと聞いてみてください。



令和3年度 交通安全指導割り当て(決定版)

令和3年度の交通安全指導割り当てが決まりました。お忙しい中、ご協力いただき本当にありがとうございます。決定した割り当て表を裏面に印刷してあります。ご確認ください。

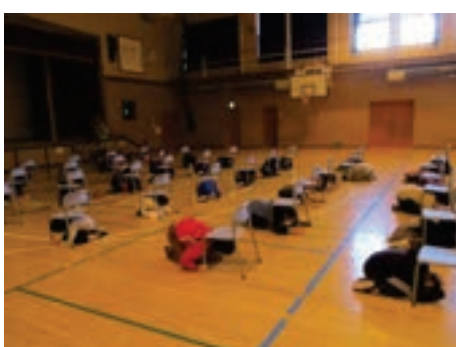
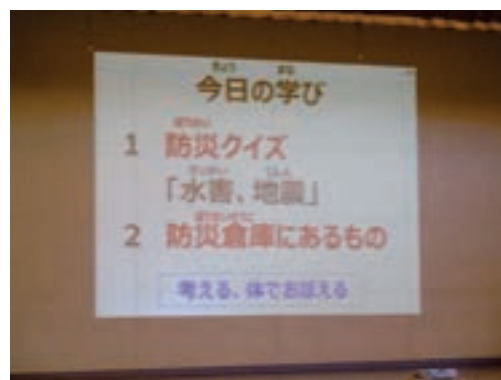
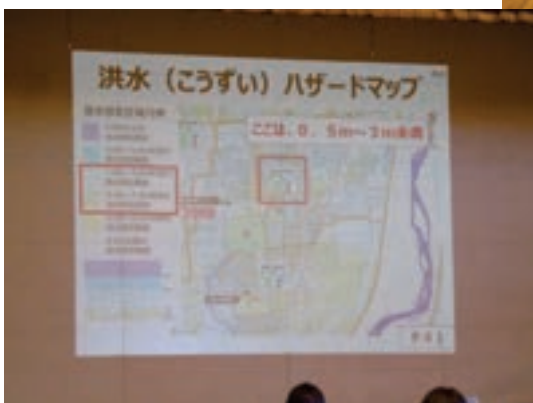


スマイル

令和3年度 豊成小学校
4年3組 学級通信
担任 ○○ ○○○
R3.12.15.46号

☆防災教室「おびひろ市民学」☆

版画の印刷をしました。グループの友達と協力しながら新聞紙への試し印刷から2枚の清書への取り組み方を説明しました。4年生で初めて自分で印刷をします。緊張しながらも楽しそうにローラーでインクを延ばし滑らかにして版画の板に均等に塗っていました。グループの友達が二人で印刷用紙を持ちそっと息を合わせて板に載せるなど声を掛け合いながら完成しました。素敵に仕上がった作品に満足な表情をしていました。1枚を学校に掲示し、1枚は持ち帰ります。素敵な作品なので是非飾っていただけたらと思います。





水のゆくえ

きょうい たび 驚異の旅

名前

しずくになって、旅に出よう！

1	湖	私はしずくです。今は湖、湖月になってひとやみ中です。おとたれかりのみにまわってしましました。
2	動物	私をのみ込んだのは、ねこさんでした。私とねこがおいしそつにのんでくれておもしろいからです。
3	雲	湖になり私はねこさんのあそびとなり雲になることになりました。ねこさんはおもしろいおもしろいから。
4	湖	楽しみにしていたらおまかのもついたおまかき「おまかき」。ちよと「おまかき」けど今は楽しんで！
5	雲	10月になり台風が湖をおそいました。私はいよいよけんがいこけました。雲にまわられてしまいました。
6	海	たどつづいたのは、大きな大きな海でした。台風のえいきょうでかかれおまかきか「おまかき」は。
7	海	私は決めました。しばらくここに居ることにしたので「す」。
8	海	またどこかに行こうかな。そう思うこともありました。でもどこにも行けなないので「す」。
9	海	ずっと海にいることはできませんが今を楽しもうと思ひました。
10	海	私はこれからは旅をつづけます。まげんの水のじゅんかんをくりかえします。

【ふりかえり】

水について物語を通してよく分かりました。また、しずくさんのおかげで「も」ともと水のすごさが分かりこの勉強をしなかつたと思ひました。おかげどうござりました。

うらなづく



水のゆくえ

きょうい たび
驚異の旅

名前

しずくになって、旅に出よう!

1	川	川にいました。
2	動物	川からさるになりました。
3	土	さるのよだれが土にたれた。
4	地下水	よだれが土にたれて地下水に入った。
5	地下水	地下水のままだった。
6	湖	地下水の水が湖の水に流れていた。
7	雨 / 雲	じょうろして雲になった。
8	雨 / 雲	雨のままだった。
9	海	雲が山にぶつかって川になって海になった。
10	雨 / 雲	じょうろして雲になった。

【ふりかえり】

しずくをして物語を作るのが楽しかったけど、しずくさんはとても大変だと分かりました。しずくさんは川や地下水や湖や雲や海にいろいろなところをいってとても大変な気持ちで分かりました。この勉強をいよがたに思いました。



水のゆくえ

きょうい たび
驚異の旅

名前

しずくになって、旅に出よう!

1	雲	じょうろで
2	湖	湖にふり注いで
3	川	川まで流れて
4	雲	またじょうろで
5	湖	湖にふり注いで
6	雲	またじょうろで
7	海	海にふり注いで
8	雲	またじょうろで
9	土	土にふり注いで
10	川	たまたま川にたどり着いた。

【ふりかえり】

しずくは無限にじわ
わんしていることにおどろきました。



水のゆくえ

きょうい たび
驚異の旅

名前

しずくになって、旅に出よう!

1	植物	植物にしいた。
2	雲	じょう発した。
3	海	海にしいた。
4	海	海から動がなかつた。
5	海	海のみ。
6	海	また海のみまたた。
7	海	また海のみまたた。
8	雲	やとじょう発して雲になれた。さん。
9	海	また海に行つた。悲しい。
10	海	海にのこつた。

【ふりかえり】

他の人の発表を聞いておもしろいと思いました。
今までより、色々な水のゆくえがあつたから勉強になりました。水のたびいんさか分がりました。水が行く場所はほぼくりかえしているということを知ることができました。



水のゆくえ

きょうい たび 驚異の旅

名前

しずくになって、旅に出よう！

1	雲	雨になって川にながされ川になった
2	川	どろどろながれは、下水道になった。
3	下水道	またながされ湖になった。
4	湖	そして、凍って雲になった。
5	雲	雨がふらず、雲と雲と。
6	雨	そしてとうとう雨がふって土にしみ込んだ。
7	土	土の中におった。
8	そのま	そして川にながされ雲になった。
9	雲	雨がふりかかてこおりうす、河にかた。
10	氷河	

【ふりかえり】 水は、重た荷物や、湖、雲などに
 いろいろな場所をいどうして大変な人
 だなと思いました。
 しずくさんのたびは、まだまだ続く...



水のゆくえ

きょうい たび
驚異の旅

名前

しずくになって、旅に出よう！

1	動物	うさぎはトイレをした。
2	土	フンから木が生えて土にしみこんだ。
3	植物	フンからの水で、植物が育った。
4	雲	植物の水は海に流れて雲になった。
5	湖	雲は雨をうらせ、湖ができた。
6	湖	湖の水は流れてまた湖ができた。
7	湖	湖のまま...
8	湖	湖をそのまま泳いでいる。
9	湖	まだもどれないかな。
10	地下水	湖の水が土にみこんで地下水になった！

【ふりかえり】

しずくさんになってみて、水って世界中をむけず
大に流れることなくまわっていることがツブツブ
水は大変なんだなと思いました。あしづかんを続け
ることも分かりました。



水のゆくえ

きょうい たび 驚異の旅

名前

しずくになって、旅に出よう！

1	川	私は、川の水のよう精?でも、何か体温が低
2	湖	何か自分が動いてる、すいこまれているのがあ
3	川	あれ?おさま...もど、たみたい、私はほ、として
4	雲	そして気づいたら空の上にあった!ここは雲だ、
5	氷河	雨がふり私は落とされた。しかも、とても寒い
6	雲	そしてふわふわしたくう間...雲だ!と思、たら
7	土	ちょっとホロッとした感じ...土?そう考えている
8	植物	私は土の水分のまま、植物にの、かた...お
9	雲	そして雲についていた。雲が、ちょっとつかれた
10	土	また土にいた。これび私の生活は終わり、今

【ふりかえり】

しずくさんになって、水は行ったりきたり大変だったんだ。と思いました。あと、すごろくをするまでは氷河と水は関係ないかな、と思、ていたけれど、すごろくをしてから氷河と水は関係しているんだとい、うことがよくわかりました。



水のゆくえ

きょうい たび 驚異の旅

名前

しずくになって、旅に出よう！

1	川	私は、川の中にいるしずく。
2	動物	動物は川の水を飲まれて、動物の中に入った。
3	雲	動物が尿をかくいて、じょう発してくもになった。
4	土	雲が雨をうらせて、土の中に入ったよ。
5	雲	じょう発して雲になっちゃった。
6	海	くもが動いて、海の上で雨をうらせて、海の中におちたよ。
7	雲	じょう発して雲になっちゃった。
8	海	その雲がまた雨をうらせた。
9	雲	じょう発して雲になっちゃった。
10	湖	い動して、湖に来た。

【ふりかえり】しずくさんはすごいと思いました。旧に何か所も回っていてそれを50年やっていたとすごいなと思いました。それに、1か所にとどまるときもあるのに、ひまてしようかすいときもそこにとどまっているので精しんをたえらるるのですごいと思いました。最初は、しずくさんがすいと思っていながら、すいすいおのちをしたら、しずくさんがすごいと思いました。



水のゆくえ

きょうい たび
驚異の旅

名前

しずくになって、旅に出よう！

1	植物	木に雨がふった。
2	雲	そこから川になって、海にもどって雲ができた。
3	雲	でれな
4	湖	雨になって湖にふった。
5	雲	じょう発した。
6	海	また雨になって海にふった。
7	雲	それがじょう発した。
8	海	また海にもどってきた。
9	海	でれない
10	海	でれない

【ふりかえり】

水は、雲や湖など、色々なところにあるとわかった。
水は、何回もじゅんかんして使われているとわかった。
しずちゃんの話聞いて、水は、ぐるぐる大変だなと思った。
植物から、雲になったり、海にもどったりして楽しかった。
も、と水についてくわしくなりたい。



水のゆくえ

きょうい たび
驚異の旅

名前

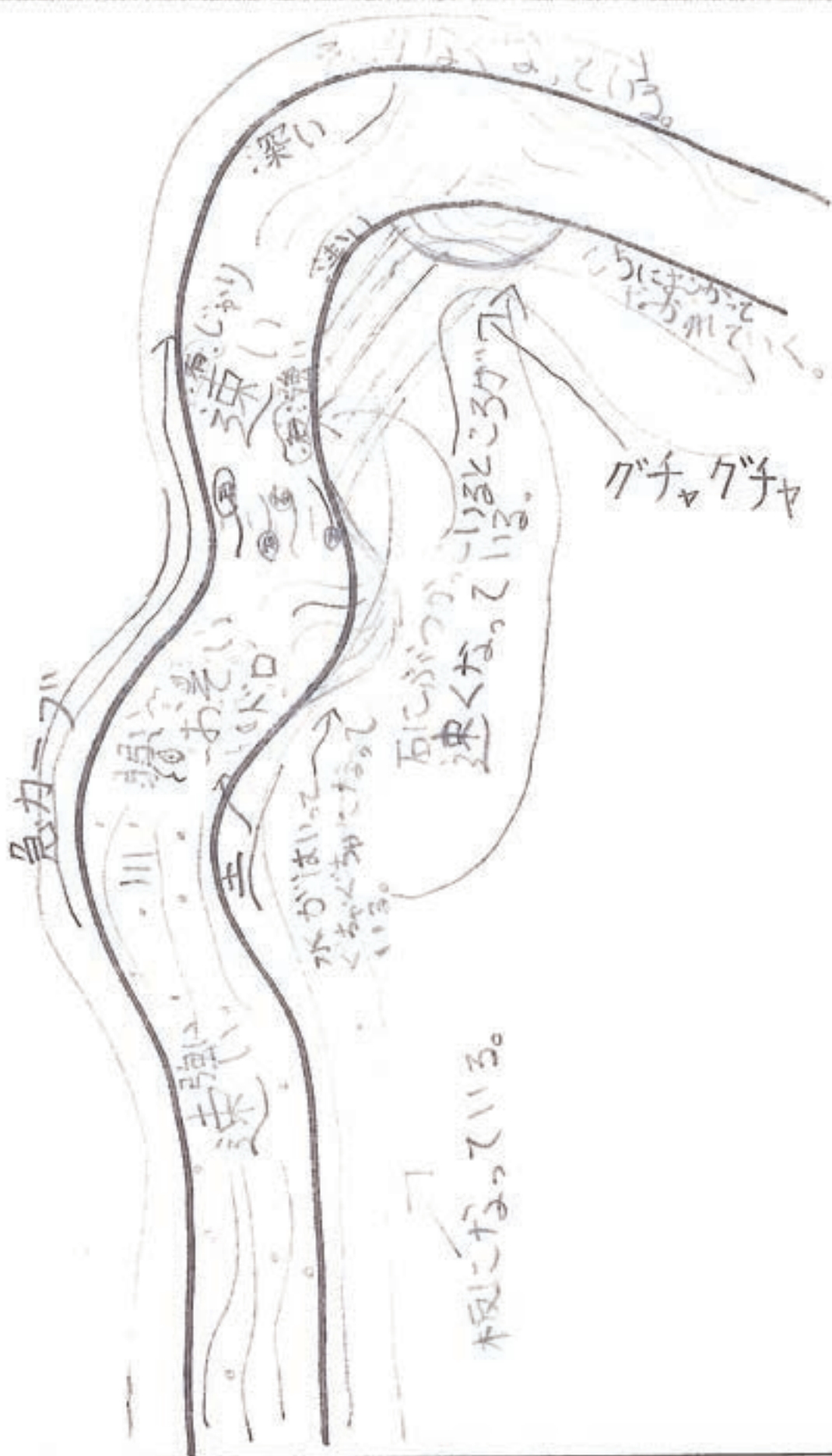
しずくになって、旅に出よう！

1	地球	ながながれて
2	湖	土の中に入て
3	地球	またながながれて
4	湖	じょう裂して雲になった
5	雲	雨が降って土の中に入て
6	土	じょう裂して雲になって
7	雲	雨が降って湖にたまって
8	湖	土の中に入て
9	地球	ながながれていて
10	湖	湖になった

【ふりかえり】こんなに水はいろいろな所にながれる法だと思いましたが、水のじょう裂はほとんど同じだと思っていただけにいろいろなパターンがあるなど思いました。

流れる水のはたらき

5年 2組 名前



流れる水のはたらき

5年 2組 名前
高林 茉歩希

どこからか速くなる場所がある。
雨から川の流れる速さが
速い。

川があさい。

川の周りも
もともとは川たっ
たのかな？

ここらへんはだんに
なっていた。

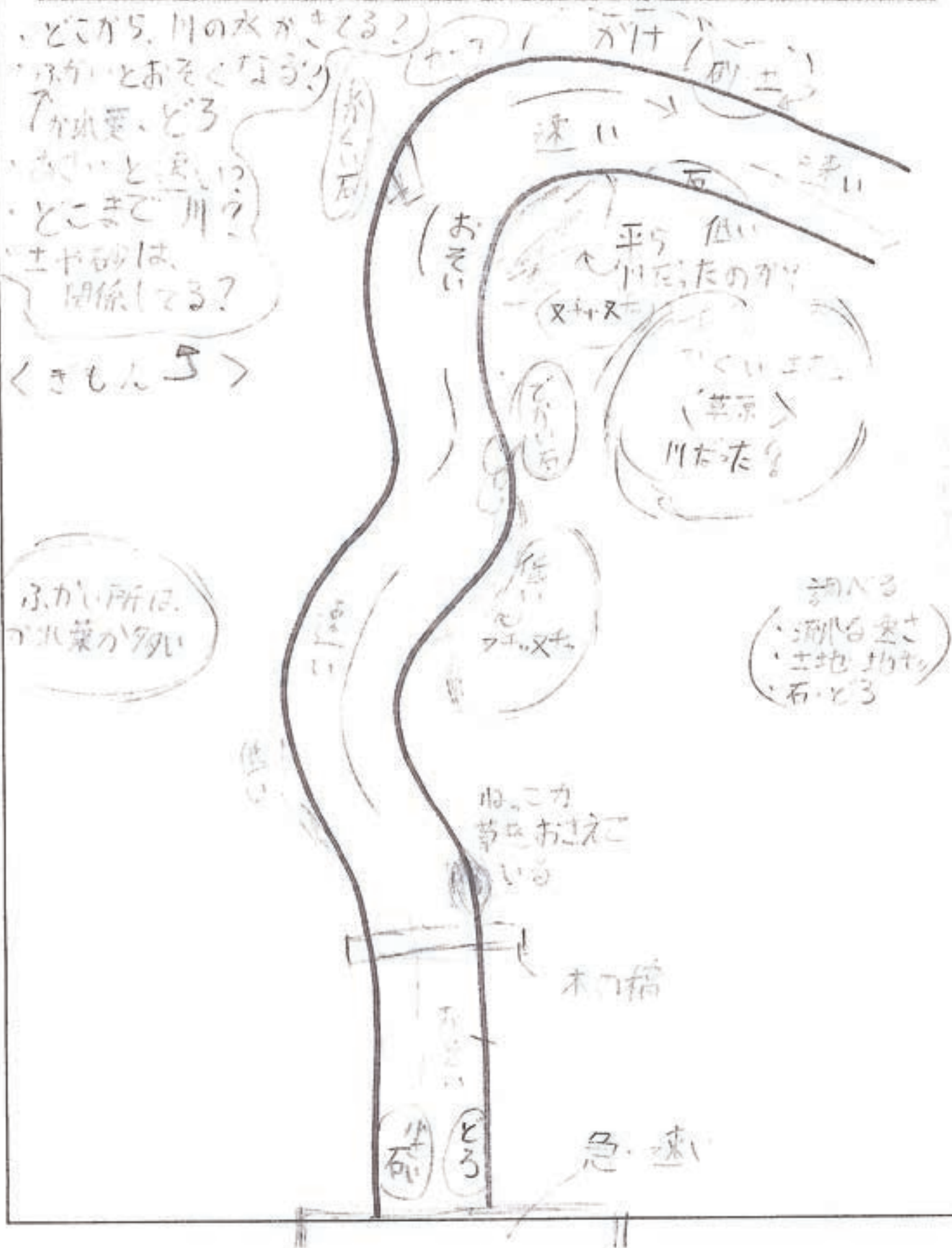
草のほうがどろで
間は石になっている。

草の流れが
川の流れと同じ。

ここらへんの草の間の
土はすこどろどろしている。

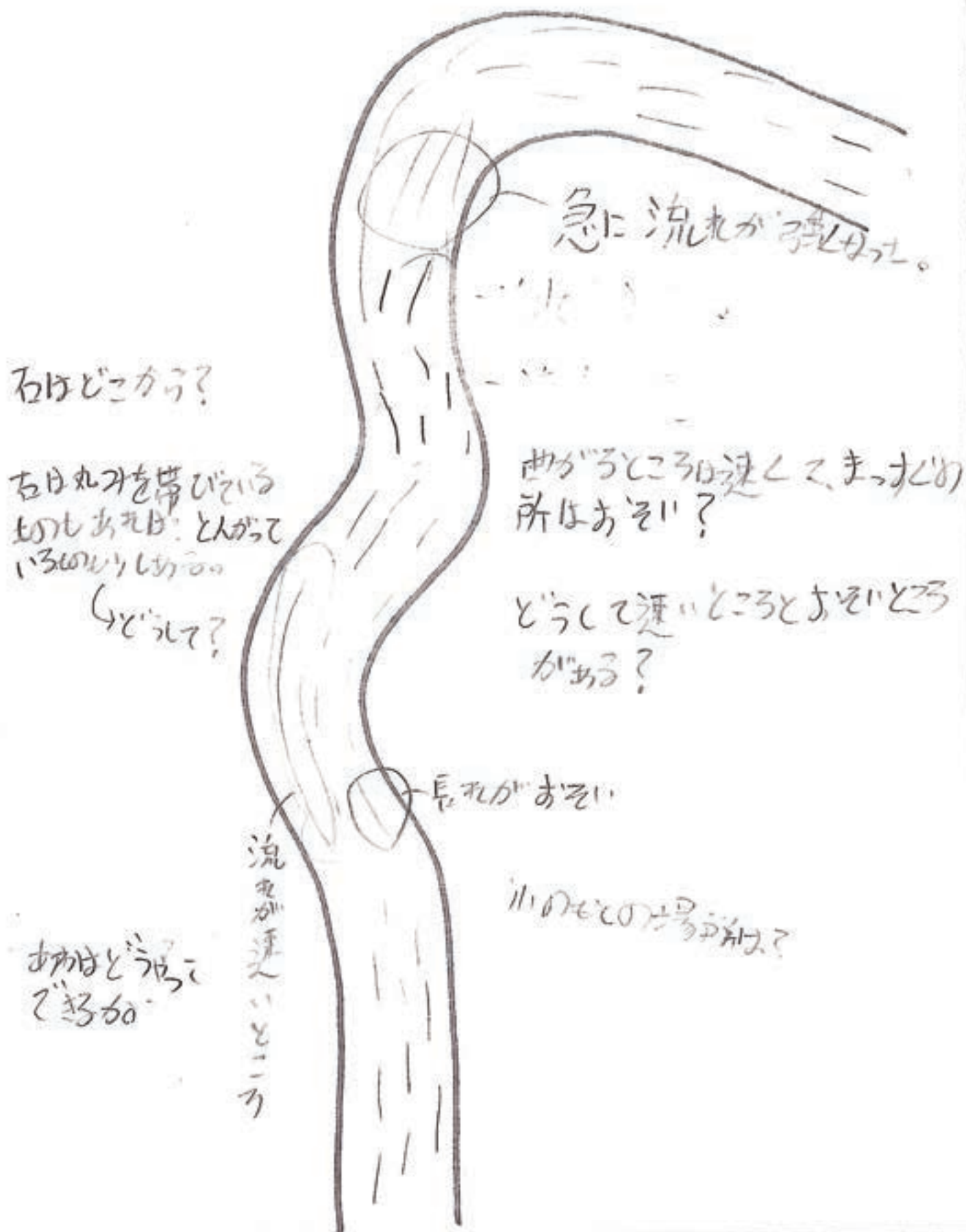
流れる水のはたらき

5年 (組名前)



流れる水のはたらき

5年 2組 名前



急に流れが速くなった。

石はどこから?

石は丸みを帯びている。
その丸みは、とががていすのせいがある。

↓どうして?

曲がるころは速く、まっすぐの所はおそい?

どうして速いところとおそいところがある?

流れがおそい

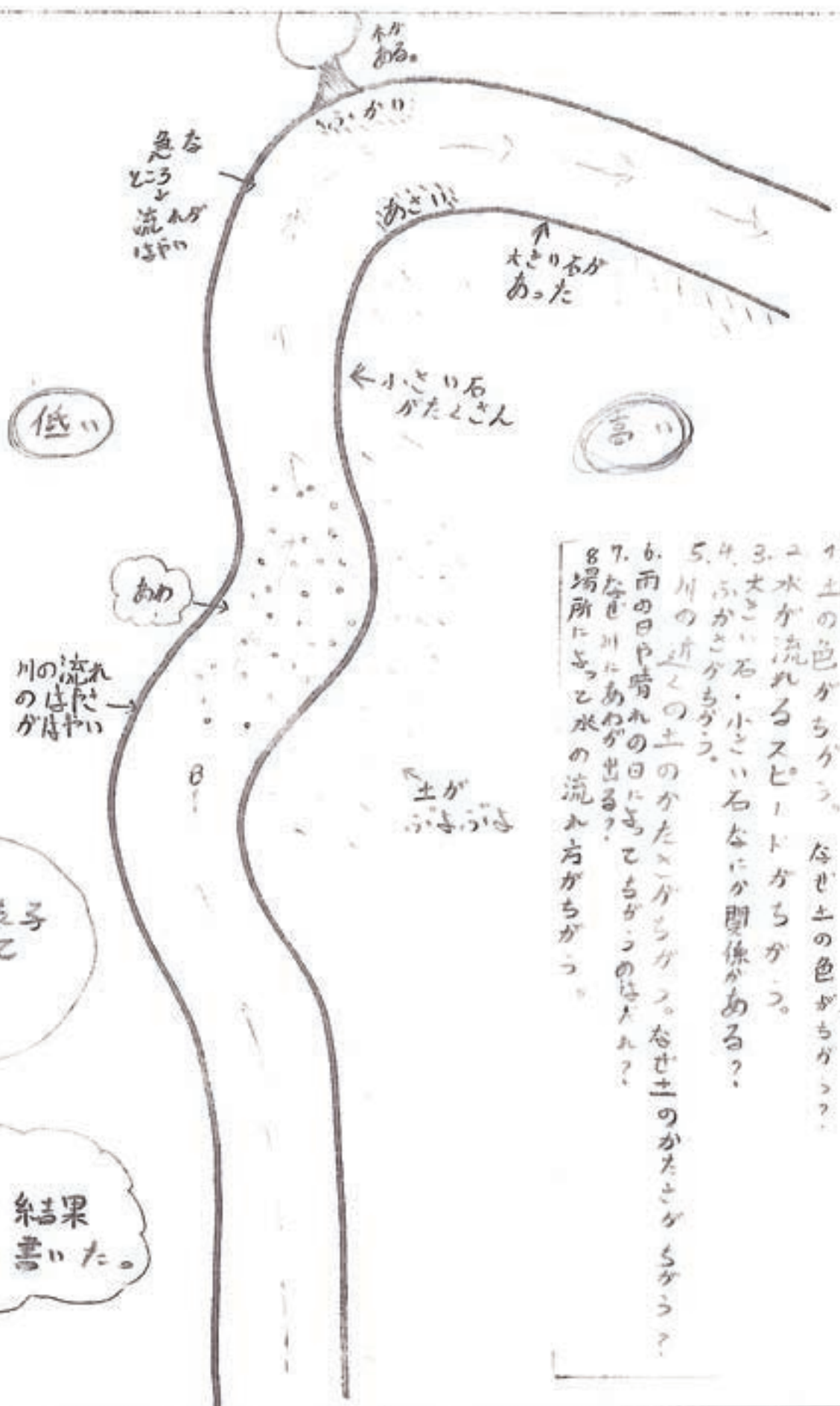
流れる速いところ

おかしなところがある

川のせせりやうが、

流れる水のはたらき

5年 2組 名前



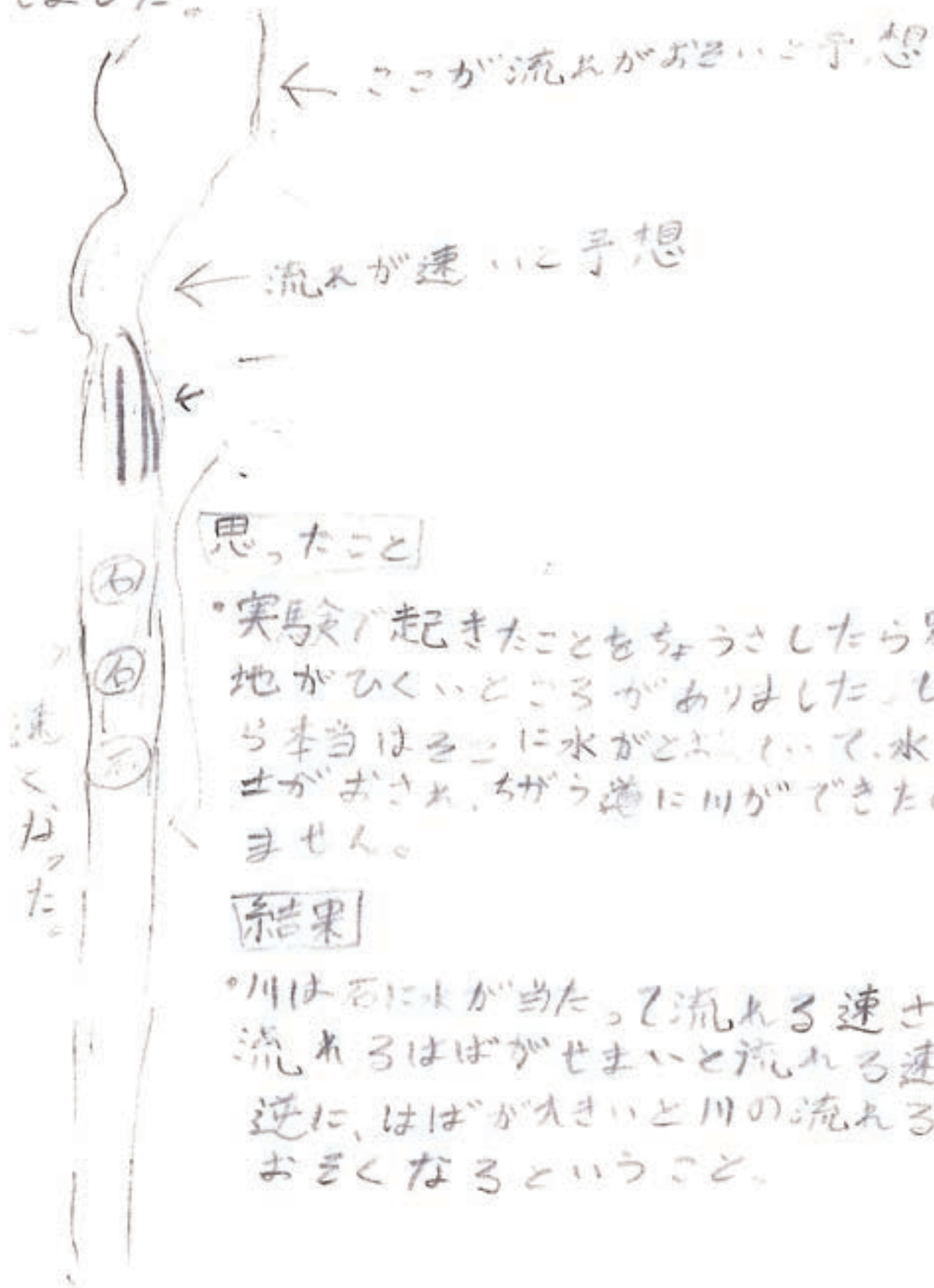
1. 土の色がちがう。なぜ土の色がちがう？
2. 水が流れるスピードがちがう。
3. 大きき石・小さき石になにか関係がある？
4. ふかさがちがう。
5. 川の近くの土のかた×がちがう。なぜ土のかた×がちがう？
6. 雨の日や晴れの日にもちがうのはなぜ？
7. なぜ川にあわが出る？
8. 場所によって水の流れるちがう。

流れの様子
について
実験

うらに、
実験の結果
を書いた。

まとめ

- ぼくが疑問に思ったことはなぜ川の流れる速さが違うのかです。
- ぼくの予想では、水の流れる川のはばがたと予想しました。



- 実験が起きたことをちやうさしたら別の道に、地がひくいところがありました。しかししたら本当はそこに水がとどいて、水がたまって土がおさま、ちやう道に川ができたのかもしれません。

結果

- 川は石に水が当たって流れる速さがまし、流れるはばがせまいと流れる速さがまし、逆に、はばが大きいと川の流れる速さがおそくなるということ。

わか、たことをまとめよう ()

しん食…地面をけずるはたらき

運ぱん…けずった土を運ぶはたらき

たい積…つもらせるはたらき

調べたこと



結果

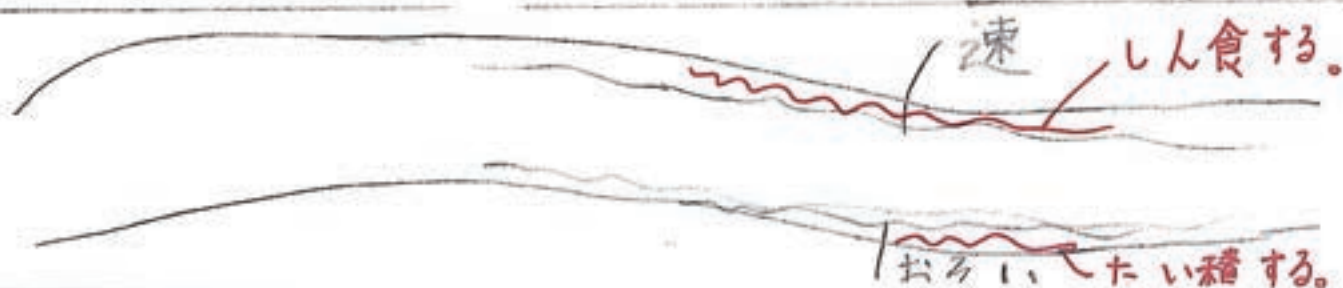
外側と内側はど
ちらが流れが速い
のか?

外…5.6秒
内…6.5秒
外側の方が流
れが速い。

分かったこと

(川の水が増えるとしん食、運ぱん、たい積
のはたらきが増える)

外側は流れが速く、地面がしん食
されて、流れがおそいゆるやかなところ
では、土がたい積する。



目的

おせいところと、ほげいところのつくちゅうをくらべて、ちがいをしろう。

つくちゅう

おせいと ほげがせまい、おちぼなどが たまっている あさし • ぞかい石がタタシ • ぬまが少し	おせいと ほげがひろいかたまり う、かし • 小さい石がタタシ • ぬまがタタシ
---	--

くらべる① | とくちゅうをしらべる

	石	ほ(お)	う、かさ	ぬま	おちぼ
ほげい とこ	大きい	せまい	あさし	少し	たまっ ている
おせい とこ	小さい	ひろい	う、かし	タタシ	たまっ てない

くらべる② | しん食、運ぼんたい積ほ、どつか、りゆう

しん食... おせい方がタタシ	う、かいということから、つちが 少ないから、しん食がタタシ
運ぼん... ほげい方がタタシ	おちぼといっしょに土もほこ はたまっているから
たい積... ほげい方がタタシ	あさしからつとっている と考えたから

わか

石、ほげ、う、かさ、ぬま、おちぼでくらべてみると、2つとも同じものがないということがわかる。

わかったこと
2つともちがう
ぎもん
同じのはないか。

おかげで、ことごとく、まじりかた。

(期間)

なせ低くなっているところがあるのか。

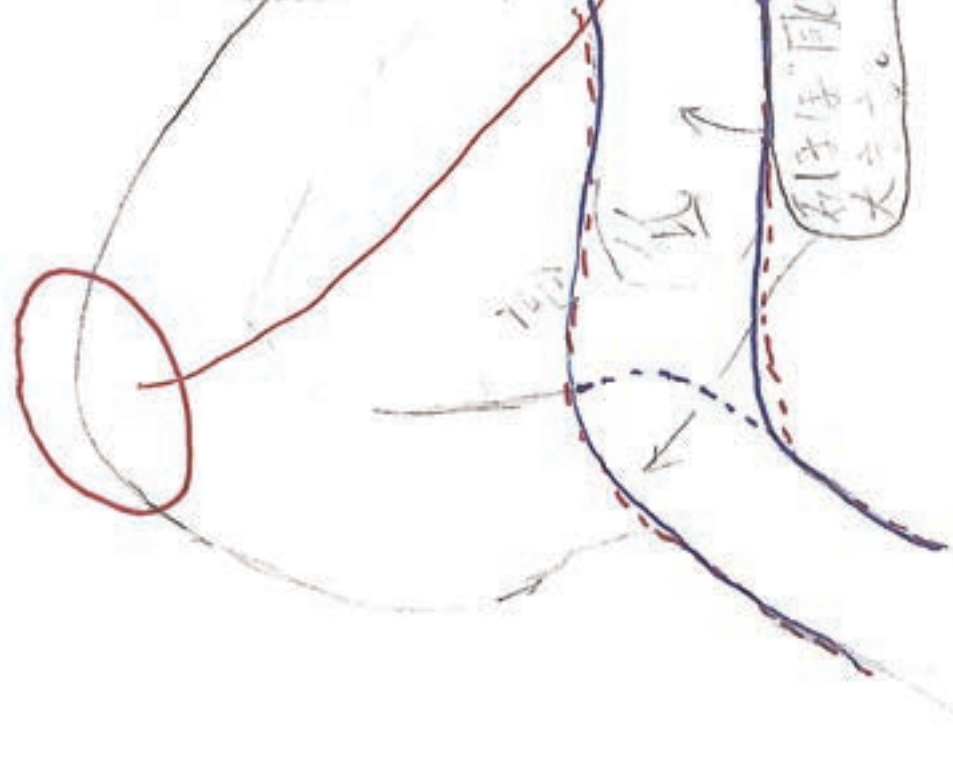
臭いこと

低くしている戸をほってみると、丸い形をした小い石
 がらこいといほったところにな、てそれと川の石
 とほぼ同じ大きさだったので、まかっているところから
 白い砂に川が流れて、いと考案し、
 覗いて川の流れてしん食がすみしすみとい高んまは
 吃して言い所は金い戸が、空がかけにまいている

ようにしん食で高い所は、低い戸が、いどいどいまは

思ったこと

おかげで、今流れている急カーブの戸が、しん食されていき月(よ)う浮
 利にまがるのか、なと考案して、ま





令和3年10月18日 No. 47

命の重さを感じて

全校のゆたかの輪を意識した取組



6年生は毎年、機関庫の川で他の学年が駆除した外来種のザリガニを堆肥化し、自分たちが使う畑にまき、その畑で育った作物を食べるという取組から命のつながりとは何かを考え、学習しています。

ザリガニ堆肥を作る前に、初めに1時間理科の時間を使って、「命のつながり」「在来種と外来種のかかわり」について矢野先生が授業をしてくださいました。また、堆肥づくり当日も「どうして、この作業を6年生にお願いしているのか。」という問題提起を行ってくれた上での作業開始でしたので、子どもたちも、しっかり意識したうえで真剣に作業を進めていました。

この時間の後には、同じく人間の手によって連れてこられた外来種が、日本の多摩川に繁殖し、元々住んでいた在来種が絶滅の危機に瀕しているという教材を道徳で学習しました。連続して「命とは」という考えに触れた子どもたちですが、一人一人考えて臨んでいたことが、振り返りからも伝わってきました。



【子どもたちの振り返りより】

◎最初はザリガニを叩いて粉砕することに抵抗があったけれど、在来種を食べてしまうからと言うことと、堆肥を作れば、植物がよく育ち、次の命に繋がるということを考えると、少し抵抗がなくなりました。そしてその後の道徳の時間では、外来種が人の手で運ばれて、悪者扱いされてしまうという、矢野先生にこの前教えてもらったようなことを勉強しました。他にも、豊成小学校の豊かの授業が繋がっているということも教えてもらいました。このようなことを今日勉強して、命のことをもっと考えていろんな事を考えたり、考えながら食べたりしてみようと思ったり、外来種のことをもっと調べてみようと思いました！

◎ウチダザリガニを潰すときは外来種とはいえ人間の手によって連れてこられたので潰したくなかったけど次の命をつなぐために仕方がないことなのかなと思ってやりました。でも毎年やっているから今年でやめるわけにはいけないので残念だけどやらなきゃいけないと思いました。()

◎今までの6年生がザリガニを肥料にしているのは知っていましたが、自分がやってみると、残酷な感じがしました。でも、他の生き物の命を奪っていることを考えると、しょうがないことなのかなと思いました。これからは、お肉やお魚などを食べるときに今まで以上に感謝して、食べようと思いました。()

◎ザリガニ堆肥を作っているときに、命を頂いているんだなって改めて感じました。潰すとき、少し抵抗があったけど感謝して作ればなって思いました。皆で協力してザリガニ堆肥を作れたので良かったと思います。豊成のゆたかは、繋がっていることを知りました。低学年がザリガニを取り、高学年が堆肥をつくり、全校の人が花壇などに使っているのを知りました。低学年の頃は、楽しいとかの気持ちでやっていただけで6年生になってちゃんと理解できて良かったです。ザリガニが大量にいるのを見て少し、可哀想だなと思いました。人間たちが連れてきて勝手に生態系のバランスを崩して可哀想だなと思いました。今回は本当にいい体験ができて良かったです。()



NO 35
担任 ○○○

SMILE!!

ザリガニとわたし…

先日、機関庫川にいるウチダザリガニ(外来種)の堆肥づくりをしました。外来種が在来種のバランスを崩していることを学習してからの堆肥づくりです。事前に捕獲していたザリガニを木づちで砕き、肥料に混ぜました。それを定期的に混ぜ、来年度の花壇の肥料にするという活動の流れで行います。木づちで砕くという行為は、命を砕くこと。やはり抵抗を感じている子達もいました。そして次の時間に感想の報告と話し合いを設けてみました。



子ども達の感想(一部抜粋)...

・ザリガニを叩くことに少し可哀想だなと思ったけど、在来種のこと考えるとな〜と思い、来年の花壇につなげてもらおうと思いました。今日は、命のつながりについてたくさん学べたと思います(○○ ○さん)

・今日は堆肥作りそして命のありがたみを教えてくれてありがとうございました。僕は初めてザリガニについて触れて思ったのは前の先輩たちが次のために残してくれたんだと強く思いました。そして外来種をただ駆除するのではなくやり方を変えてやるということも学びました。(○○ ○さん)

・ザリガニを砕くのは残酷だったけど、そのあとみんなで協力をして作業ができたのでよかったです。いつもできないことができたので貴重な体験だと思います。宍戸先生が言っていた6年生しかできないということは本当だなとやってみて思いました。(○○ ○さん)

・ザリガニ肥料としてザリガニの命の無駄にしないことそこまでよく考えられ、それを6年生にやってもらうというその考えが今も受け継がれているのはすごいと思いました。でも外来種のせいで在来種がいなくなっているの所以在来種を守るためにザリガニ命を肥料することはあってもかもしれない。そう思いました。(○○ ○さん)

「外来種は“駆除”するべきか?」というテーマで話し合いをし、賛成と反対、中立の立場に分かれスタートしました。そこで出てきたキーワードが「人間の都合で連れてきた。」です。これが出てから賛成から中立になる人がでてきました。こういう話題は正答がないですが、“考える”ことが重要だと伝えました。「関係ない」と思って見て見ぬふりだけはしないでほしいと思っています。これからも考えていきたいテーマです。

漢字50問テストがやってくる!!

10月までに習った漢字のテストを行います。今回のテスト範囲は、教科書92ページ~139ページまでです。今から練習しておくといいですね。テスト日は10月22日(金)です。



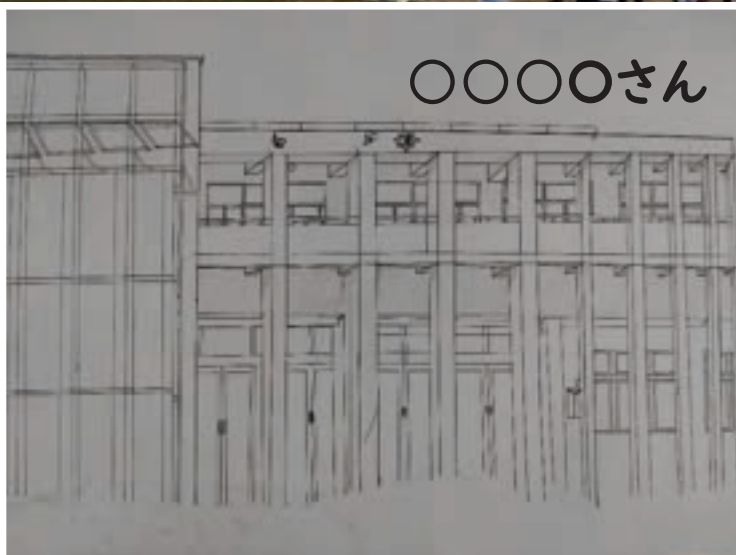


NO 32
担任 ○○○

SMILE!



天気がいい中, 図工は写生会で校舎の絵を描いています。今回のテーマは“いかに立体的に描けるか”です。校舎を真っすぐ正面から見て描くのではなく, 少し斜めから見て, 奥行きを感じ取って描くことが重要となっています。子ども達はグラウンドに出て, 好きな角度を見つけ, 下書きを書き始め, 来週はいよいよ色塗りです。丁寧に下書きをしたことで時間がかかっていますが, どの子も丁寧に描いています。次回の参観日までには皆さんにお見せできると思いますので, ぜひご覧ください。



○○○○さん

児童会の頑張りパート①

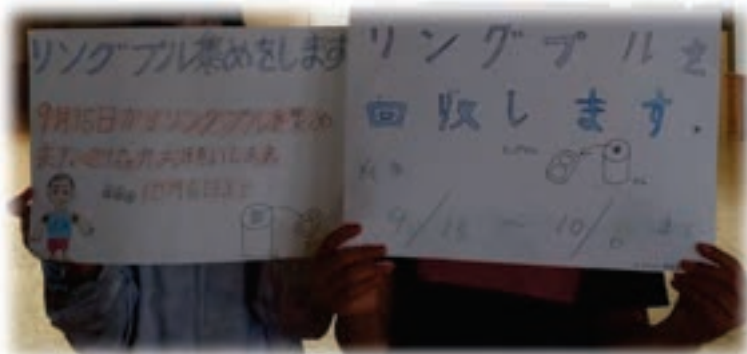


生き物委員会の活動

21日に校舎の裏に流れている機関庫川の清掃を行いました。ウチダザリガニの駆除と落ちていたゴミの清掃を行いました。今回は昼休みでしか行えなかったため, 次回はもっと時間をとって行いたいですね。

エコロジー委員会

今全校にリングプルの回収を呼び掛けています。毎日, 中休みにセンターホールでポスターをもって仕事に取り組んでいます。毎日忘れずに取り組んでいる姿がとても立派です。もしご家庭でリングプルがありましたら子どもに持たせてください。期間は, **10月6日**までです。





SMILE!!

大地の学習

先週は釧路教育大学から境先生をお呼びして、特別授業をしていただきました。帯広の大地が火山灰でできていること、火山活動で地層がどうできていくのかを詳しく教えていただきました。そして右の写真の実験をしました。歯医者で使う歯型をとるためのものをマグマに見立て、噴火を再現し、実際に地層を作っていました。ここから子ども達は地層ができる条件として、①流れる水の働きでできること。②火山の噴火によってできることの2つを実験を通じて理解したと思います。

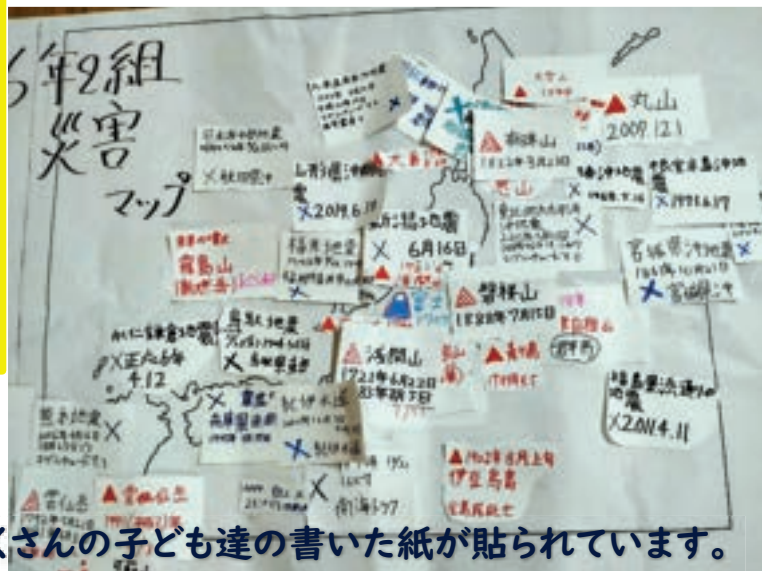


このように穴から吹き出し、それが流れ固まっていく。そしてまた吹き出し固まっていくことを繰り返し山の形となっていくのがよくわかりました。



そこから...

今週の理科では、「日本に起きた災害(火山や地震)がどれだけあるか調べてみよう」というテーマで調べ学習を開始しています。調べる内容は2つ。①火山の噴火②地震の2つで調べ始めました。過去のことだけではなく、未来起こりそうな噴火や地震まで調べる範囲を広げていきました。当然ですが、子ども達が調べていくと「日本には地震や噴火が多いこと」に気付き、これからもこのような災害からは目を背けてはいけないと考えることができました。「東日本大震災ってこんなひどかったのか。」という声や「北海道でも噴火している火山あったんだ。」といった発見の声も聞こえてきました。最近ドラマでやっていた「日本沈没」の話題も出てきて、「自分たちの生活と関係が強い」ということに気付けてもらって担任の狙い通りでした。



たくさんの子どもの書いた紙が貼られています。もう日本の形がわかりません…(笑)

一致団結

～安心・尊敬・好奇心 信頼し合う6年3組～



第67号 令和3年10月18日(月) 発行者 帯広市立豊成小学校

宍戸先生の説明

木槌で細かく砕きます

これらを混ぜ合わせる

学びがっながる・命がっながる～ザリガニたい肥作り～

10月13日(水)4時間目、ザリガニたい肥作りの具体的な活動を行いました。宍戸先生・河村先生から説明していただいて活動を進めました。低学年が駆除したザリガニを細かく砕き、米ぬか、おから、くん炭等と混ぜ合わせて、米袋の中で発酵させる準備をしました。発酵が進むと、米袋の中で約70℃近くまで温度が上がり、1週間ほどすると臭いも気にならなくなるとのことです。

宍戸先生には、事前学習も兼ねて、各学級で授業をしていただきました(右下の図)。その時から、一人一人しっかりと宍戸先生の言葉に耳を傾け、真剣に考えてきていましたから、今日の活動も「思い」をもって活動していました。この「ザリガニたい肥」作りは、前年踏襲ではなく、河川教育に詳しい外部の方々からの情報を得て、毎年少しずつ改良を加えて取り組んでいます。

6年生の理科「生物どうしのつながり」の単元では、食肉や食草、水を通じた生物どうしのかかりについて理解を深めるとともに、生物と環境についての考えをもつことがねらいとされています。図上、水中、土中など様々な場所で暮らす生物の連鎖、この自然のつながり(命)を繋ぐものとして「外来種」が教科書で扱われています。

この「外来種」という言葉、意味の子どもにとっては馴染み深いものの、この「つなぐ」がザリガニがすぐに取られてきます。今回は学習の発展として、私たちにどうやって外来種問題をしっかりと伝えていくことにしました。



具体的なたい肥作りは宍戸先生たちをお願いしています。学年としては、外来種による多摩川の生態系の破壊を例に、命の大切さを考える道徳「タマゾン川」の授業を同じ日に入れたり、食物連鎖について扱った理科や外国語の活動を思い出させる言葉掛けをしたりして、多面的に考えられるように、見通しをもって時間割を組みました。

また、私としては、実際に1～4年生でどんな活動をしてきたのか、学級担任として子ども達と共に活動をして体感してきたことを伝えたり、思い出させたりすることができるので、6年間の学びをつなげて考えられるような働きかけを心掛けています。つまり、子ども達が「かかわらせる」「つなげて考える」ようにする、ということです。

平成30年度=今の子どもたちが3年生の時に発行された職員室内通信で、当時担当していた〇〇主幹教諭が次のように言っていました。

「この学習は命を扱う難しい内容ですが、子どもたちの小さな心が動き、葛藤しながら自分なりの結論を出す…。本当に貴重な経験だと思えます。大切なのは、この活動に慣れてはいけないということ。常に葛藤しながら命と向き合うことのできるように、掛ける言葉の一言一言に気を付けながら授業を進めることが必要だと思えます。」

この言葉を大切に、豊成のキャリア教育をしっかりと進めたいなと思っています。



〇〇君のタオルのように、しっかり汚れましたので、基本的には、こちらで処分しました。

裏面に、給食をはさんだ後の5時間目に書いた振り返りから6人紹介します。子どもたちが活動をしていた4時間目の前半は、急用が入ってしまったので、私は子どもたちの様子を直接見ることができなかったのですが、写真や振り返りの様子、後半の取組の様子から、一人一人がまっすぐに取り組んでいたことがわかりました。感じる心…養われていますよ。



10月13日

ザリガニを潰して様子を見るとくちゃくちゃになっていてさっきまで見ていたザリガニとはまるで違う姿になっていました。それを見て悲しさを感じましたしかも潰されたザリガニが人間の手によって来たくもないのに機関車川へ来て潰されていると考えたらもっと悲しくなってきました。それで「命の重さは皆同じ」という言葉の奥深さ、命の大切さを学習することができました。これも穴戸先生や河村先生のおかげです今回はありがとうございました

赤部柚花 10月13日

今回はたくさんの教科と絡められてすごくいい授業だなと思いました。

ザリガニを砕くときはやっぱり悲しいことだけど、役に立つし駆除することで在来種が元気に育ち、植物も元気に育って今のきれいな花壇ができていたんだなと感じました。

生き物同士で命をつないでいくことはすごく大切なことだし、これからも忘れないようにしていきたいです。

どんどん学年でつないでいくのを楽しみにしています。

穴戸先生、河村先生今日は本当にありがとうございました。

10月13日

外来種でも命があるものだし、外来種だから潰したりするのは可愛そうだなと思ったけど、ウチダザリガニを潰して肥料にすることで、また別の命が生まれるなら、仕方ないし潰して肥料にする意味があるのかなと思いました。在来種が食べられるよりもウチダザリガニを肥料にして、意味があることをやったほうがウチダザリガニもいいと思います。今回の学習を通して、ウチダザリガニにも命はあるし、外来種だから潰したりするのは良くないけれど、次の命に繋がれるということを思って今回の学習をしました。穴戸先生河村先生本当にありがとうございました。改めて命の大切さを学ぶことができました。

10月13日

授業を始める前は少し可哀想だと思っていただけ

道徳の「命の重さは皆同じ」だけれども花壇の栄華になってもらうためにも次の命につなげるためだったので仕方がないけれど潰そうと思いました。でもウチダザリガニを放った人間も悪いとも感じました。これで二ホンザリガニが増えていったら嬉しいです。潰しているときも命の重さは皆同じなことを忘れずに活動できました

穴戸先生・河村先生大切な授業させていただきありがとうございました。



10月13日

穴戸先生河村先生ありがとうございました！

ザリガニを肥料にすることはちょっと抵抗があったけど命を悪んでもらってるから良い肥料にしてあげたいなという気持ちもありました。

外来種は在来種にとって自然にとって嫌なことかもしれないけど外来種も頑張ってるしそのザリガニの

命も大切にしないとなと思いました。

前の授業でタマソン川とかの事とかも学んだから在来種や外来種にとって住みやすい所などを作ってあげたいなと思いました。

10月13日

穴戸先生、川村先生、

今日はザリガニ堆肥作りをサポートしてくださり、有難う御座いました。

一時間前に道徳で外来種などについて学習したり、今朝森先生の小工の話の話を聞いたりして、

今日は生き物の命を考える時間が多かったのではないかなと思いました。

やはり外来種は人のせいなどで外来種になってしまったわけだから、

ザリガニを堆肥にして次の命につなげるのはとてもいいことだとお思います。

今日の授業を振り返って次の命につなげるなら、全部堆肥になるように

もう少ししっかりすり潰して上げたかったなと思いました。

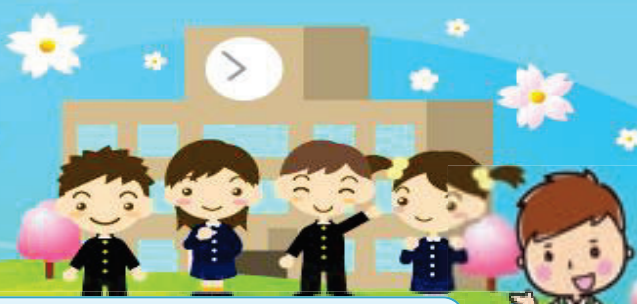
自分たちが作ったザリガニ堆肥が、来年植物たちにどんな影響を与えるのかは卒業するから見れないけど、植物たちが成長するのに役立ってほしいと思います。

改めて今日は沢山のサポート、有難う御座いました。



一致団結

～安心・尊敬・好奇心 信頼し合う6年3組～



第73号 令和3年11月1日(月) 発行者 帯広市立豊成小学校



1日目

5日目



みんなでかき混ぜたとき



熱心に取り組んでいました。○○さん・○さん

(見にくいと思いますが) 最初は発酵することで60度近くまで上がりました。だんだん温度は下がり、発酵臭も収まってきました。色も全然違いますね。駆除されたザリガニたちが、新たな命を育てる準備をしています。



～「ザリガニまぜまぜ当番」を担当してくれた子どもたち～

→3日に1回各学級2人ずつかき混ぜています。今日は○○君&○○○君、11月4日が最終日で○○君&○君です。

配置を考えながら～習字「街角」～

27日(水)、習字の学習を行いました。特に「街」は学習ポイントを絞り、3つの部品の配置を考えて筆を進めました。粘り強く、繰り返し練習して、本日の1枚を決めて学習を終えました。「ここは大事!」と伝えたところについては、どの子も意識して書いていました。

早く仕上がった子は、筆を使ってちょっと遊びました。「遊び」も、筆独特の曲線を知るいい練習になります。



○○さん

○○くん

前回の「湖」も生かしています。



芸術作品が誕生!
「鳥獣戯画」のテフォ
ルメ(匿名様制作)



一致団結

～安心・尊敬・好奇心 信頼し合う6年3組～



第83号 令和3年12月16日(木) 発行者 帯広市立豊成小学校



12月10日(金)1時間目、教育大釧路校の境智洋教授による理科出前講座が開かれました。「3組の子どもたちは、とても反応がよくて立派だったよ！」と先生方から声を掛けられました。楽しい時間を過ごしたようです！！

12月10日

理科の出前講座は、境先生の実験「火山作るやつ」がすごく楽しかったです。あと、グラウンドとかにあるダイヤモンドもどきの宝石がわかってよかったです。そして、番長と境先生の絡みがすごく面白かったです。

12月10日

とても楽しい授業で盛りだくさんでした。少し境先生がふざけて火山の作り方を教えてくださったので遅くならない一時間でした。火山をつくるには少し時間が足りなかったですが十分くらい火山？というか、量ができて良かったです！説明もとてもわかりやすかったです。楽しかったです。

12月10日

境先生の授業はとても面白くて楽しく勉強ができました。それに火山を再現した実験では、最後に切るとマグマは重なることによって地層になることがわかりました。あと、境先生の授業がわかりやすくてとても楽しかったです。また境先生の授業を受けたいです。

12月10日

12月10日に地層について学んだらどうやって火山が出来るとか、何年前にできたものとかいろいろわかりました。実際に火山を作ってみたら下からニュルッとしてきたのでびっくりしました。地層が固まったときストローでさして抜いたらきれいに地層ができていたので良かったです。またグラウンドに落ちているのはガラスの破片と思ってたけどそれが水晶の赤ちゃんだとわかってなるほど！と思いました。今まで知らなかったことや新しいことを学べたので良かったです。ありがとうございました。

12月10日

とても楽しい授業でした。火山やマグマがこんなに簡単に再現できると思わなかったです。粉の具と水でマグマに色がつけられて、より地層がわかりやすくなっていました。境先生がとても面白く、わかりやすかったです。番長とのコラボが面白かったです。グラウンドのキラキラしてるやつ全部が水晶の子供だと聞くとなんかすごかったです。

12月10日

理科の学習について初めて知ったことが多くて勉強になりました。境先生の面白、発想で苦手の理科も楽しく学べました。地層について詳しく説明してくれて、そして何よりすごく面白かったです。実際に火山を作るんだとびっくりしました！で本当に楽しかったです！

12月10日

番長、境先生に「火山を作ってみよう！」と言われたときは、火山が作れるのかとワクワクしました。粉と水を混ぜただけでこんな物体が出来るとはびっくりしました。火山の出来方はこうやってできているんだと理解が深められたし、切ったときの層がとてもきれいでした。私の場の機だけあんなにきたなくてびっくりしました。境先生の授業がとてもおもしろかったです。楽しかったので、また一緒に実験してみたいです。ぜひ！

12月10日

境先生の出前講座は思った以上に楽しかったです。もっと早く知っていたらいいなと思いましたがとても面白く、授業もわかりやすくてとても楽しい時間でした。火山での地層のできかたちも知れたし、あの、謎のガラスの破片も謎の謎の正体も知れたし、新しい発見だらけでした。また来てほしいです。

学年内専科で他の学級に行っていたので私は残念ながら授業を見られず…。Classroom に書いてもらった感想は「全員が楽しかった！」とのこと。写真で見た子ども達の様子も、実に生き生きしていました★

自分の「自分らしさ」 他人の「自分らしさ」を尊重すること



	それぞれが別の人間だから何があってもおかしくないし、体の性と心の性がちがう人がいることを学んだ。
	LGBTの人たちにとって生きにくい世の中だと思うけど、理解してくれる人が増えるといいなと思った。この世にはいろんな人がいるけど、個性として受け取って差別しないことが大切だと思った。
	世の中には同性で結婚する人もいるから今日の話に共感しました。SDGsの中にもジェンダー平等があるから、とてもためになると思います。
	自分と違うことを馬鹿にしたり、不思議に思うのが変とは限らない。だから、心の中でしまった方がいい時と、出した方がいい時を考える。
	仲間と一緒に交流することで人それぞれの個性があったり、好きな色がちがったとしてもいいということを知った。自分らしく生きるということは大切なことだと思った。
	「みんなとちがう」は「個性」なんだと考えることができました。いざ考えてみると、個性は全然浮かばなかったけど、仲間の考えで少し気付くことができました。
	みんながもってる様々な個性を受け入れることが大事だとわかった。相手の気持ちになりにくいけど、もしもいたら考えて接することが大事。難しかった。
	人の意見に任せすぎるのはよくなく、自分の個性や意見を持つのは大事だと思った。だけど、人に意見をあわせるのも大切だと思った。
	みんなそれぞれ個性があるな—と思った。自分にもしっかり個性があるんだなと思ってよかった。世の中には色々な人がいるからちゃんと受け入れて生きていこうと思った。
	平等・公平の世界は似ているが、少しちがった。そのちがいがとっても難しいと思った。これからも個性を大事にして自分らしく生きていきたいです。
	「みんなちがってみんないい」という言葉を思い出しました。LGBTQの人たちが苦しい思いをするかもしれないけど、その分自分を大切にしてほしいと思いました。

先日の道徳で、「自分らしさ」について考えました。ゆたか「自分の生き方を考える」、道徳「個性を大事にすること」、音楽や図工等で大事にしている「感性」などともかかわらせながら大きな視点で考えました。

最初に、子どもたちに3つ、とても大きな問いを、ワークシートで投げ掛けました⑤。①「自分には個性がありますか？」②「自分らしく生きていますか？」③「自分と他人の『ちがい』を大切にしていますか？」の3つです。

①は予想通り、「わからない」という答えが多数。中には、「自分には個性があると思うけど、それが本当に自分の個性といえるかどうかわからない。」「人と同じものでもそれを個性と言っているのか。」というものもありました。

②は「はい」と〇をつけ、「自分の人生だから、自分の考えを大切にしたい。」と力強く書いた子がいる一方、「自分らしく生きていきたいけど、周りの意見に合わせることも必要だと思う。」という理由を書いた子もいました。

③は「はい」と答え、自分との考えの違いや相手の態度を尊重しようとしていることが伺えました。

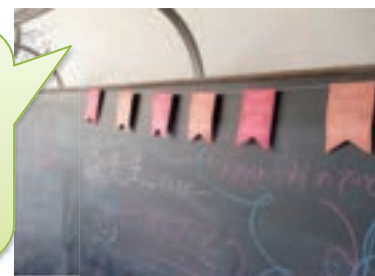
その後、学習を深めるにあたって、男性・女性の性を「個性の『性』」と捉える視点や、LGBTQの話題を紹介して、考えを深めました。私から「こうあるべき」という話をしたのではなく、これから社会の中で考えるための種まきをするつもりで子どもたちと考えていきました。体や心の発達が著しく、なおかつ個人差が大きい思春期。人との違いが気になりだす時期です。でも、41人全員で考えるからこそ、多様な考えを交流することができたのではないかと思います。

3組の子ども達は、授業に向かう姿勢が本当に立派です。上の子どもたちの振り返りの一部を聞いていただけでしょうか？ 授業の中でインパクトを受けた部分は様々ですが、「個性」や「自分らしさ」について考えたことがよく伝わってきました。

ある人曰く、「人生は『自分探しの旅』」とのこと。子どもの頃は模索の日々かと思いますが、自分らしさを磨き、夢をもって、自分探しの旅をしてほしいなと願っています。

14日(火)朝、教室に行くと「まだ入っちゃだめです。」と締め出され、しばらくしてから入ると、紙吹雪とクラッカーを浴び、「お誕生日おめでとう！」とたくさんの拍手を送ってくれました。最近、誕生日が来るたびに「もう1年経ったのか…」と嘆く気持ちもあるのですが、子どもたちに祝ってもらえておかげで晴れやかな気持ちになりました。寄せ書きやプレゼントももらいました。

ここからの1年は、年齢に掛けて、周りの人々にサンキュー(=39)と感謝する1年にしたいです。





★ 思い出してみよう

ヒトが生きていくためには、
何が必要だったかな。



関連する観音内容
を確認できる。



わたしたちの地球(1)

4 生物どうしの つながり

学習の
めあて

食べ物や空気、水を通して、生物どうしの
つながりについて調べよう。

鳥は、魚やこん虫などを
食べて生きています。魚や
こん虫も、動物や植物を
食べて生きています。また、
植物も動物も呼吸を
しています。

生物が、食べ物や空気、
水を通して、どのよう
にかかわり合っているのか、
調べてみましょう。

はじめに



考えてみよう

ライオンはシマウマを食べる。
シマウマは何を食べるのだろうか。 **草を食べる。**



動物は、食べ物食べて
養分を得ていたね。

植物は、自分で養分を
つくっていたね。



しょうひしゃ
動物（消費者）



肉食動物

肉食動物

草



植物
せいさんしゃ
(生産者)



草食動物

落ち葉



動物の死がい・フン

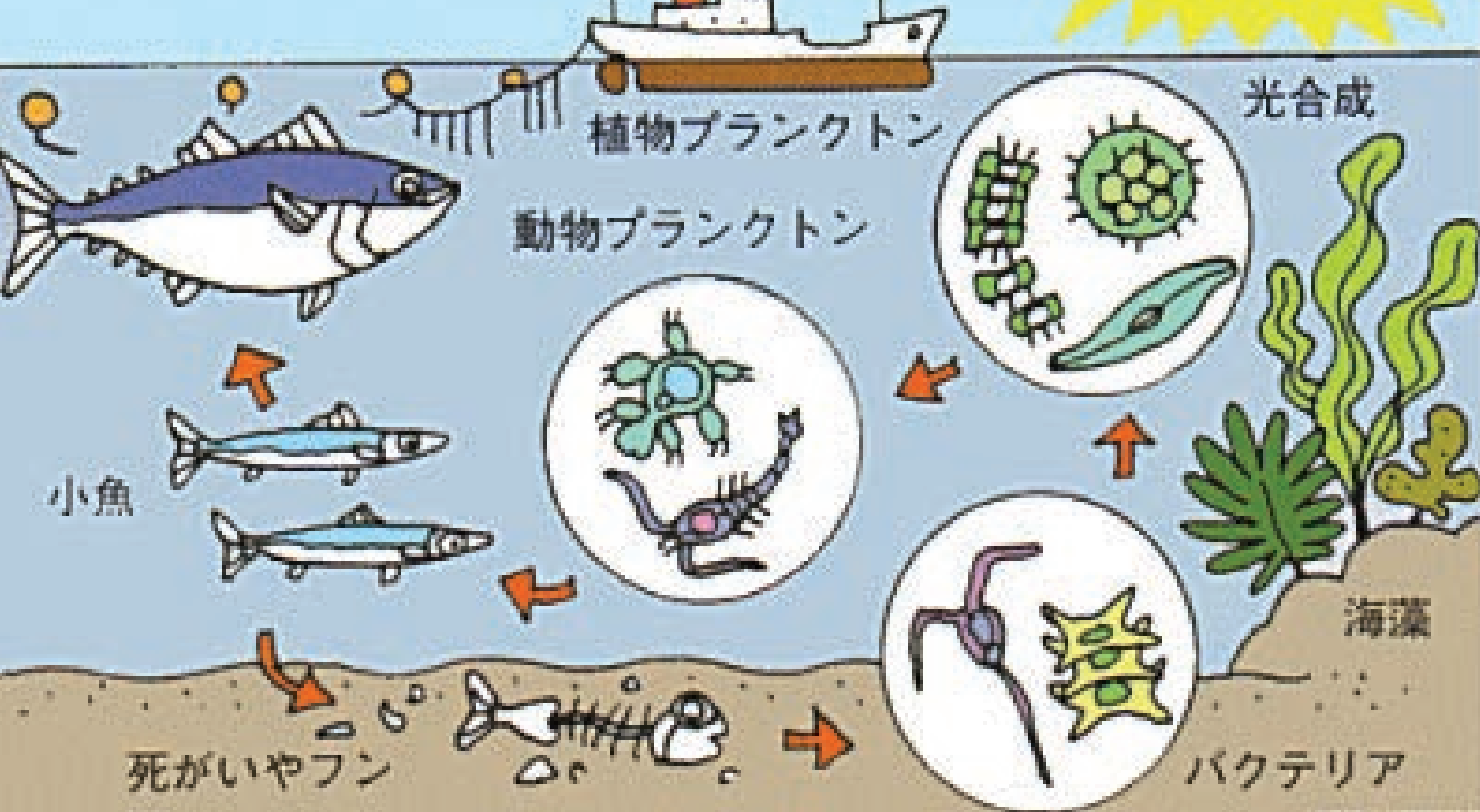
ダンゴムシ



ミミズ

びせいぶつ
微生物

つち なか い もの ぶんかいしゃ
土の中の生き物（分解者）



しょく も つ れ ん さ

食物連鎖

その地域に、もともとはいなかった種類の生物が、人の活動で運ばれ、すみつくことがあります。このような生物を外来種といいます。

外来種によって、その地域にもともといる生物が食べられたり、すみ場所がうばわれたりすることがあります。それまで保たれてきた食物れんさの関係がくずれ、もともといた生物が絶めつに追いこまれることもあります。自然界のつり合いを、人がくずしてしまうことがあるのです。



アメリカザリガニ



アレチウリ



オオクチバス



アライグマ

もともといなかった種類の生物が、
人間の活動によって持ちこまれた

がいらいしゅ

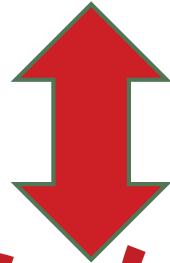
外来種

(外来生物)



が いら い し ゅ

外来種



ざ いら い し ゅ

在来種

この1時間は、

**外来種(外来生物)
について考える**

1. どのような生き物が いるの？



2. どうして

日本に来たの？



3. 何がわるいの？



どうして特定外来生物になってしまったの？

日本には海外から持ち込まれたものだけでも、2,000種類以上の外来種がいると言われていますが、そのうち100種類を超える生きものが特定外来生物に指定されています。どうして特定外来生物になってしまったのでしょうか？いくつかの例をご紹介します。もしかしたらあなたの身近にもいる生きものかもしれません。

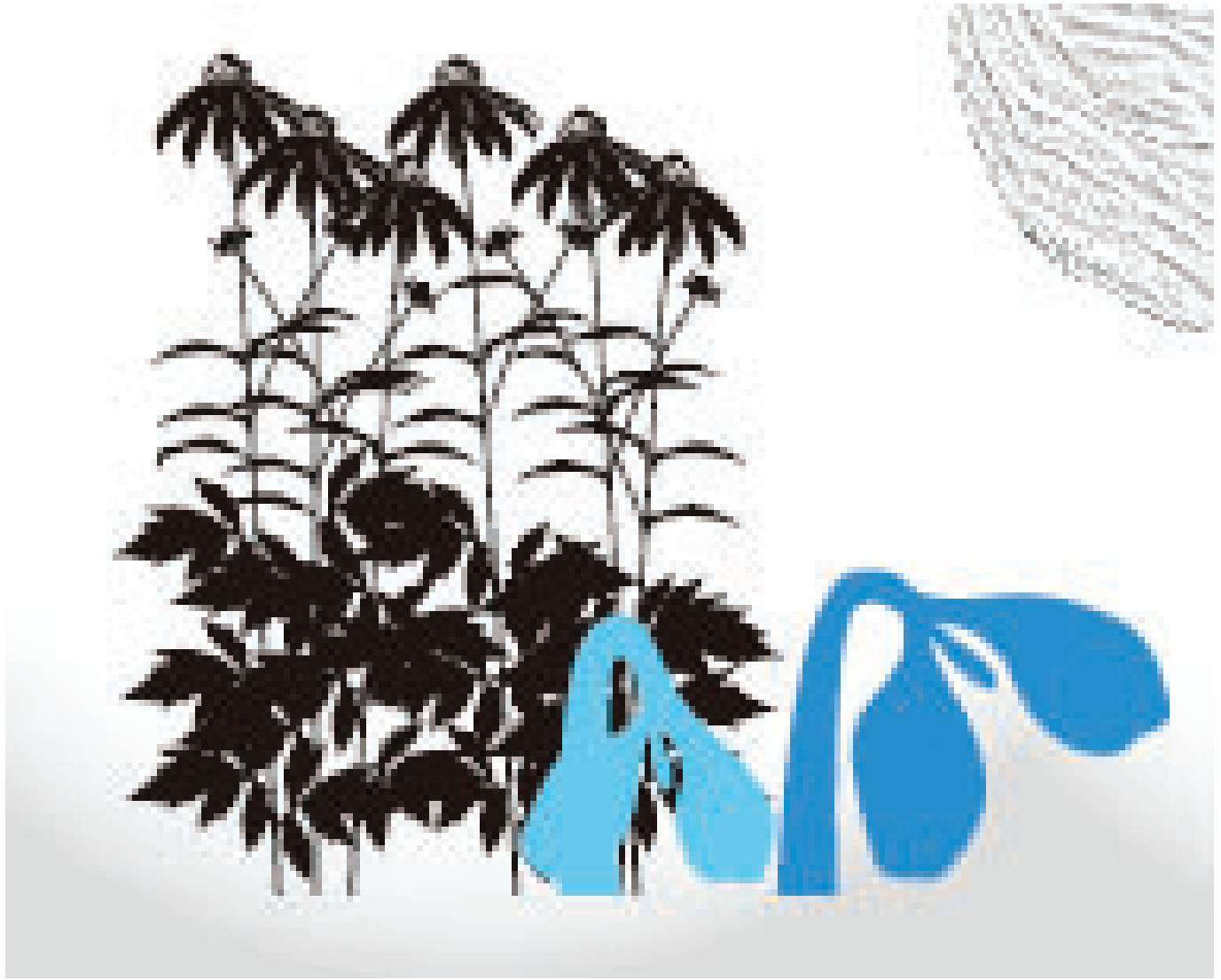
<p>アカゲザル [特定外来生物]</p> <p>東南アジアのジャバ、スマタラ、ボルネオなどに生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>ヌートリア [特定外来生物]</p> <p>南米のブラジルに生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>アイリマングース [特定外来生物]</p> <p>オーストラリアに生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>アライグマ [特定外来生物]</p> <p>北米に生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 
<p>クハラリス [特定外来生物]</p> <p>南米のブラジルに生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>カミツキガメ [特定外来生物]</p> <p>南米のブラジルに生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>グリーンアノール [特定外来生物]</p> <p>南米のブラジルに生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>オオヒキガエル [特定外来生物]</p> <p>南米のブラジルに生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 
<p>セアカゴケグモ [特定外来生物]</p> <p>南米のブラジルに生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>ブルーギル [特定外来生物]</p> <p>北米に生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>オオクチバス [特定外来生物]</p> <p>北米に生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>ウチダザリガニ [特定外来生物]</p> <p>南米のブラジルに生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 
<p>アルゼンチンアリ [特定外来生物]</p> <p>南米のブラジルに生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>セイヨウオオマルハナバチ [特定外来生物]</p> <p>北米に生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>オオキンケイギク [特定外来生物]</p> <p>北米に生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 	<p>オオハシゴソウ [特定外来生物]</p> <p>北米に生息する。日本に持ち込まれたのは、戦後、動物園や研究施設に導入されたことによる。</p> <p>繁殖力が強く、餌も豊富で、また、人間に慣れやすい。そのため、野生化が進んでいる。また、人間に慣れすぎて、ゴミを漁るなどの問題も生じている。</p> 

3. 何がわるいの？



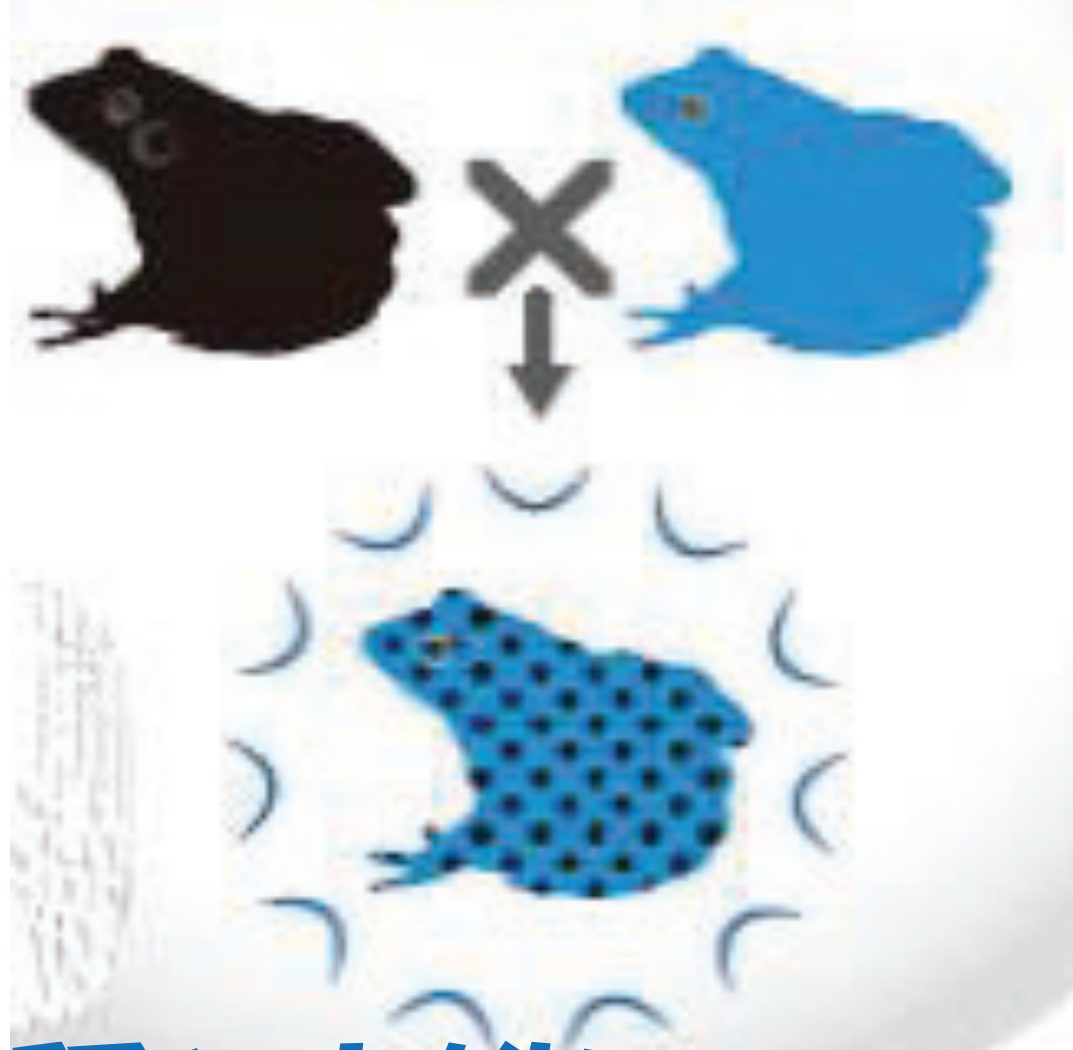


在来種を食べてしまう。



在来種のすむ場所をうばう。





**在来種と交雑して
雑種をつくってしまう。**

農林水産物を食べる

畑を踏み荒らす



農作物を食べたい、
畑を荒らしたいする。

毒を持っていて危険



人をかんだり、刺したりする



**毒をもつ生物に、かまれたり
さされたいする、危険性も**



3. 何がわるいの？

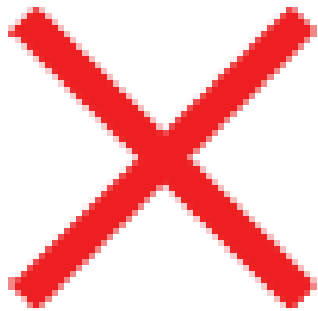
食物れんさ
の關係が
こわれる

農林水産業
への
えいきょう

人体へ
の
きけん

「外来生物法」

持っていったら
だめ

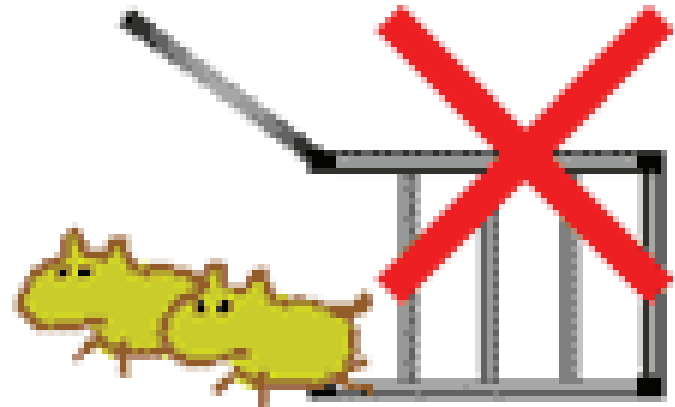


保管



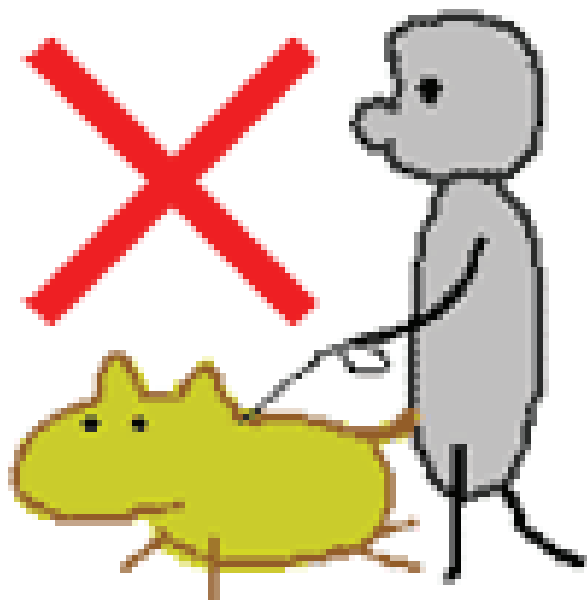
放しちゃだめ

野外に放つ
／植える／まく



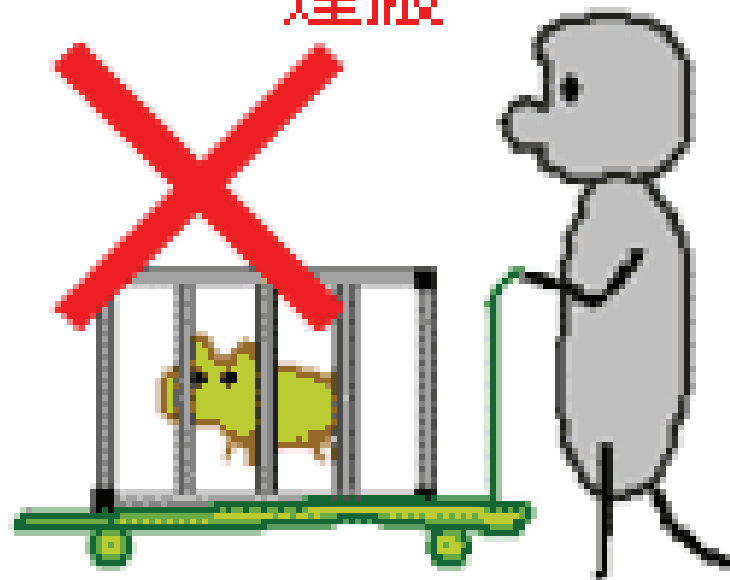
飼っちゃだめ

飼育／栽培



運んじゃだめ

運搬



外来種を見つけたら、



く

じよ

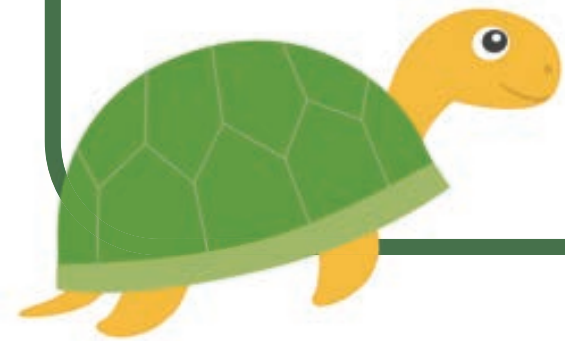
駆

除

2. どうして



日本に来たの？



人間の活動によって
持ちこまれた



動物(鳥類)



肉食動物

肉食動物



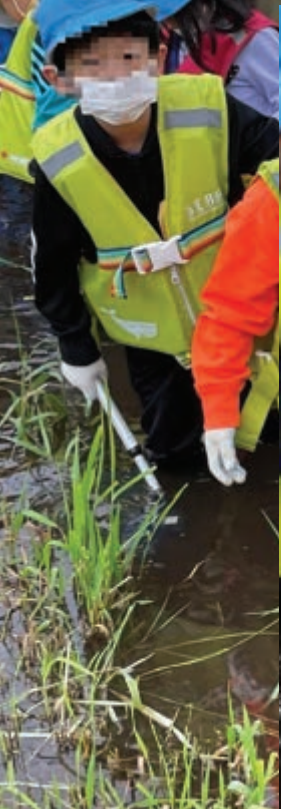
人が、
自然界のついで合いを
くずしている...

環境問題

さて、













ウチダザリガニ



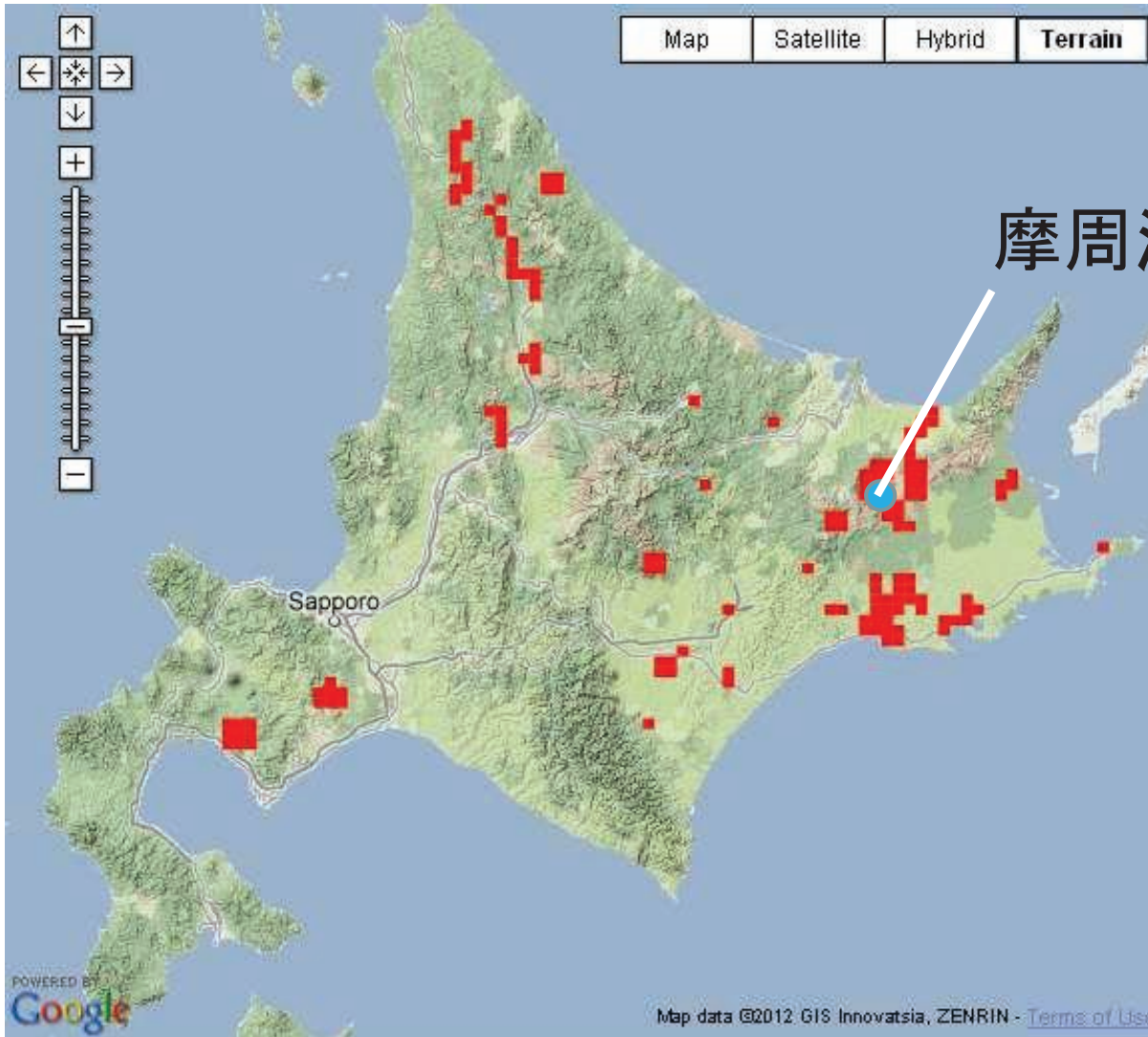
- ▶ どこから来たのか？
- ▶ なにかわるいのか？

どこから？ - 原産 -

▶ 北アメリカ ロッキー山脈西側

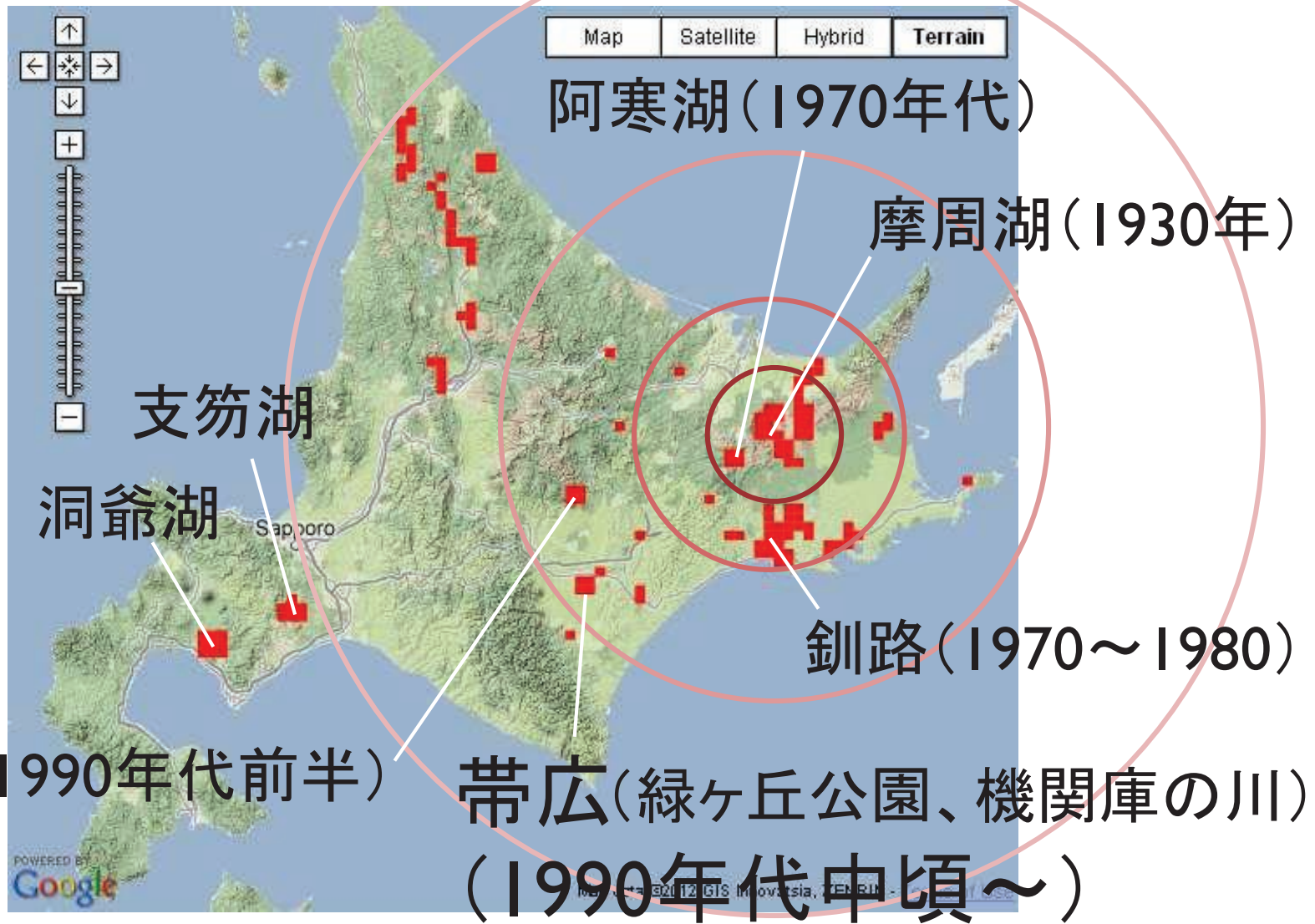


どこに？ - 北海道 -



摩周湖(1930年)

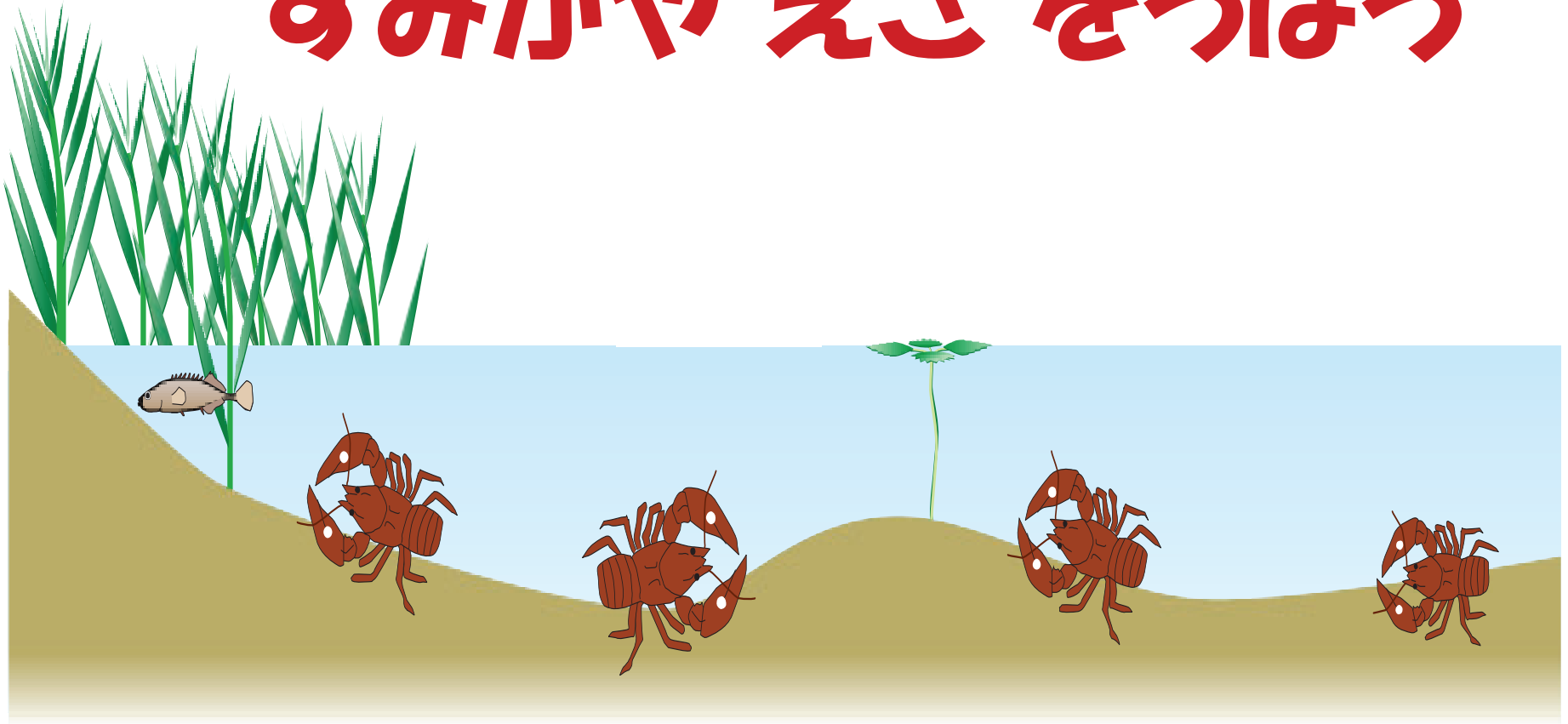
どうやって？



なにがわるいの？

他の生き物の

すみかや えさ をうばう



ニホンザリガニとウチダザリガニ



なにがわるいの？

ニホンザリガニを食べたい、
すみかをうばったいする。
病気をうつすことも…。





けれども、





ウチダザリガニの いのちは



A large pile of crayfish, likely Japanese crayfish, is shown against a solid blue background. The crayfish are densely packed, with various shades of brown, green, and orange visible. Some have prominent claws. The text is overlaid in the center of the pile.

外来種にも
いのちはある

A large pile of cooked crayfish, likely Japanese crayfish (Decapoda), is shown on a blue surface. The crayfish are dark brown and appear to be seasoned. The text "よく考えてほしい..." is overlaid in white on the image.

よく考えてほしい...

豊成小学校では、





卒業の時…。





5年生の時・・・



ザリガニ堆肥の効果を検証



ウチダザリガニのいちが



つぎのいのちへ生まれ変わる

6年生が、今年も…



そのつながいを
つくってくれたら



つぎのいのちに・・・

つなぐ







**豊成の自然も伝統も
守っていられたら…！**





のんびり のびのび

初めての川の学習



豊成小学校
ほのぼの学級通信
令和3. 8.25 発行

～夏休み作品展～

各学年ではありますが、作品展がありました。友達の作品を見合うことはいいことですね。みんなとっても素晴らしい作品ばかりでした！

先週の金曜日でしたが、1年生にとって初めて学校のそばを流れる「機関庫の川」で生き物を探す学習を行いました。天気もよくて良かったです！
〇〇〇さんは、初めての川に足を入れてびっくりした様子でした。ペアになった〇〇〇くんが大きなザリガニを捕ってさらにびっくりです！小さいザリガニや魚も捕ることができました。とっても楽しかったです！（私）



〇〇〇さんの作品も「わあ～すごい！」とみんな見て

いい作品ばかりでしたね！



大きいザリガニにびっくりです！

何か捕れないかな・・・

怖いよ～



小さいザリガニばかりでした



初めての〇〇～

2学期もいろいろなことに挑戦している章弘さん。給食の盛りつけ



まひなさんは紙をビリビリしていい笑顔です！



チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校 プロジェクト通信

令和3年9月18日 文責 穴戸



1年生「なつとなかよし」元気に川であそぼう!

8月19日～24日、1年生の川の学習が行われました。この学習は、夏ならではの川遊びに親しむこととともに、本来なら、帯広北高校の生徒さんとも触れ合うことを目的として行われてきました。高校生のやさしさに触れて、人とのかかわりを学んだり、あこがれをもったりと、キャリア発達を促す上で大事な学びなのですが、感染症対策のために、ここ2年行われていません。次年度は必ず！実施したいと考えています。

さて、クラスごとに行われた今年の川の学習。記念すべき「機関庫の川との出会い」です。

どんな思いをもつかな…、こちらもドキドキです。「キャー！つめたい！」と元気にバシャバシャ入っていく子もいれば、友達の様子を見ながら、恐る恐る足を入れる子もいます。冷たい、温かい、流れの速さ、水圧、川底の感じ…五感を使って様々な刺激を感じとります。「川に入ることができた」「生き物が網に入った」「ザリガニを持つことができた」「魚を触ることができた」…一つ一つのことが、みんな子どもたちの“自信”になります。不安そうに出掛けて行った子が、誇らしげな表情で水槽を抱えて、川からあがってくる姿を見るのが、私たちもとても嬉しい瞬間です。



「はいるとき、あしがじめんにうまってでれなくなりそうでした。」
生き物のことだけではなく、川底の様子や、水のにごりなど、たくさんのなぜ？どうして？が生まれることが素敵です。



「むしかごにザリガニがぎゅうぎゅうでおとなしかったです。みずがつめたくてあしがひりひりしました。」
虫かごの中が、生き物たちで密になっている様子をおとなしかったと表現しているところ、おもしろい視点です。



「わたしはつかまえられなかったけど、れんたろうさんがつかまえてくれました。」
川を通して、自然に他者とのかわりが深まります。



「ザリガニがこわがっていました。…みずがつめたかったので、あしがいたかったです。」
冷たさが痛さになる感覚をつかんだこともいい。捕まえたザリガニが怖がっているようだという、生き物を見つめる目も素晴らしい。



チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校
プロジェクト通信

令和3年9月5日 文責 宍戸

キャリア 2年生「いきものとなかよし」～生き物を見つめる目～



2年生は、生活科「いきものとなかよし」の中で、機関庫の川の生き物たちと触れ合います。普段、校内の魚やニホンザリガニの水槽にかじりついて見ているのが特に多いのは2年生！生き物好きがたくさんいて、きっと、この川の学習も楽しみにしていたことでしょう。8月31日～9月3日にクラスごとに行いました。

1年生同様、この学習もコロナ前であれば、帯広北高校のボランティアの生徒さんたちがマンツーマンで川に入ってくれていたもの。生き物とのかかわりとともに、人とのかかわりを学んだり、大人へ

のあこがれをもったり、自分もこうなりたいと感じたり。人間関係形成能力・キャリアプランニング能力が育まれる大事な時間となっています。そしていつか、今度はお兄さんお姉さんの立場になって、小さな子どもたちとかかわってくれる日がくればうれしい限りです！

.....

さて、この日の2年生の様子は、1年生のころとはまるで違いました。捕まえた生き物をじっと見つめる目、去年は触ることができなかつたザリガニをつかむことができ満足げな姿、中でも印象的だったのは、「水の中じゃないと息ができないなんて、僕たちと反対だ！」というつぶやき。直接的な体験が、比較したり関連付けたりして捉える力を育てていくことがわかります。それから「ずっと（魚を）握っていたら魚がやけどしちゃうよ！」と友達に教える声。「どうして？」と聞くと、「あのね、川の水はとっても冷たいから、手の温度だと魚はすごいあつついて思うんだよ。」自分の言葉でしっかりと説明することができていました。水とのふれあい、生き物とのかかわりの中で身に付けられる力は無限大。子どもたちの「不思議」や「はてな？」がたくさん生まれ、そこから、「調べたい！」「わかりたい！」「伝えたい！」の枝葉が広がっていくのが、機関庫の川の魅力だと感じています。



チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校
プロジェクト通信

令和3年7月18日 文責 宍戸

キャリア

きかんこの川と友だち～機関庫の川は清流なのか



コロナ禍での学習も2年目を迎えました。「子どもたちの学びをとめない」ために、先生方が知恵を出し合って、子どもたちの笑顔のために力を合わせる姿！とっても素敵です。総合的な学習のような、活動・体験の多いものは特に、頭を悩ませますが、豊成小がこれまで積み上げてきたものをアレンジして、進めていきましょう！

.....



さて、3年生の総合的な学習「機関庫の川と友だち」が始まりました。校地内を流れる機関庫の川を学習材にして、調べたことや発見したことから課題を見出し、その解決に向けて、自分たちにできることを考えていく…キャリアで育てたい能力の中の、「課題対応能力」や「社会形成・人間関係形成能力」などを育てていきます。



1回目、今年初めての川との出会い。「この地域は“清流”と呼ばれているけれど、機関庫の川は本当に清流なのか」と投げかけます。楽しみながらも、低学年のころとは違う”視点”をもって川とのかかわりが始まります。



2回目、パックテストを用いて、水質を調べます。根拠となる数値をもとに、機関庫の川の環境について考えます。「とてもきれいな川」という結果が出たけれど、「川がきれい」とはどういうことなのか…、「でも泥がいっぱいあるよ。」「みんなで入るとすぐ濁ってしまうよ。」



3回目、水生生物を指標としながら、川の環境を知ります。機関庫の川に棲む水生昆虫も、きれいな川に棲むものがばかり。「生き物が棲みやすい川が、きれいな川なんだね。」自分たちにとって一番身近な機関庫の川がとても豊かで、自慢できる財産であることに、子どもたちは気づき、誇らしい思いが湧いてきたようです。

.....



2学期には、子どもたちは自分達でたてた課題に沿って学習を進めていきます。「機関庫の川がどうあってほしいか」という視点で、テーマ別にグループを作り活動します。環境改善・維持のために自分たちにできることを実践したり、地域や行政に発信したりする活動に取り組むグループもあるかもしれません。楽しみです。

豊成小学校のように、校地内に川が流れている学校はなかなかありません。また、NPO28 サポートセンター、十勝多自然ネットなど、学習をサポートしてくださる方が身近にいるということもとても幸せなこと。川から学んだことを、日常生活や自分の未来につなげて考えていく子どもたちに育っていくことを願っています。

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect

帯広市立豊成小学校

プロジェクト通信

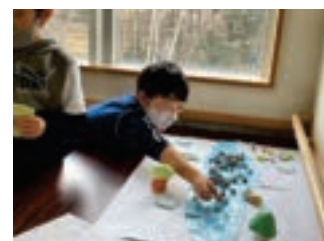


令和3年12月18日 文責 宍戸

キャリア

大好きな機関庫の川のためにできること

8月までに4度川に入り、機関庫の川の調査活動をしてきた3年生。現在は、その調査の中でできた疑問や課題を、グループに分かれて解決していく学習を続けています。「大好きな機関庫の川のためにできること」という視点をもって、120名の児童が15のチームに分かれて活動しています。様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立てて課題を解決していく、「課題対応能力」を育てていく時間です。



活動をしていく中で、調べてもわからない、どうしても専門家に聞きたいことがでてきます。そんな時に助けてくれる先生たちがいることもとてもありがたいこと。十勝多自然ネットの野村さんや室瀬さん、百年記念館の学芸員の方にもお世話になっています。たくさんの地域の方に支えられて、子どもたちの学びが進んでいきます。



サケについて調べ育てたいグループは、サケの専門家・石垣さんをお招きします。機関庫の川にサケが戻ってくるためにはどんな川であるといいのか、質問をしながら一生懸命考えます。

このあと3年生は、発表ボードにまとめ、自分たちの活動を伝え合う会を開きます。

外来種について考えるグループは、ニホンザリガニの専門家・鏡先生をお招きしました。機関庫の川のウチダザリガニを撲滅したい。そしてニホンザリガニがいた昔の川に戻りたい。その思いを先生に伝え、ザリガニの繁殖の時期について、巣作りについて、質問をしています。



チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校
プロジェクト通信

キャリア

水教育

GIGA

体力向上

令和3年9月21日
文責 穴戸

キャリア

道徳みたいだなあ ～6年生、外来種を考える～

6年生の理科「生物どうしのつながり」の単位では、食べ物や空気、水を通した生物どうしのかかわりについて理解を深めるとともに、生物と環境についての考えをもつことがねらいとされています。陸上、水中、土中など様々な場所で繰り広げられる食物連鎖、この自然界のつりあいを脅かすものとして「外来種」が教科書で扱われています。

この「外来種」という言葉、豊成の子どもにとっては馴染み深いもの。＝(イノル)ウチダザリガニがすぐ浮かんできます。今回は学習の発展として、私たちにとって一番身近な外来種問題をじっくり考えてみることにしました。

そもそも、**機関庫の川にウチダザリガニがいるとなぜ困るのか?**それはなんといっても、生態系への影響です。在来種そのものが捕食されたり、エサやすみかを奪われたりしてしまうこと。…もともとここに生息していたニホンザリガニは、体の大きなウチダザリガニとの勢力争いに敗れてしまったものと思われます。(機関庫の川にトンボが少ないのも、ヤゴの段階で食べられることが原因だそう…。)子どもたちは、3年生の頃の活動を思い出しながら、生態系への影響について改めてじっくり考えます。

けれど、どうだろう?「外来種の命はいいのか。」人間の活動によって持ち込まれたウチダザリガニ(もともとは食用として養殖されていたものです)にも、私たちと同じ“たった一つの命”があり、駆除することは命を奪うということではないか。ここは、6年生にじっくりと考えてもらいたいところです。「駆除をしないと、在来種の命を守れないから…。」「もともと棲むところに帰してやれないのか?」「命を無駄にしないようにしたい」「**なんだか道徳みたいだなあ**」…あるクラスの子がつぶやきました。そうです、6年間、道徳で命の尊さを学んでいる6年生だからこそ、じっくり悩むことができる問題です。理科も総合も道徳も、学んできたことを繋げて、広げて、自分の生き方にいかしていける、そういう子どもたちの姿をたくさん見たいと思います。

…今回の学習は、「ザリガニ堆肥づくり」へとつながっていきます。6年生がどういう思いをもってこれから活動をするのか、また、どういう思いを下級生に伝えていくのか、とても重要なところだなあだと考えます。それで、最後の振り返りには、こんなことを考えて書いてもらいました。

先日、3年生の川の学習のときに、

「ウチダザリガニを駆除するときは、悲しくないのですか?」と質問されました。
3年生にどう説明したらいいだろう?皆さんなら、何と答えてあげますか?

これは本当にあった質問で、私もそのときちょっと言葉に詰まってしまったのですが…。外来種についてじっくり考えた6年生は、3年生にどんな説明をするのでしょうか。授業の最後、本当に真剣に考えて、タブレットに打ち込んでいた姿がとても嬉しかったです。裏面に載せますのでご覧ください。



(1 組)

駆除をするのは、一つの命をもらっているんだから悲しいけれど、ずっと何もしなかったら在来種がいなくなってしまうから、自分達にできることを今やって、少しでも早く、昔の豊成小を取り戻せるように、できることからやっていくことが大切なんだと思うよ！

(1 組)

悲しいことだけど、他の生命にも繋がっていくよ。悲しくても我慢しないと、救える命も救えなくなってしまうからこの活動をするんだよ。

(2 組)

初めて聞いたときは、私も駆除するのはかわいそうだと思います。けど外来種は日本にもともとすんでいる在来種を捕食したりします。なので駆除しますが、駆除しても肥料にしたりして、命をつないでいます。なので、命を無駄にするのは悲しい気持ちになるけれど、駆除して命が繋がれて、また新しい命が誕生するので、悲しくないと思います。

(3 組)

悲しいけれど、もともとは人間のせいだから、私たちが駆除して生まれ変わってもらうんだよ。でもウチダザリガニも生きてるから「命をいただく」という感謝する気持ちを忘れないようにしようね。

(3 組)

命の大切さはみんな同じで、駆除するのは悲しくなるけれど、ウチダザリガニは自分たちの環境を崩したり在来種を食べたりする生物だから、そのまま生かしてもいけないし、人間に連れてこられてただ生活してただけだけど、いつか駆除しないと他の生命もなくなってしまうから、自分たちが牛や鳥などの肉に感謝して食べるように、ウチダザリガニにもごめんねやありがとうの気持ちをもって駆除すればいいと思うよ。

(2 組)

悲しいけれど、命を繋げていくことが、これからの未来にもつながるよ。

(2 組)

駆除することは悲しいね。だから何の気持ちもなく駆除するのではなく、ごめんなさい！とかの気持ちをもって駆除することが大切だよ

(3 組)

ウチダザリガニを駆除することは悲しいことだけれど、連れてきてしまったからには、日本の生物を守るために駆除しなければいけないです。けれど、ただ駆除してその後に何も残らないのは、ウチダザリガニもかわいそうなので、せめて肥料にして役に立たせることが、ウチダザリガニへの感謝の気持ちとなるのではないかと思います。

(3 組)

これからの命につなげるために仕方がないけれど駆除します。ザリガニに次の命に生まれ変わってもらうためにも…。でも「命の重さは皆同じ」ということは忘れずに活動します。

(1 組)

ウチダザリガニは自分でやってきたのではなく、人によって持ち込まれたものです。それで外来種と認定され、見つけたら駆除してしまう、というのは大切な命を無駄にすることになってしまいます。だからそんな命を無駄にしないように「次の命へつなげる」ということが大切なんです。だからと言って悲しくないというわけではなく、せめて、この大切な命というものを自分達で無駄にしないことを意識することが大事なので、僕たちはザリガニを肥料にしたりします。

(2 組)

ザリガニを駆除するのはとても悲しいです。でもみんなが捕まえたザリガニを次の命につなげます。簡単に言うと、6年生がザリガニを肥料にして花などの栄養にします。なので、安心してください。

(3 組)

とっても悲しいことだけれど、日本が外来種であふれてしまったのは人間の責任だから、責任をとって駆除しているよ。ただ駆除するだけではなく、この後の自然界の回復に向けて、堆肥にして植物をきれいに咲かせたり育てたりしているよ。できれば元のすみかに返してあげたいけれど…。さすがにアメリカには行けない。でも放置したらさらに広がってしまう。なら駆除する。堆肥にする。それをすることで日本の環境をよくする。それがせめてもの「償い」なんじゃないかな、と私は思っているよ。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-029	機関庫の川から学ぶ自分達の生活と自然環境とのつながり	帯広市立豊成小学校 岸梅 哲郎

主な実施箇所	機関庫の川
--------	-------

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は 1/50 万～1/100 万程度)



助成事業の主な実施箇所

★「機関庫の川」は、校地内。